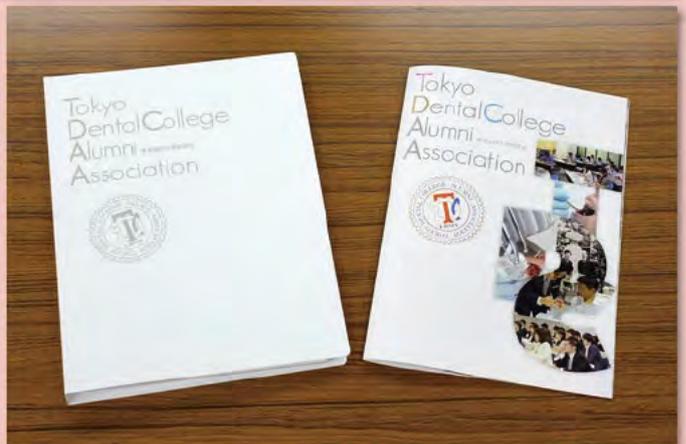


# Tokyo Dental College Alumni Association



東京歯科大学同窓会会報 第404号

目 次

グラビア ふるさと自慢  
会員往来  
水道橋校舎本館西棟 完成

巻 頭 言..... 1  
お知らせ..... 2～4  
重点事業へのアプローチ..... 5～6  
会 務..... 7～15  
理事会のうごき.....16～18  
ゴルフ大会.....19～20  
総務・厚生.....21～22  
渉 外.....23  
事業推進部.....24～25  
母校だより.....26～56  
準会員のページ.....57～58  
支部のうごき.....59～70  
クラス会だより.....71～73  
OB会・グループ・サークルだより .....74  
すいどうばし.....75  
庶務日誌.....76～78  
逝去会員.....79～80  
追 悼.....80  
投稿規定.....81  
へんしゅうこうき.....82

表紙写真の説明

- ・第44回同窓会主催全国ゴルフ大会が開催される  
埼玉県武蔵丘ゴルフコース
- ・井出学長，一戸副学長との座談会
- ・TDC アカデミア2016 医療教養セミナー／  
フロントランナーセミナー  
第1回『生き甲斐を支える診療の気づき』
- ・「薔薇咲く小径」日時：2016年5月11日  
撮影場所：横浜市西区西平沼  
昭和60年卒 横浜中央支部 皆川 雅彦先生 撮影
- ・平成28年度同窓会オリエンテーション  
同窓会案内冊子

## 我が町浅草

東京都台東区

水道橋で学んだ会員の皆様にとって、浅草は何度か足を運んだことのある観光スポットだと思いますが、最近では観光客の中に外国の方々の姿を多く良く見かけるようになりました。浅草のもつ歴史的・伝統的な景観と寺・神社・日本庭園などが、外国人の興味をそそるからではないでしょうか。

浅草というと一番に頭に浮かぶのが「浅草寺」でしょう。大きな提灯の掛かる「雷門」をくぐって入る「仲見世」は、江戸幕府の時代から続く日本最古の商店街といわれ、この終点の「宝蔵門」をくぐると左に「五重塔」、正面が「浅草寺」です。「浅草寺」は都内最古の寺で、多くの参詣者が訪れる民衆信仰の中心地ですが、その右



雷門

隣にひっそり佇む神社をご存じでしょうか？「浅草寺」に比べ観光客もまばらですが、実はこれが「三社祭」で有名な「浅草神社」で、5月の祭りの間は多くの人達で賑

わいます。

浅草寺横の「花やしき」は日本最古の遊園地ですが、まるでSmall Worldのような温かさと懐かしさを併せ持つ浅草のシンボルです。「借り切り企画」などもありますので、歯科医師会のレクリエーションなどにお使いになってみてはいかがでしょうか。

「六区」まで足を伸ばすと、昔栄えた歓楽街の面影も残っており、浅草ロック座・浅草演芸ホール・東洋館（フランス座）に加え、明治時代から続く老舗のお店も健在です。高級ではないが安く美味しくお店も多く、最近では煮込み屋が20軒以上並ぶ「煮込みストリート」が、若者や外人客に大うけです。



宝蔵門と五重塔



三社祭 宮出し



花やしき

さらに観音裏には、「浅草見番」の近くに料亭が点在し、三味線の音色に心が躍ります。浅草の芸者さんや太鼓持ち（男芸者）とともに、お江戸の時代から続く料亭遊びを楽しんでみるのも粋なものでございます。帰りがけには、ライトアップされた浅草寺やスカイツリーをバックに写真をお撮りくだ

さい。闇夜に浮かぶ建物は幻想的でミステリアス、きっと良い記念になると思います。

浅草では、四季を通じて様々なイベントが開催されます。皆様、ぜひ「我が町 浅草」に足をお運びください。

（昭和55年卒 中野正博）

- 1月 初詣  
浅草七福神詣
- 2月 節分  
針供養  
東京マラソン
- 3月 観音示現会・金龍の舞
- 4月 隅田川花まつり  
浅草流鏑馬  
早慶レガッタ
- 5月 三社祭
- 6月 お富士さんの植木市
- 7月 ほうずき市  
隅田川花火
- 8月 サンバカーニバル
- 9月 下町コメディ映画祭
- 10月 浅草菊花展
- 11月 白鷺の舞  
西の市
- 12月 羽子板市  
除夜の鐘



東洋館と演芸ホール

# 会 員 往 来

## 常木哲哉先生のご紹介

常木先生は昭和61年にご卒業され、現在は新潟で実家を継ぎ歯科医師としてご活躍されております。学生時代より多趣味でありましたが最近では地元の劇団に入りテレビや映画にも出演されていて日々楽しんでおられる常木先生をご紹介します。(広報委員会副委員長 福井雅之)

### 『歯医者 役者 果報者 ～人間万事塞翁が馬～』

常 木 哲 哉 (昭和61年卒)

本投稿に至るきっかけは、新潟UXテレビ特番『野口英世は死なず ～永遠のノーベル賞候補 最期の帰国から100年～』に野口英世役で出演したことでなかろうかと。同窓会創立120周年にそのDVDが配布されたのですが、光栄というより汗顔の至りであります。皆さまご存じのように、血脇守之助先生が果たされた功績はあまりにもおおきく、血脇先生と出会わずして、後世に語り継がれる



ような野口英世はなかったであろうと感じるところであります。

最初に宣伝していた内容になりますが、話題の映画『るろうに剣心』の大友啓史監督の新作『ミュージアム』(小栗 旬, 妻夫木 聡, 伊武雅刀, 松重 豊さん他)が今秋封切されますが、その中で刑事のチョイ役でエリート刑事役の小栗さんなどと同じ場面で出演させていただきました。

芝居、始めた理由を振り返っても漠然としていますが、ひょんなことから稽古の見学に参加した後は、流されるままに。それが高じて、舞台、映画、テレビなどに出演させていただくことになりました。シェイクスピアの言葉に【この世は舞台。男も女も役者にすぎない】とありますが、限られた人が、限られた場所で、限られた時間だけ定められた役回りをこなすということでしょうか。日常生活において人は無意識に芝居をしていると感じることがあります。冠婚葬祭、キャンセルするとき、嘘をつくとき、褒めるとき、子供の担任に接したとき、言い訳するとき、などそれこそ数多くの場面

で。芝居を通して新たな自分との出会いというか、自分の内に隠された意外ないい面、悪い面を垣間見ることがあります。例えば、普段の生活の中で、辛い場面、いやな場面では、今ではこう自分に言い聞かせます。『これは芝居なんだ。このシーンもいつかおわる』と。もちろんNGのこともあります。

うちの劇団(市民劇団、座・未



来)は、人数、規模、構成割合、などみるとアマチュアでは全国的にも珍しく、役者は幼稚園児から60歳代まで老若男女30~40人の大所帯であり、仕事もさまざまで、主な演目は地元になんだ時代劇、現代劇です。子役でも芸歴の長い先輩ですから、しばしば教えてもらいます。時期により週に1~3回の稽古は、今や生活の一部となり、向学のために気づくと東京へ観劇に通うようになりました。行ける週末に2~3本は見るように。果ては芝居以外にもオペラ、ミュージカル、寄席、歌舞伎まで観るようになり、身体づくりのためにと、ヨガ、整体、ダンス、和太鼓、篠笛、まで始め、当然、家族のあきれ顔はいうまでもありません。

そうこうしていううちに、県内のよその劇団から客演としてお誘いがくるようになりました。

役柄としては、17歳高校生、70歳のソムリエ、やくざ、女衞、刑事、バカ殿、悪奉行 武士素浪人、オタク、ストーカー、などですが、客演はありがたいことです。



が、完全アウェイの状況で試され、要求され、期待されるので、一種の武者修行のようなものです。

本番前稽古は約4ヵ月。台本を読み込み、互いに議論して稽古が進みます。チームワークが大切なのですが、元々役者志望者は変わりが多く、各自の思いが強いだけに、誤解、衝突、いざごはままあります。青春時代のように懐かしく、実はそれを楽しんでいるのですが。本番1か月前になると、運転事故に細心の注意を払い、もし降板したらどれほどのご迷惑をおかけするのか、心穏やかではいられず「何かの事情で中止か延期にならないかなあ」と、緊張感のあまり逃げ出したくなります。いよいよ本番前日はまさに学生時代の口外の口頭試問前のようなです。過度のストレスから嘔吐感、頻脈、動悸、心がざわめき、気がつけば深いため息。誠に失礼ながら齊藤 力先生、高野伸夫先生、他、の口頭試問前を思い出さずにはいられません。と同時にワクワク期待感も上昇します。

いただいた微々たるギャラのうれしさは、いつも初給料のような気恥しさとこみ上げる喜びです。

また、映像と舞台ではその手法が大きく違います。舞台は例えるなら1枚の額縁の絵画。生の一発



勝負。映像はまばたき、皺までアップ、カメラワークと編集で作りこみ、できるまでなら朝まで撮りつづけます。

いまでも脳裏をかすめる思い出は…

新潟県巻町舞台、原発の映画『渡されたバトン』(脚本ジェームス三木さん)での撮影の出来事です。名優赤塚真人さん、ケーシー高峰さん、宍戸 開さん、ほかが出演。

自治会長役の私の出番は、名前は存じ上げませんが、TVや映画でお馴染みの脇役の方々との原発是非をめぐる会議シーン。止まらない冷や汗(なんと自分は場違いな?)で、撮影開始(やはり無謀だったか)。何度も場面を取りなおし(素人なんだから大目にみて)、その都度変更されるセリフ(えっまた変わるの)。要求される自然な動き(できっこない)。監督が『常木さん、舞台じゃないから声張らずに、表情も抑えて』(そうしてるつもりなのに)。当然緊張は加速してクライマックスへ。唾液腺閉塞、汗腺崩壊、筋肉硬直、涙こらえ、うわの空に。その時監督が『休憩、常木さん、ちょっと外してコーヒーでも』(うわっ、地獄に仏)流れる汗をぬぐいながら女性スタッフ(あなたは天使だ)の入れてくれたコーヒーもやっとの思いで流し込む。(これで撮影終わってくれ)。ふと撮影現場を見ると、なんと、全員がスタンバイしてるではありませんか。(えっなんで?休憩は俺だけ?)即座に戻り最敬礼『申し訳ございません』(お願いだからもう帰して)。否応なしに『はい

スタート』の声(頼む。土下座するから帰して)…監督のお気遣いだったのです。

いわゆる『松方やすみ』『梅宮やすみ』ならぬ『常木やすみ』と、後段からかわれ。

その先は記憶が曖昧で、NGは数え忘れ、10分のシーンを約4時間かかりました。

今あるのは、こうしてどれほど周囲の方々に恵まれたことか、かみしめています。

劇団の演出は元東京キッド所属のSさん。演技の師匠は元青年座所属で竹中直人さん同期のFさん、制作スタッフ(舞台監督、大道具、音響、照明、歌唱ダンス指導)は、それぞれ元劇団四季、元東京キッド、いわゆる商業演劇経験の職人さんたち。嬉しいことに東歯の同期も観に来てくれました。

すべては人にご縁を作っていた

だき、自分は導かれるままに今に至っています。

我が細君があきれて曰く【やはり野に置けレンゲソウ】と揶揄される小生は、家におくと萎れるらしく、外で花咲いてこそその存在と。でも今では、家族もあきらめて、舞台公演を観に来ます。身内だけにドキドキものらしいですが。認知症の母も感激して泣いてくれました。先般他界した父に舞台をみせてあげられなかったことが、心残りです。

開業後24年になりますが、30歳代は歯科セミナーに通いつめ、地域起しと自己啓発の青年会議所活動に勤しむ無趣味人間であり、40歳代後半以降に、切れた凧のようにレンゲソウ生活に変わっていくのでありました。海外へマグロ釣りに、ソウルダンス、バンドでパーカッションでのライブに参加し、ボイストレーニングを習い、

PTA会長、自治会長、異業種交流にまで。家族のあきれた顔と苦笑いはいうまでもありません。そして、これからはアウンサンスーチー氏率いる党の政権交代で揺れ動くミャンマーへの歯科的アプローチを思案中。



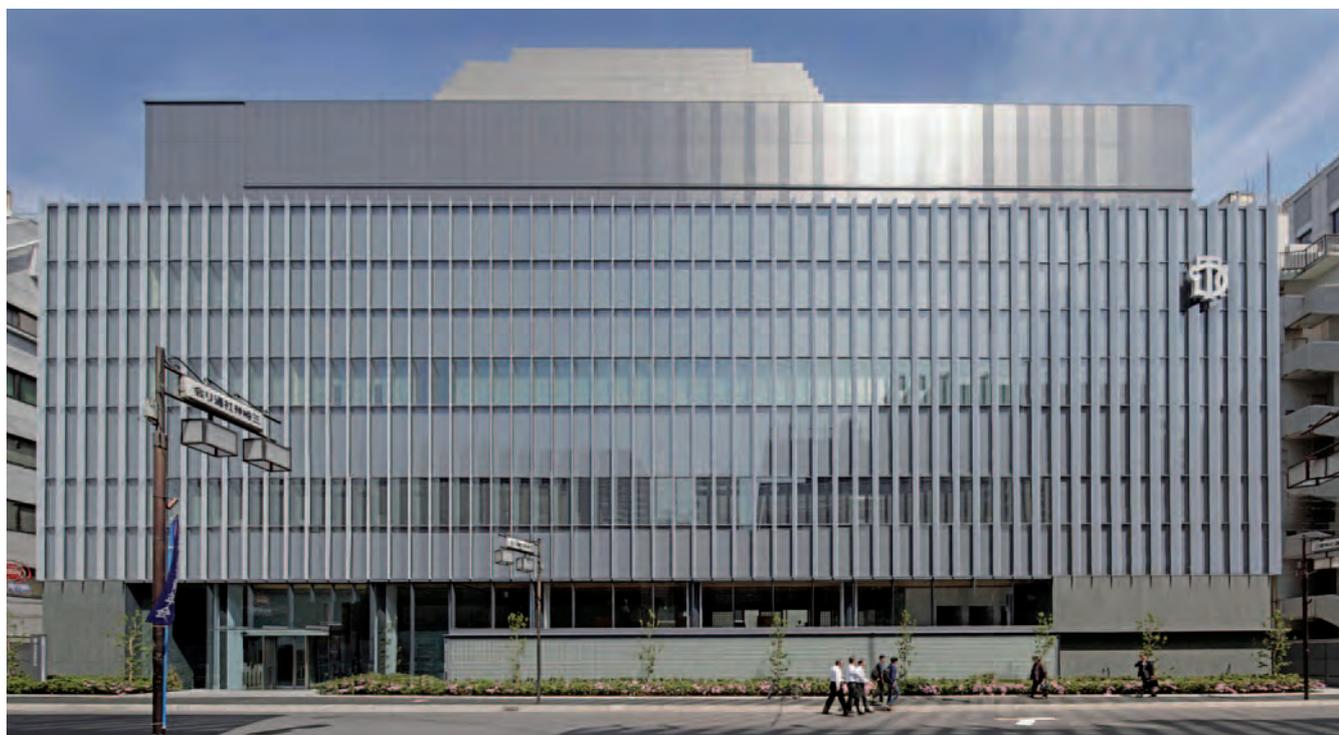
人生、何が後年幸いするかわかりません。と、おめでたい果報者は【人間万事塞翁が馬】と感じています。このような機会を与えていただいた同期の福井先生ならびに広報の先生方、ありがとうございました。



## 水道橋校舎本館西棟 完成

水道橋校舎本館西棟が完成し、チェア数も増え水道橋病院も教育、臨床において充実されました。また1階ラウンジは多目的に使えるスペースとして同窓も注目しています。

詳しくはP12座談会、その他写真はP33母校だより、ホームページにも掲載されています。



全景



1階ラウンジ

## 新たな船出



副会長

澁谷 國 男

この度の熊本大震災に被災されました同窓の先生方に心よりお見舞い申し上げます。

1月より矢崎会長のもと渉外担当副会長を仰せ付かりました。同窓会は、評議員、参与としての経験だけ、執行部側は初めてです。地元歯科医師会の仕事はそれなりの経験はありますが、それも卒業とっておりました。余分な牡蠣殻が付いております。それをもう一度落とし、有能な人材の助けを受け、任期を全うする所存です。皆様のご協力をお願いいたします。

同窓会121年目に入り、矢崎会長は五つの重点課題を掲げました。その内「直面する課題の大学との

共有と、会員による大学への協力体制の促進」「同窓会アカデミア構想による人材の育成」この二つを渉外の立場から考えてみました。大学120周年事業である水道橋移転も、さいかち坂新校舎に始まり、水道橋新校舎、本館西棟落成と、現在は本館の整備が順調に進んでおります。この事業に際し同窓より多大のご支援をいただきました。ご存知のように、その間、東日本大震災による復興事業、東京オリンピックに向けての建設需要増加などの影響により建設費は著しく高騰しております。現在1700余名の先生方にご協力をいただいております。一人でも多くの同窓がこの記念事業に参画することに意義があります。より一層のご支援を重ねてお願い申し上げます。

現在、秋田県藤原元幸（昭50卒）、群馬県村山利之（昭55卒）、東京都高橋哲夫（昭46卒）、新潟県五十嵐 治（昭47卒）、富山県山崎安仁（昭50卒）、鹿児島県森原久樹（昭43卒）6名の都県歯会長が活躍されておられます。日歯代議員の先生方は全国で18名いらっしゃいます。これらの先生方を中心として、全国各支部の情報を密にし、共有し、次代を担う有能な人材を育て支援することも渉外部の一つと考えております。

又国政においては参議院神奈川県選挙区より島村大（昭60卒）、衆議院千葉県第13選挙区白須賀貴樹（平12卒）の両議員がおられます。国政での大いなる活躍を期待し、同窓会として側面より支えてまいります。

我が東京歯科大学が、教育・研究・臨床において歯科界を先導する大学と存在し続けるため同窓会はそれを支えてゆかねばなりません。名実共に歯科界のリーダーとし、歯科医師として、東京歯科大学同窓としての品格を失うことなく邁進してゆかねばなりません。皆様のさらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# お知らせ

## 熊本地震被災同窓会会員への「お見舞い支援金」の募集のお願い

東京歯科大学同窓会会長 矢崎 秀昭

熊本県地域を中心として長期間にわたり地震が継続しており、多大な被害が発生し、現在も、多くの方々が避難生活を余儀なくされておられます。地震発生と共に同窓会として、熊本県支部長の河野生司先生と連絡をとり、支部会員の方々の被災状況などをお聞きしております。

熊本県の県央（益城町や熊本市など）に被害が集中し、自宅の全壊や診療室の半壊などの会員もおられます。また、会員の診療室の機材などにも損壊が生じているとのこと。

さらにライフラインの破損などにより、その間、診療が出来なくなり、さらに診療を再開されても患者さんの来院が大変厳しい地域があるとのこと。

今後も、長期にわたる余震の影響も予測され、さらに大分県地域にも地震による影響が出ております。

全国の東京歯科大学同窓会会員の皆様に、熊本地震により被災された同窓会会員への「お見舞い支援金」を心よりお願い申し上げます。

熊本地震支援金は下記の同窓会の口座にお振込み賜りますよう、お願い申し上げます。

ご面倒ですが、お名前の後ろに支部名または卒年をお入れください。

**三菱東京 UFJ 銀行 神保町支店**

**店番：013**

**口座番号（普通）：0932775**

**トウシドウソウクマモトジシンシエンキングチ**

**カイチョウ ヤサキ ヒデアキ**

**口座名：東歯同窓熊本地震支援金口 会長 矢崎秀昭**

## 理事会より

- お知らせの通り、平成28年度の評議員会及び都道府県代表者会の日程が決まりました。ご出席をよろしくお願ひいたします。  
同窓会創立120周年事業の最後を飾る記念誌を、現在鋭意作成中です。間もなくお手元に届きますので、ご期待ください。

## 同窓会事業・行事

- 第44回全国ゴルフ大会  
と き 平成28年9月22日（木・祝）  
と ころ 武蔵丘ゴルフコース（埼玉県）
- 平成28年度学年代表者会  
と き 平成28年7月24日（日）  
と ころ 水道橋校舎 新館
- 平成28年度東京歯科大学同窓会評議員会および都道府県代表者会  
と き 平成28年11月20日（日）  
と ころ 如水会館（千代田区一ツ橋2-1-1）
- TDC アカデミア2016  
・ 卒後研修           ・ 医療教養           ・ 臨床セミナー  
(日程は2月号6ページ参照)

## 地域支部連合会・支部関係

- 地域支部連合会会長の交代  
平成28年1月1日付  
九州地域支部連合会 永江 健一 氏（昭53卒）  
前連合会長 友利 隆俊 氏（昭60卒）  
平成28年4月1日付  
北海道地域支部連合会 戸田 徳和 氏（昭50卒）  
前連合会長 佐藤 英俊 氏（昭49卒）
  - 支部長交代  
平成28年3月6日付  
滋賀県支部 松田 康男 氏（昭51卒）  
前支部長 藤居 正博 氏（昭50卒）
- |            |       |               |
|------------|-------|---------------|
| 平成28年4月1日付 | 杉並支部  | 野津 秀郎 氏（昭50卒） |
|            | 前支部長  | 中川 杉生 氏（昭44卒） |
|            | 山口県支部 | 井上 信義 氏（昭53卒） |
|            | 前支部長  | 藤井 寛昭 氏（昭50卒） |
| 平成28年6月1日付 | 世田谷支部 | 荒井 敏夫 氏（昭54卒） |
|            | 前支部長  | 飯田 泰一 氏（昭52卒） |

## 母校関係行事・案内

- 平成28年度東京歯科大学学会  
第302回総会 平成28年10月15日（土）・16日（日）水道橋校舎新館  
演題締切 8月10日（水）正午

## 東歯関係 日本歯科医師会役員, 代議員

### 役員

常務理事・高野 直久 (S57卒)      常務理事・小林 慶太 (S58卒)      理事・山崎 安仁 (S50卒)

---

### 代議員

北海道 長谷川 淳 (S62卒)	秋田県 藤原 元幸 (S50卒)	茨城県 小鹿 典雄 (S49卒)
群馬県 村山 利之 (S55卒)	千葉県 木俣 茂 (S51卒)	千葉県 高原 正明 (S52卒)
埼玉県 小杉 国武 (S44卒)	東京都 浮地 文夫 (S44卒)	東京都 高橋 哲夫 (S46卒)
東京都 早速 晴邦 (S49卒)	東京都 勝俣 正之 (S55卒)	東京都 矢島 正隆 (S58卒)
神奈川県 杉山 紀子 (S54卒)	新潟県 永井 正志 (S58卒)	静岡県 松下 茂 (S50卒)
愛知県 鈴木 祥夫 (S55卒)	富山県 野田 修 (S53卒)	鹿児島県 森原 久樹 (S43卒)
鹿児島県 橋口 哲彦 (S48卒)		

---

## 東歯関係 日本歯科医師連盟

### 役員

副会長・藤原 元幸 (S50卒)      副会長・加藤木 健 (S46卒)      理事・竹之下伸一 (院 S52修)

---

## 東歯関係 都道府県歯科医師会会長

秋田県 藤原 元幸 (S50卒)	群馬県 村山 利之 (S55卒)	東京都 高橋 哲夫 (S46卒)
新潟県 五十嵐 治 (S47卒)	富山県 山崎 安仁 (S50卒)	鹿児島県 森原 久樹 (S43卒)

# 重点事業へのアプローチ

## 平成28年度同窓会オリエンテーションのご報告

本年も、卒業生、本学の研修医を終了された先生方へ同窓会の紹介を行いましたので、ご報告いたします。

### 3月14日(月) 121期卒業生へのオリエンテーション

卒業式を明日に控えた前日、127名の新入会員を迎え、行われました。同窓会総務・厚生部担当中島常任理事より、挨拶と同窓会の案内および配布物の確認と調査表記入についての説明を行い、次いで高橋常任理事からは、若い先生方へのクラス会開催や新進会員のつどい、学年代表者会、ネットワークなど様々な支援について案内をしました。また、高野常任理事より、卒業生の半数を占める女子学生に継続就業の大切さが呼び掛けられ、学術委員会の加藤委員からは、同窓会の各種研修会の案内がおこなわれました。卒業生は、初めて聞く同窓会の事業について、同窓会案内を手元に開きながら、

皆熱心に耳を傾けていました。

オリエンテーション終了後には、クラス代表になった谷口修一朗先生、深澤俊也先生、石彩記子先生と挨拶をすることが出来、今年度予定している「新進会員のつどい実行委員会」へのお誘いをすることも出来ました。新進会員のつどいでは、卒後5年目までの先生方自身によるフレッシュな企画で、つどいを開催します。また、学術委員会では、卒直後の先生方を対象とした研修会や勉強会も企画しており、東京歯科大学同窓会ならではの豊富な講師陣と様々な疑問を気軽に相談出来るアットホームな環境を整えています。こ



真剣な眼差しの卒業生達

のように、いろいろな場面で学生、卒業生と接することで良い関係を続け、同窓会をより身近なものに感じていただければと思います。



同窓会案内冊子

### 3月17日(木) 市川総合病院歯科医師臨床研修修了式

財部副会長より、同窓会の組織についてのお話の後、広報、ネットワーク関係の案内を行いました。今年の市川総合病院修了生の中に、新進会員のつどい実行委員がおり、同窓会と研修生達の間を取り持ってまとめている姿はとても頼もしく、これも新進会員のつどいという事業の賜物と嬉しく思



卒業生オリエンテーション



市川総合病院 高野教授、野村教授と

いました。

母校の卒業生ではない先生でもレジデントが修了し地元へ帰った際に、東京歯科大学の同窓会員として研修会などに参加することが可能である推薦会員について財部副会長より説明を行い、他大学の先生にも、東京歯科大学同窓会の魅力を発信していきたいと思えます。

### 3月18日(金) 水道橋病院 歯科医師臨床研修修了式

臨床研修医修了式(水道橋病院)後のオリエンテーションでは、高橋常任理事より挨拶後、同窓会についての詳細な案内(特にセミナー関係)と、広報委員会より同窓会の情報をお伝えする会報、HP、FBについての案内をおこないました。

### 3月23日(水) 千葉病院 歯科医師臨床研修修了式



千葉病院にて矢崎会長の講義

矢崎会長・宮地顧問が、臨床教授として講義を行い、その中で同窓会の案内を行いました。両先生の講義は、研修を修了したばかりの先生のこれからの歯科医師人生にとって、とても大切な宝物になるはずです。研修を修了し新しいスタートに立った先生方が、両先生の講義を聞くことが出来る…これこそ、東京歯科大学同窓会の大きなメリットだと思います。

ここ数年、卒業生のオリエンテーションと研修修了後のオリエンテーションを取材させていただいておりますが、1年間の間に様々な経験を積み、歯科医師としても人間としても大きく逞しく

なっていく先生方をとても嬉しく思います。今年度の卒業生も1年後は、きっと顔つきが違っているのだろうと、来年のオリエンテーションも楽しみです。

母校の卒業生や研修医修了生は、今後の歯科界を担うとても優秀な先生たちです。同窓会では、期待と不安に胸を膨らませ、新たなスタートに立った先生たちに、多くのプラスになる情報をお届けすることが出来るように、そして一人一人の顔の見える身近な同窓会であるように、しっかりと連携をとっていききたいと思えます

文責：広報委員会 佐々木葉子



中島常任理事



高橋常任理事



高野常任理事



加藤委員



宮地顧問



財部副会長



佐々木委員



千葉病院の研修生



水道橋病院研修医修了の先生たち

# 会 務

## 東京歯科大学同窓会参与

(会則第24条第1項による)

(平成28年1月1日～平成29年12月31日)

島村 大(S60卒) 白須賀 貴 樹(H12卒)

(会則第24条第3項による)

(その職にある期間)

森原 久 樹(S43卒) 浮地 文 夫(S44卒) 小杉 国 武(S44卒) 高橋 哲 夫(S46卒)  
五十嵐 治(S47卒) 橋口 哲 彦(S48卒) 小鹿 典 雄(S49卒) 松下 茂(S50卒)  
山崎 安 仁(S50卒) 杉山 紀 子(S54卒) 勝俣 正 之(S55卒) 鈴木 祥 夫(S55卒)  
村山 利 之(S55卒) 高野 直 久(S57卒) 永井 正 志(S58卒) 矢島 正 隆(S58卒)  
小林 慶 太(S58卒) 長谷川 淳(S62卒)

## 東京歯科大学同窓会各種委員会委員

(平成28年1月1日～平成29年12月31日)

### 選挙管理委員会

高橋 利 武(S42卒) 田原 邦 昭(S45卒) 大森 淨 二(S47卒) 佐藤 正 矢(S53卒)  
中村 忠(S56卒)  
予備委員 辻 正 信(S51卒) 渡邊 順(S58卒) 佐藤 滋(S59卒)  
金子 久 章(H2卒) 時岡 孝 寛(H7卒)

### 総務・厚生部総務厚生委員会

◎市川 敬 一(H6卒) ○平田 千 恵(S59卒) 岡野 昌 治(S52卒) 相庭 常 人(S60卒)  
吉井 正 俊(H2卒)

### 総務・厚生部ゴルフ大会委員会

◎中川路 健 司(S60卒) ○山崎 真 司(H1卒) 堀 正 樹(S54卒) 浅川 仁(S61卒)  
齊藤 義 章(H3卒) 磯野 珠 貴(H4卒) 小林 菜 穂(H14卒)  
協力委員 市川 豊(S47卒) 中野 正 博(S55卒) 武藤 彰(S57卒)  
大谷 義 之(S62卒) 斉藤 浩 司(S63卒) 高橋 治 好(S63卒)  
中村 桂 子(H4卒) 角谷 英 輝(H8卒)

### 総務・厚生部女性会員活動推進委員会

◎小笠原 美由紀(S56卒) ○浜野 美 幸(S61卒) 池田 弥 和(S60卒) 石井 聖 子(H1卒)  
長岡 未佐子(H1卒) 石岡 みずき(H19卒) 大平 真理子(H20卒)

総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会

◎石川 宗理(H24卒) ○岡嶋 伶奈(H24卒) 木村 基善(H25卒) 山田 祥(H25卒)  
 田中 垂生(H26卒) 橋口 あやこ(H26卒) 大村 雄介(H27卒) 鷺尾 紗裕理(H27卒)  
 谷口 修一朗(H28卒) 石 彩記子(H28卒) 深澤 俊也(H28卒)  
 協力委員 佐々木 葉子(S60卒) 山本 雅通(H6卒) 大井 陽生(H16卒)  
 菅原 圭亮(H16卒) 黄地 健仁(H23卒) 野末 真司(H23卒)

渉外部渉外委員会

◎小枝 義典(S59卒) ○岡野 祐三(S48卒) 加藤木 健(S46卒) 勝俣 正之(S55卒)  
 宮吉 正人(S60卒) 矢郷 生和(S62卒) 岩田 昌久(S63卒) 川越 元久(H1卒)

広報部広報委員会

◎臼田 準(S53卒) ○福井 雅之(S61卒) ○西村 哲雄(H4卒) ○山口 雅史(H7卒)  
 奥野 圭子(S60卒) 佐々木 葉子(S60卒) 皆川 雅彦(S60卒) 渡邊 宇一(S63卒)  
 島田 篤(H3卒) 本間 敬和(H4卒) 末原 正崇(H9卒) 横田 東生(H10卒)  
 菅原 圭亮(H16卒)  
 協力委員 古澤 成博(S58卒) 北村 晃(S62卒) 岩田 昌久(S63卒)  
 長岡 未佐子(H1卒) 片山 明彦(H11卒)

事業推進部社会保障制度研究委員会

◎蛭谷 剛文(S53卒) ○荻原 俊美(S58卒) 高品 和哉(S60卒) 小島 将司(H5卒)  
 協力委員 高橋 義一(S48卒) 相庭 常人(S60卒) 小筆 正弘(S60卒)  
 金子 久章(H2卒)

事業推進部学術委員会

◎加藤 賢祐(S62卒) ○高柳 篤史(H1卒) ○花井 淳一郎(H4卒) ○山本 雅通(H6卒)  
 ○浅田 智宏(H7卒) 藤関 雅嗣(S56卒) 荻原 俊美(S58卒) 牧野 寛(S62卒)  
 穂坂 康朗(S63卒) 福田 謙一(H2卒) 太田 和秀(H3卒) 相原 一之(H5卒)  
 安藤 友彦(H7卒) 白水 直樹(H7卒) 野村 幸恵(H7卒) 田口 達夫(H8卒)  
 石山 智香子(H9卒) 石川 一磨(H10卒) 片山 明彦(H11卒) 鈴木 雄太(H11卒)  
 大井 陽生(H16卒) 高山 裕樹(H16卒) 川西 慧(H18卒) 飯田 雄太(H25卒)  
 協力委員 山本 英之(S55卒) 小林 顕(S56卒) 野嶋 昌彦(S57卒)  
 平井 基之(S59卒) 田中 五郎(S63卒) 本間 敬和(H4卒)  
 小島 将司(H5卒) 白石 充(H8卒) 佐藤 留美子(H9卒)  
 阿部 修(H12卒) 松岡 政之(H13卒) 堺 健太郎(H15卒)  
 荻野 崇真(H22卒)  
 大学協力委員 古澤 成博(S58卒) 石崎 憲(H5卒) 野村 武史(H7卒)  
 西井 康(S61卒) 松坂 賢一(H2卒) 高梨 琢也(H15卒)

敬称略 ◎印は委員長 ○印は副委員長

## 東京歯科大学 井出学長，一戸副学長との座談会

日 時：平成28年4月7日  
場 所：水道橋校舎本館 5階  
法人役員会議室

### 出席者：

井出吉信 東京歯科大学学長  
一戸達也 東京歯科大学副学長  
矢崎秀昭 東京歯科大学同窓会会長  
澁谷國男 東京歯科大学同窓会副会長  
早速晴邦 東京歯科大学同窓会副会長  
財部正治 東京歯科大学同窓会副会長  
富山雅史 東京歯科大学同窓会副会長  
白田 準 東京歯科大学同窓会広報部・  
広報委員会委員長



**司会** 井出学長，一戸副学長両先生には，お忙しいところ同窓会にお越しいただきましてありがとうございます。司会は私，広報の白田が務めさせていただきます。

それでは始めさせていただきますと思います。まず初めにご挨拶として，矢崎会長，お願いいたします。

### ■同窓会創立120周年記念事業

対しての，大学へのお礼  
**矢崎会長** ご多忙の中，座談会にご出席賜り誠に有難うございます。昨年の同窓会創立120周年の記念事業は，大学の全面的なご協力により，盛会に開催することが

出来ました。心より厚く御礼申し上げます。

### ■本年度国家試験・入学試験について

**富山副会長** 第109回の国家試験の結果が，総合で5年連続1位ということで，本当におめでとうございます。

また，私立歯科大学では10数年トップを維持していることも，同窓会として母校を大変誇りに思っております。

まずは今回の結果についての話をいただければと思います。

**井出学長** 今年もどうか総合で

は全国1位だったのですが，世間でもトップ企業があつという間に凋落する例が最近多々見受けられますので，いつでも緊張感を持ち，気を引き締めていかなければいけないと思っています。

本学は，確かに他の学校に比べて早期に教育改革に着手したのでよかったのですが，近年，進級判定，国家試験対策，授業の仕方やカリキュラムの組み方等は，他の大学もほとんど同じ様なやり方で行っていますので，本学も常に改善を目指して変革していく必要があると考えています。

ひとまずは安心いたしました。が，国立大学でも，父兄会が一丸となって教育に参画したり，成績下位者を対象とした特別補講を行う等の対策を講じるようになってきましたので，本学といたしましてもこれまで以上に気を引き締めて，教育に当たっていききたいと思っています。



**一戸副学長** 国立大学が、国家試験の成績をすごく気にするようになりました。東京歯科大学が今までやってきたようなやり方は全ての大学に知られていますから、同じことをやっているとすぐ追いつかれてしまいます。特に国立は優秀な学生が多いので、次の策を早めに練っておかなければいけないと考えています。

東京歯科大学の弱いところ、ほかの大学とあまり差がつかないところをきっちりと、落とさないように、確実に拾えるようにする学習の強化が必要だと思っています。また、5年間、国家試験の結果が1番だったことによる慢心から、学生もさることながら、教員が今のままでいいのだろうと油断して教育の工夫をしなくなっているところが一番問題であると思っています。学長も常々教授会等の場で話をされていますが、次の策もさることながら、もっと大事なものは、慢心、油断をしないこと、そして教員の意識改革であると思っています。

**富山副会長** 入学者に対して国家試験出願者が何人いるか、また、6年間の履修で何人の学生が歯科医師になれるかを他校と比較すると、やはり本学が圧倒的なパーセントを保っています。

先ほど学長、副学長がおっしゃられたように他校もシステムをまねてきているという中で、これだけトップをキープできるというのは単純にシステムだけでない所に要因があると思いますが、いかがでしょうか。

**井出学長** 他大学出身の教員によりますと、我々が当たり前だと思っ

てやっている教員の学生に対する対応が、他校のそれとは全く違うそうです。また、他大学のオープンキャンパスや入試説明会と比較しても、本学では受験生に対する職員の接し方や説明の仕方がとても丁寧で優しく、熱意がもっていると感じるようです。

それが伝統的に受け継がれ、教員、職員を通じてその様な良い雰囲気

が伝わることを外部の方からお褒めのお言葉をいただくこともあります。それは今後も忘れず、大切にしていかなければならないと思っています。

**財部副会長** 女性の受験生が大分ふえてきていると思うんですけど、国家試験で男女比のデータは出てきていないようなんですけども、大体男女1対1の合格者というふうに考えてよろしいんですか。

**井出学長** 女性の国家試験の合格率が7割で、男性が6割、やはり男性のほうが合格率が低いのです。今年の受験者、合格者共に、男性のほうが少し多いのですが、それがだんだん詰まってきていますから、あと何年かすると逆転する可能性があると思います。

■ 本年度の母校の受験生や入試の状況について

**澁谷副会長** いい学生をとるために当然大変な努力をなさっていると思うけど、どうですか。

**井出学長** レベルの高い学生を獲得するために、とにかく多くの生徒に受験して頂きたいのです。それが入試の倍率を上げ、受験生の質、ひいては新入生の質の向上につながります。

受験生の数を増やすには、同窓会のご協力が欠かせません。同窓会の支部長の先生や、あらゆる同窓の先生方に、同窓のみならず他大学卒の先生のご子弟にも、是非本学を受験して頂けるよう、大いに働きかけて頂きたいと思います。

それからオープンキャンパスにも奮ってご参加いただくよう、同窓会からも奨励していただければありがたいなと思います。

■ 受験生から見た東京歯科大学の魅力

**早速副会長** 東京歯科大学を受ける魅力としては、もちろん国家試験もあると思うんですが、ほかにもやはり東京歯科大学というネームバリューで受験生も来てくれると思うんですね。東京歯科大学ならではの魅力というのはどうい



ものがありますか。

**井出学長** 我々が本学の魅力と自負しているのは、国家試験のための予備校のような教育機関ではなく、在学中はきめ細かく丁寧な教育を提供し、また卒業後においても同窓会と大学が一体となり、生涯にわたり様々な場面で支援を続ける、という点です。

**一戸副学長** いま大学は、国民に対して、こういうことを明示しなさいと求められているものが三つあります。①アドミッションポリシー、どういう学生を大学に入りたいか、②カリキュラムポリシー、入った学生をどのように育てるか、③ディプロマポリシー、最終的にどういう人物として世に送り出すかです。特に、卒業するときにはどれだけの知識・技能・素養・資質を備えて卒業させるかというディプロマポリシーの明確化が、全ての大学に求められています。

国家試験の合格率の影響は大きく、保護者も受験生もそれが重要と思っておられます。しかし、入試後のオリエンテーションで保護者の方には、国家試験の合格はあくまでも通過点であって、大学としては、世の中に出て歯科界のリーダーたる人になってもらいた



いという思いで教育にあたっているといふ説明をしています。例えば昨年から市川総合病院では、医科と協力し、全身状態の評価や摂食嚥下リハビリテーションの基本を学ぶためのスキルスラボを活用しています。最近、地域包括ケアというキーワードが出てきますが、平成30年から国家試験の中に実際にそういう言葉が入ってくるということを見据えて、今までのような口とその周囲だけを診る歯科医師ではなく、全身を診る中で口からの健康に寄与する歯科医師になる意識を持たせる教育をしていかなければいけないと思っています。その成果を、世の中に聞きたいと思っています。

#### ■ 同窓子弟の入学状況

**財部副会長** 在校生の中でご父兄が歯科に関係されている方はどの程度いらっしゃるのか、あるいは、その中で東歯の同窓の方というのはどの程度いらっしゃるのでしょうか。

**井出学長** いま資料をつくっていますが、大体同窓のご子弟の2割ぐらいかと思います。

やはり同窓生のご子弟が減っているというのは、半分以上は医学部に進学するケースが多いのではないかと思います。

#### ■ 将来の展望について

**矢崎会長** 現在、国試や入試のことなど歯科大学は大変厳しい状況となっていますが、歯科の学生に向けて、どのような将来的な展望をお話しされておられますか。

**井出学長** 東京歯科大学は、戦後、昭和21年に大学に昇格しました。そのとき同時に市川総合病院をつくっていますから、本学は学生にとって、口腔領域と全身との係り合いが理解できる歯科医師になるための理想的な教育の場を提供していると言えます。それから、本学で学ぶ最終的な目的は、国民の健康維持に寄与する、国民のための医療人になる、ということです。

これからの歯科医師に求められるのは、単なる医療技術の提供者に留まらず、国民の健康維持に対する情熱と、社会に対する奉仕の精神を併せ持つ医療人たることであり、これはまさしく「医は仁術」と言う言葉の示すところそのものです。このことは歯科医学概論の講義で私が強調して言うところなのですが、本学の学生には東京歯科大学がそのような精神を礎として建学されたのだということを理解し、誇りに思ってもらいたいと思います。

#### ■ 水道橋施設整備の現状と今後の予定について

**澁谷副会長** 学長に稲毛から移転という話を最初に聞いてから、あっという間の10年で、最初はさいかち坂、それと駐車場だったところに校舎が建ち、今は西棟がと



いうところですが、これからもうちょっとお考えがあるのだろうと思うんですけど、その辺のところいかがでしょうか。

**井出学長** 水道橋移転の構想も、今お話しのように大体10年ぐらいかかっているわけですが、同窓の先生方のご協力も得まして、建物の建設はようやく終わったところですが、この後、水道橋の病院をもう少し充実させるため、今年度いっぱいかけて放射線科と歯科麻酔科、臨床検査部を全部改装して、教育の面と臨床の面を更に充実させて、一部の施設をもう一度作り直す予定です。ただ、ご存じのとおりオリンピックとかいろいろなことでは建築費が上がっていることは非常に苦慮しておりますが、今年1年が頑張りどころだと思います。

同窓会にお使いいただいている南棟に関しましては大分古くなっているんで、10年後くらいを目途に、きちんとした建物に建て直したいと考えています。

今年度をもって移転の設備的なものは大体完了します。病院に関しては今年1年、ご紹介患者さまに対し、ご迷惑をかけることが多々あるかと思いますが、何卒宜しくお願い致します。

**一戸副学長** 西棟は1階がラウンジ、2階は歯科用のユニットが19台入った診療室になります。3階には、本館3階の技工室部門が移ります。技工室と学生のシミュレーション実習室ができ、臨床実習の前に少しマネキンで練習してから患者さまにやらせていただく

というような形のスペースを作りました。4階は手術室を2部屋、全身麻酔下の口腔外科手術のための部屋です。5階は、後ほど学長からお話があると思いますが、歯科衛生士短期大学のための実習室を作りました。最終的には130台ぐらいのユニットの病院になります。千葉が200台ありますから、千葉から見るとそれでも少ないですが、学生実習も大分やりやすくなるかと考えております。

本館は、今年1年かけて、小児歯科と矯正歯科の部分を少し広げ、それから障害児診療のための特別のスペースを作る予定です。少し奥まったところに個室が2部屋ほどありますので、そのあたりを少し拡張して障害者歯科の外来をつくることを検討しています。4階の口腔外科はユニットを17台設置しきれいになりましたが、歯科麻酔科と放射線科と臨床検査のところはまだ古いままで。手術室が西棟に移りましたので、その跡地を利用して、前述の三つの科の診療室の外来を少し広げる計画です。病棟の工事等もあり、今年1年ぐらいかけて順々に改装していく予定なので、患者さまにご迷惑をおかけすることになってしまふと思いますが、ご理解をいただきながら進めて行きたいと思ひます。

■ 水道橋の歯科衛生士短大の  
設立の意義について

**早速副会長** 東京に歯科衛生士の短大をつくるというのもかなりリスキーな部分もあるとお考えだったと思うんですけども。やはり我々にとってみると衛生士さんを

育てていくのは非常に意義があるし、大学としての設立の意義というか、その辺はどのようにお考えでしょうか。

**井出学長** ご存じのように、いま歯科衛生士の必要性が目され、口腔ケアの重要性が盛んに言われており、歯科衛生士のレベルを上げることが課題となっています。そこで、歯科衛生士専門学校を短期大学として新設することに致しました。

文科省では、短期大学とは歯科衛生士専門学校が大学に昇格したものではなく、両者はまったく別物であり、短期大学においては教育と研究と診療が一体になっているべきなので、そのことを念頭に置いてしっかりと作り込むように、と要望されました。そんな中、新規の短期大学の認可を申請するのはなかなか難しかったのですが、的確な人材を配置して鋭意進めています。

短期大学では、市川総合病院において口腔領域と全身との関係を学ぶ実習を取り入れた新たなカリキュラムをつくっていて、8月に認可がおりる見込みです。

ただ、一つ懸念を抱いているのが入学者の定員割れの問題でして、文科省から定員割れしたときの財務状況にどう対応するのかを



非常に厳しく問われますので、学生の募集に関しては、是非とも同窓会にもご協力をいただきたく、宜しくお願い致します。

同窓会報6月号の中にパンフレットを入れていただきますが、来年の4月に開校予定ですので、お知り合いの方などに是非受験をお勧めいただければありがたく存じます。臨床実習時や、卒業後の就職の際も、一番信頼できる同窓の先生方のところでお世話になることができれば、大学として最も安心できます。同窓の先生方にご支援・ご協力いただき、短期大学の学生の教育についても是非大学と一体となって進めていただければ、非常にありがたいと思います。

**富山副会長** 水道橋のことで一点。私は東京で開業しておりますので、千葉に移転したときも当然患者さんの紹介を水道橋にお願いしていました。ただ、現状として、今はなかなか予約がとりづらいつらいつら。先ほど一戸先生からご説明があり、手術室をふやしたりとか待合がふえることによって患者さんを紹介したときに少しスムーズに水道橋に移れると、本当にありがたいと思います。

あともう一点、ちょっとお話がありましたけれども、地域包括ケアという言葉もありました。二次医療機関としての東京歯科大学の位置づけですね。つまり、これからますます歯科医院が単独でやるという時代ではなくなると。国はもうその方向で、とにかく連携しろと。医科とも連携しろ、大学とも連携しろという流れの中で、今

度は口腔外科とか歯科麻酔科とか、あと障害者歯科の部分も新たに充実するというので、その部分はこれから我々同窓の一番のバックアップ、包括ケアを含めた形の中で非常に重要なポジションだと思っておりますので、その部分を、学生ばかりでなく、同窓にも教育する中で進めていただけるとありがたいと思いますので、そこら辺のところをもうちょっとお教えいただければと思います。

**一戸副学長** そうですね。大学でなければできない専門性と、先生方のところの患者さんに来て頂きやすい状況をうまく組み合わせながら診療していかねばと考えています。水道橋病院ですが、東京に来て医局員が増えたら、患者さんもたくさん来てくださるようになりました。私が病院長の時は一番多くても600人ぐらいでしたが、今は1日に800人から850人ぐらいの患者さんがみえます。そのため3週間に一度ぐらいしか予約が入らないという状況で、患者さん、あるいは先生方に大変ご迷惑をおかけしている状況です。何とかスムーズに回転するようには思っておりますが、現状ではまだまだうまくいってない部分がありますので、矢島病院長とも相談しながら、やっていきたいと思っております。

そのほか、大学の専門性として、先生方のところで対応が難しいような患者さんのご紹介をたくさんいただきますので、先生方とよく連携しながら診療していきたいと考えています。特に障害者歯科は、障害のある方だけではな

くて、どこでも診ることが難しいような強烈な恐怖症の方、嘔吐反射で全身麻酔でないと治療ができないような人もいらっしゃいます。そういうところで、我々大病院としての役割を果たせればと思っております。

#### ■千葉校舎、病院および グラウンド、体育館などの 今後について

**矢崎会長** 学生時代を千葉校舎で学ばれた同窓会会員の多くの方が、千葉校舎や病院、グラウンドや体育館について関心を持たれております。今後の展望についてお聞かせいただけたらと思います。

**井出学長** 体育館やグラウンド等の教育施設は、必ず残すつもりです。

学生の寮や合宿棟などの教育施設はしっかりと残しますが、病院の部分は耐震面で問題があるため、非常に難しい課題です。しかしながら、千葉病院は研修医や学生を受け入れる施設として、非常に重要な役割を担う存在であると位置づけておりますので、規模を縮小したとしても維持していくつもりです。

一部使っていない旧稲毛診療所、倉庫にしていたところと消防署の跡地と、それから職員の奥の駐車場の5,000坪は売らないで、スーパーに貸すことにしました。今のところ手放すつもりはなく、スーパーからの家賃収入を活用しながら売らずに保持していきたいと考えています。

■市川総合病院の今後について

**財部副会長** 千葉の施設のうちの  
もう一つ市川総合病院は、やはり  
今は地域医療の拠点として十分な  
機能を果たしていると思います。

市川市はもとより千葉県全県、あ  
るいは東京東部の同窓の先生たち  
が緊密な連携をとっているわけ  
です。そこで何か市川総合病院につ  
いて動きとか変化とかがあった場  
合にはできるだけ新しい情報が欲  
しいと皆さん思っています。最近  
の話題として何か情報があれば、  
お話いただきたいと思えます。

**井出学長** 市川総合病院は、4月  
1日から正式に地域医療支援病院  
として承認されました。

市川総合病院は急性期病院で、  
看護師をたくさん採用してしま  
すが、人件費が非常にかかり、財  
務状況が厳しくなっています。あ  
まりに著しい赤字が出るようでは  
困りますが、やはり口腔の状態と  
全身の健康との間には深い関わり  
がありますので、市川総合病院の  
存在は学生教育のためには非常に  
意義深いものです。オープンキャン  
パスでの受験生に対する説明の  
時などには、市川総合病院では医  
科・歯科の研修医と看護師の研修  
生、また学生とが、みな一緒にな  
ってチーム医療を学ぶことができ  
るという点を大いにアピールし  
ていきたいと思えます。東京歯科  
大学が、単独であれだけの病院を  
持っているということは、大学に  
とって非常に有利なことなので  
す。

スキルラボで学生が研修医と  
一緒に実習をやっているような場  
面の話や映像は、是非大学の紹介

をするときに積極的に活用してい  
ただきたい。これは大学として、  
大きなアピールポイントになりま  
す。

■女子学生に対して卒後の  
進路指導についての考え方

**財部副会長** 女子学生が量的に大  
分多くなってきているということ  
で、今後、女性会員あるいは女性  
歯科医師の活躍する場所がだんだ  
んふえてくるのだろうと思いま  
す。男性と必ずしも同じような活  
躍をするということではなくて、  
女性は女性特有の生涯のサイクル  
を考えていかなければいけないと思  
いますけれども、それに対して卒  
後の進路指導で何か特段の配慮を  
されていることがあれば、教えて  
いただきたいと思えます。

**井出学長** 女性の歯科医師は大学  
の教育・診療において、今後ま  
す重要なポジションを占めると  
考えます。そのためには、勤務し  
やすい環境を整えることが重要で  
あると考えています。

■大学と同窓会の連携について  
特に現在、大学が同窓会へ  
要望すること

**財部副会長** 先ほど井出先生から  
大学と同窓会は協力しながらやっ  
ていかなきゃいけないんだとい  
うお話をいただきましたけれども、  
大学として同窓会に何か特に期待  
すること、あるいは要望されるこ  
とがあったら教えていただきたい  
と思えます。

**井出学長** 現在、大学と同窓会  
は一体となって非常にいい関係を

保っておりますが、地方に参りま  
すと、同窓の先生から大学に対し  
て様々なご批判を頂くことがあり  
ます。地域の同窓会に対して、正  
確な大学の情報が流れるようにす  
ることが必要だと感じます。支部  
に行ってお話しする際、我々大学  
側はどうしても遠慮がありますの  
で、是非同窓会本部の先生方から  
大学側の率直な意見等をお伝え頂  
きたいと思っております。

**司会** ぜひそのあたりは広報とし  
て、会報やホームページもありま  
すし、それからFacebook、その  
ほか新しい試みとしてネットワー  
クというものもでき上がっていま  
す。その辺は大学と連携を密にし  
て正確な情報を確実に流してい  
きたいと思えますので、ぜひよろ  
しくお願いしたいと思います。

■西棟へ寄付の現状と、  
同窓会への依頼について

**澁谷副会長** この時代、寄付とな  
るとそう簡単に集まるものではあ  
りません。同窓の先生方は地域で  
活躍なさっています。

それは東京歯科を卒業している  
から他校の同窓も認めてくれると  
いう一面もあるのではないかと  
思えます。

最初に寄付のお願いがあった当  
時私、会長以下役員が全国の支部



に足をはこんでお願いに上がるべきと言って響きを感じた覚えがあります。寄付は足をはこんでお願いしなければと思っています。

■最近、著しく増加している  
若手会員の支部未加入や、  
同窓会離れの根本的原因に  
ついて

司会 同窓会もいま直面している問題としては、若手会員の支部未加入という、これは組織としては数の論理を考えると非常に大きな問題だと思うんですね。ある意味若手会員をつかみ切れないというところがあるんですね。なぜかというところ、卒業されて、研修医のときはいいんですけども、そこから先をつかみ切れていない。

早速副会長 我々も地域医療強化ということで、歯科医師会でも同窓会でもいろいろ知恵は絞っているんですけども、特効薬がないというのが現状にあるんですね。ということは、若者の気質というか、そういうのが変わっちゃったのか、いわゆる組織に入るのはあまり好ましいと思っていないという人が多い。大学なんかでも、クラブ活動を積極的にやる人間もいますけども、どちらかというともやらない人もいます。

そういう中で、大学の先生方を見て、同窓会がいろいろ躍起になって考えているんだけど、こういうことをやればもっと何かいいことができるんじゃないかなみたいなのがあれば教えていただきたいと思います。

井出学長 昨今は企業でも、新入

社員の3人に1人ぐらいはすぐに退職してしまう時代です。愛社精神のようなものは薄く、ステップアップのために躊躇なく転職する傾向があります。大学についても同様で、母校のために、と言う精神はなかなか持ち合わせなくなっている傾向があります。

歯科医師会も同様で、最近の若い先生方の中には入会しない方も多いようですが、歯科医師会に入会しておくことは、生涯研修や何か事故が起こった際に大変大きな意味を持つのだということを、卒業する学生や研修医に説明し、理解してもらうように大学としても努力しています。

■同窓会活動の充実のために  
大学に要望すること

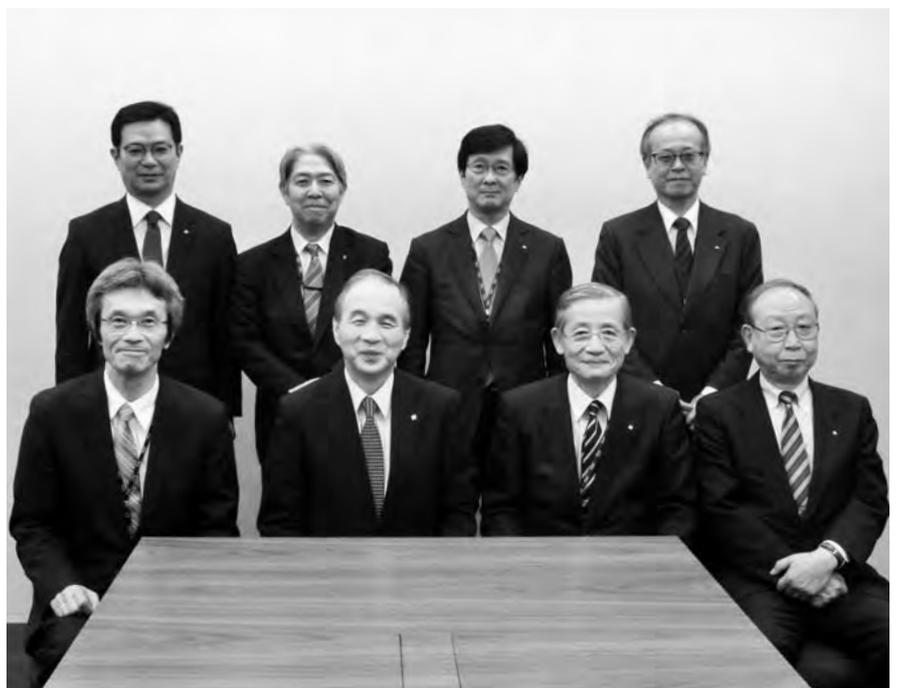
矢崎会長 現在、大学のご配慮を賜り、各学年のホームルームの時間などに、同窓会会報を学生さんに配布し、同窓会の活動についての話をさせて戴いております。また、卒業後5年目までの同窓会の

新進会員の方を中心として、毎週のように症例検討会などを開催しています。そのような研修会などに、大学院生や医局の若手の先生方にも時に参加して戴ければと希望しています。

一戸副学長 大学と同窓会がタッグを組んで、入学から卒業、臨床研修、そして生涯研修へと継続した研修システムが充実しているのが東京歯科大学の強みだと思っています。この意義を学生や若手医局員のうちからよく理解してもらい、自身の生涯研修のためにも大学や同窓会を活用するように仕向けて行きたいと思います。

司会 長時間にわたり、両先生にはいろいろありがとうございました。最後に矢崎会長お願いいたします。

矢崎会長 本日は誠に有難うございました。大学のさらなる発展を心から期待しております。



# 理事会のうごき

## 第1回理事会

平成28年1月16日（土）午後3時30分

於 特別会議室

出席 32名

議長 矢崎会長

### 会長挨拶

ご多忙の中、理事をお引き受けいただき、また全国各地からお集まりいただき感謝申し上げます。

会員各位のご協力により、昨年11月29日に創立120周年の会を開催することができた。800名もの方々にお集まりいただき、盛会裏に終えることができたことに心から御礼申し上げます。これもひとえに血脇先生から始まった同窓会が、諸先輩方の大変な努力で今日を迎えた結果であり、この同窓会の結束力を今後の運営に生かしていきたいと考える。

会員連携強化、情報ネットワーク・ホームページ等によるより充実した会員への情報提供体制の構築、大学との課題の共有と会員による大学支援体制の強化、同窓会アカデミア構想による人材の育成、財政基盤の強化、以上の5項目を本執行部の重点項目として推進していきたい。

特に若手会員の同窓会離れが目立つ。前執行部で若手ネットワーク委員会を立ち上げて、新進会員のつどい等を開催し、ある程度の成果は見られるものの、本質的な問題解決には至っていない。若手との連携をさらに強化する必要があるものとする。

大学は3月には西棟が完成する。まだ寄付の協力が得られない会員各位にさらにお願いをしていき、同窓会が一体となって大学を支えていきたい。

120周年の会を開催するにあたり関係各位より資料をいただき、先人のことを学んだ。血脇イズムを土台として、人材育成をさらに進めていく。皆様方のご協力をお願い申し上げます。

### 黙 禱

静岡県支部・佐野襄介氏はじめ8名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

### 会務報告ならびに承認

1) 平成27年12月21日から平成28年12月22日までの日程を報告。

2) 各部報告

(1) 総務・厚生部：①地域支部連合会長交代について2件報告。②支部長交代について10件報告。③支部長退任時の感謝状ならびに記念品の贈呈について10件報告。④逝去会員について、規定により弔慰共済金を支給した旨の報告。⑤平成28年度高齢会員該当者について報告。⑥平成28年度共済負担金免除会員該当者について報告。⑦平成28年度東京歯科大学同窓会事業計画について報告。⑧東京歯科大学同窓会会則および細則について説明、報告。⑨支部長必携について確認、報告。⑩罹災共済金額の決定基準について覚え書きの確認、報告。⑪母校「水道橋校舎施設設備整備資金寄付金」申込状況報告。⑫東京歯科大学学年暦について確認、報告。⑬情報ネットワーク推進会議報告。⑭新進会員のつどい実行委員会報告。

(2) 会計部：①平成28年度東京歯科大学同窓会予算書の報告。②東京歯科大学同窓会旅費規程について報告。③高山・血脇記念同窓会基金規程について報告。④東京歯科大学同窓会時局対策費積立金会計内規について報告。⑤役員出張について確認、報告。⑥支部・地域支部連合会学術講演会講師派遣交通費の支出について報告。⑦支部加入促進費の支出について報告。⑧平成27年度12月末現在現況報告。⑨東京歯科大学第121回卒業証書授与式祝金について報告。

(3) 渉外部：報告事項なし。

(4) 広報部：報告事項なし。

(5) 事業推進部：①社会保障制度研究委員会報告。②TDC 卒後研修セミナー2016について報告。③二校会主催若手研修セミナー報告。

以上の会務報告について、全て承認。

**協議事項****【報告事項前に協議】**

- 1) 副会長の委嘱と職務分担並びに順位について承認。
- 2) 専務理事および常任理事の委嘱と職務分担並びに順位について承認。
- 3) 地域選出理事の職務について承認。
- 4) 常任監事について承認。
- 5) 顧問、参与の委嘱について承認。
- 6) 理事会、常任理事会の運営（座長等）について承認。

**【報告事項後に協議】**

- 7) 理事会、常任理事会の運営（平成28年度の開催日程等）について承認。
- 8) 事業の推進と会務運営上の連携（各部連携）についての説明。承認。
- 9) 各種委員会委員選出について承認。細部は会長一任。
- 10) 役員連絡会議の設置について承認。
- 11) 平成27年度評議員会質問、要望事項について説明、協議の結果継続審議。
- 12) 推薦会員退会願いについて1件承認。
- 13) 前役員に対する記念品について承認。細部は会長一任。
- 14) 平成28年度都道府県代表者会について承認。細部は継続審議。
- 15) 平成28年度評議員会について開催日・場所を提案、承認。細部は継続審議。
- 16) 「東歯関係日歯役員・代議員と同窓会役員との懇談会」について開催日時場所を提案、承認。内容は会長一任。
- 17) 大学病院診療録指導委員会委員推薦依頼に対して、東京地域支部連合会および千葉県支部に入選を依頼、その結果を踏まえて大学に推薦の報告、承認。

**第2回理事会**

平成28年3月19日（土）午後3時30分

於 南棟6階会議室A B

出席 29名

議長 矢崎会長

**会長挨拶**

各常任理事は各委員会委員の選出・決定、各地域理事の先生にはメールにおける各種ご報告、感謝申し上げます。

昨年行われた同窓会創立120周年記念事業の様子が動画配信されている。とくに宮地先生、吉沢先生の講演は、東京歯科大学の歴史についてわかりやすく解説した素晴らしいものである。準会を含め、全会員に見ていただけるよう期待している。

昨日、国家試験の結果が発表された。東京歯科大学は今年も好成績であった。これは、学生、教職員の皆様の寝食を忘れるような努力の賜である。我々同窓としても、地域において周囲から一目置かれるような存在になっている。今後も大学と協力して、大学、同窓会が共々繁栄していくように会務運営に努めたい。

先日、大学と衛生士学校の卒業式があった。衛生士学校には大山名誉会長と出席した。卒業生48名は入学時と同様の48名であり、そのうち20名が皆勤賞、20名が精勤賞ということであった。他の衛生士学校ではなかなか見られない状況で、大学同様、衛生士学校の教育も目を見張るものがあった。

いよいよ各支部・連合会等に、役員が出向くことが多くなる。各地域・支部の活動が同窓会の支えであることをご理解いただき、本部の情報をしっかりと伝え、本部と支部、地域が一体となって同窓会を進めていけるよう、よろしくご協力をお願い申し上げます。

**黙 禱**

空知支部・江島俊昭氏はじめ12名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

**会務報告ならびに承認**

- 1) 平成28年2月25日から12月22日までの日程を報告。
- 2) 各部報告
  - (1) 総務・厚生部：①会費、共済負担金納入免除願いが1件提出され、受理した旨の報告。②推薦会員入会願いについて1件報告。③マイナンバー法に則した規約・諸契約文書の作成について報告、平成28年1月1日付けで改訂。④就業

規則の見直しについて報告，平成28年1月1日付けで改訂。⑤地域支部連合会長交代について1件報告。⑥支部長交代について1件報告。⑦支部長退任時の感謝状ならびに記念品の贈呈について1件報告。⑧逝去会員について，規定により弔慰共済金を支給した旨の報告。⑨母校「水道橋校舎施設設備整備資金寄付金」申込み状況報告。⑩会務運営協議会報告。⑪オンデマンド配信検討会報告。⑫参与について報告。⑬各部委員会委員委嘱について報告。⑭大学病院診療録指導委員会委員推薦について報告。⑮個人情報漏えい保険の契約更新について報告。⑯母校の平成27年度 Elective Study について報告。⑰会長賞について報告。⑱新入会員・大学院修了者・大学院入学者・3病院臨床研修医修了者オリエンテーション開催について報告。⑲学年代表者会について報告。⑳常任理事会の開始時間について報告。

- (2) 会計部：①地域支部連合会学術講演会助成金の支出について1件報告。②支部・地域支部連合会学術講演会講師派遣交通費の支出について4件報告。③地域支部連合会ゴルフ大会カップ代の支出について1件報告。④事務職員の昇給について報告。⑤平成28年度2月末現在現況報告。

- (3) 渉外部：①東歯関係日歯役員・代議員と同窓会役員との懇談会について報告。②白須賀貴樹衆議院議員の飛躍を期待する集いへの協力について報告。

- (4) 広報部：①広報部広報委員会について報告。②同窓会 HP アクセスレポート報告。

- (5) 事業推進部：①社会保障制度研究委員会報告。②学術委員会報告。③TDC アカデミア2016報告。④女性会員活躍検討委員会報告。

以上の会務報告について，全て承認。

#### 各地域選出理事報告

北海道・戸田理事，東北・田島理事，関東・大野理事，東京・山口理事，東海・国島理事，北陸・野田理事，近畿・稲野理事，中国・野間理事，四国・沖理事より報告。

#### 協議事項

- (1) 平成28年度都道府県代表者会，平成28年度評議員会について協議の結果，各地域に持ち帰り検討，継続審議。
- (2) 平成27年度評議員会であげられた意見の対応について協議，各部署で検討を確認。
- (3) 支部加入促進費について協議の結果，各地域に持ち帰り検討，継続審議。

#### 訂正とお詫び

会報「403号」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

p 5 お知らせ

右段上から6支部目富山県支部

支部長交代

誤：平成28年1月1日付

正：平成28年2月1日付

# 第44回同窓会主催全国ゴルフ大会

## 第44回 同窓会主催全国ゴルフ大会へのご参加をお願い申し上げます

会長 矢崎 秀昭

昨年、開催されました同窓会創立120周年記念の諸事業に対して、会員の皆様の心からなるご支援に厚く御礼申し上げます。お蔭様で、平成27年11月29日に、血脇記念ホールおよび東京ドームホテルで開催された記念式典、講演会、祝賀会には800名に及ぶご来賓、会員のご参加を賜り、大変盛会となりました。

この記念会に先立ち、同年9月3日に霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催されました、同窓会創立120周年記念第43回同窓会主催全国ゴルフ大会には全国か

ら、本当に多くの会員の皆様のご参加申し込みを賜り、心から厚く御礼申し上げます。しかしながら定員を超える申し込みを賜り、せっかくのご厚情に応えることが出来なかった会員もおられ、衷心よりお詫び申し上げます。

本年は、ゴルフ委員会の方々のご努力により、祝日の開催となりますので、開業されている会員の方はもとより、大学や勤務医の会員方など、より多くの皆様のご参加を賜り、懇親を深めて戴くよう宜しくお願い申し上げます。



キーリートーリ線

### 第44回 同窓会主催全国ゴルフ大会申込書

所属支部名 \_\_\_\_\_ 氏 名 \_\_\_\_\_ 卒業年度 \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_ TEL ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ ハンディキャップ  
(プライベートでも可) \_\_\_\_\_

通信欄

参加費7,000円を添えて申し込みます。

## 第44回同窓会主催全国ゴルフ大会ご案内

第44回同窓会主催全国ゴルフ大会は、埼玉県武蔵丘ゴルフコースにて開催いたします。

タイガーウッズが初来日して最初にラウンドしたゴルフ場として有名ですが、今年の『樋口久子 三菱電機レディスゴルフトーナメント』をはじめ、数多くの女子プロゴルフトーナメントを開催してきたチャンピオンコースです。テレビ中継でおなじみの17番池越え、最難関の18番など、挑戦意欲が掻き立てられるコースです。

昨年は予想を大幅に上回る参加希望があり、何名かの先生にはお断りをせざるを得なく、ご迷惑をおかけしました。今回は募集人員を増加しました。また、祝日の開催ですので、木曜休診ではない会員の先生も奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

開催日時 平成28年9月22日 木曜日（秋分の日）

会場 武蔵丘ゴルフコース

〒357-0006

埼玉県飯能市中山665

TEL 042-973-3333

FAX 042-973-9666

交通 車利用

圏央道・狭山日高 I.C. から約6 km

(約10分)

電車利用

西武池袋線・飯能駅北口からタクシー

で約6分(約1,000円)

競技方法 18ホールストロークプレイ

(ダブルベリア方式)

参加費 7,000円(含パーティー費、賞品代)

その他は個人払いとします。

参加人数 160名(先着順)

申込期間 平成28年7月15日まで

申込先 東京歯科大学同窓会ゴルフ大会係宛

〒101-0061

東京都千代田区三崎町2-9-18

TEL 03-5275-1761

申込方法 参加申込書に所定事項記入の上、会費7,000円を添えて、現金書留封筒でお申し込み下さい。

クラス会単位その他のコンペ同時開催による一括申し込みの場合も申し込み時に必ず全員の参加申込書と会費を添えてください。

なお、電話での受付はいたしません。

追記 本大会についての詳細は大会実施要項として、参加申込み手続き終了の方に直接お送りします。その他ご質問お問い合わせ等は下記委員にお願いいたします。

中川路健司 TEL 048-866-4645

◎宿泊 1) ホテル・ヘリテイジ飯能 sta

ゴルフ場までお車で約6分

TEL 042-975-1313

2) 飯能第一ホテル

ゴルフ場までお車で約6分

TEL 042-972-1212

3) 川越プリンスホテル

ゴルフ場までお車で約45分

TEL 049-227-1111

優待等はありません。

予約、お問い合わせは各自でお願いします。



# 総務・厚生

開催予告

## 第4回 新進会員のつどい開催決定！

日時 平成28年11月3日（祝） 12時より  
場所 東京歯科大学水道橋校舎 本館13階（予定）

今年度は、各新進会員のお世話になった主任、副主任の先生方に各専門科をまたいだクロストークをして頂こうと考えております。学生時代には聞けなかった話も聞けるチャンスになるかと思っております。

また、懇親会においては、様々な相談をできる場を設けるなど、嗜好を凝らした企画にしたいと思っております。  
第4回新進会員のつどい実行委員長 石川宗理（平成24年卒）

## 第3回新進会員のつどい開催報告



熱心に受講中

講演された先生方



大久保真衣先生



大平貴士先生



角 祥太郎先生



平成26年度の卒業生集合

今回、「第3回新進会員のつどい」開催にあたり、多数の先生方に参加していただき改めて深く感謝申し上げます。実行委員長を務めました平成23年卒の黄地健仁です。新進会員は卒後5年目までを対象としたものですが、今回我々が主催した「第3回新進会員のつどい」は同窓会をもっと若手の先生方に身近に感じていただけるよう、幅広い分野から講師の先生をお呼びしました。参加者は例年にも増し、それに伴ってたくさんの交流があったように思います。今後も東京歯科大学の優秀な若手会員との交流を通じ、「新進会員のつどい」が今後さらに繁栄していくことを望んでおります。最後になりましたが、この「第3回新進会員のつどい」開催にご尽力賜りました同窓会役員の先生方に深く感謝申し上げます。

第3回実行委員長 黄地健仁（平成23年卒）



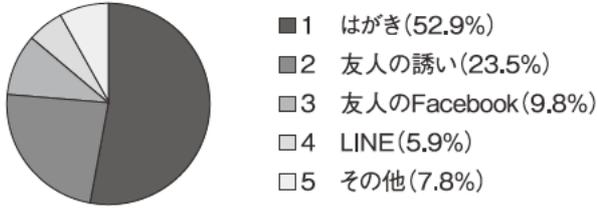
懇親会にて

まずは、「第3回新進会員のつどい」開催にご尽力賜りました同窓会役員の先生方、お忙しい中、演者を引き受けて下さった先生方、関係者の皆様に深くお礼申し上げます。今回は新進会員のつどいに中心となって携わることのできる最終年でした。若手の先生方に同窓会をもっと知ってもらうという目的で3年前から立ち上がった会ですが、今回も多くの先生方にご参加いただき、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。このような会は、参加して下さる先生方がいないと成り立たないと思います。次回以降もより発展した会になっていくことを祈っております。

第3回実行副委員長 野末真司（平成23年卒）

## アンケート集計結果

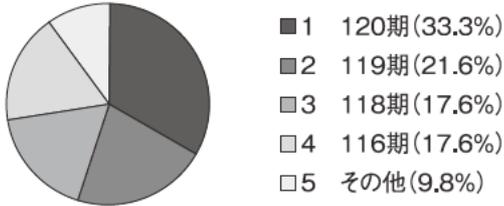
何で知ったか (N=51)



次回も出席したいか (N=49)



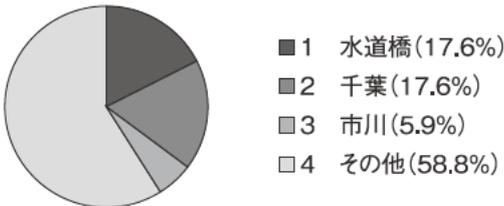
所属学年 (N=51)



次回開催の希望場所 (N=50)



所属施設 (N=51)



次回希望する講演内容 (N=複数)



### 出席して良かったこと

- ・ 人生設計について聞けた。
- ・ 歯科技官の講演が聞けた。
- ・ 歯科医師と子育ての両立について聞けた。
- ・ 他学年との交流が持てた。
- ・ 大学での研究について聞けた。
- ・ 自分の疑問に関しての意見交換ができた。
- ・ その他
  - TDCの人とのつながりを持てる。
  - 徐々に同期と会えた。
  - 角先生のお話が聞けた。
  - 若い子の頑張りが聞けた。

### 感想・意見

- ・ 今回はなかなか聞けない内容の話で楽しかったです。
- ・ ぜひ継続してください。
- ・ 新進会員の先生方と中堅より上の先生方とでは、この会に対する考え方が違うように感じた。
- ・ 顕微鏡を使用した歯内療法の講義が聴きたい。
- ・ 実行委員の皆様、ありがとうございました。
- ・ とても良い会だと思うので、可能である限り続けてください。



懇親会後集合写真

## 東歯関係日歯役員・代議員と同窓会役員との懇談会

第180回日歯臨時代議員会1日目の3月10日（木）の午後6時より飯田橋のホテルメトロポリタンエドモント2階「薫風」において東歯関係日歯役員・代議員と同窓会役員との懇談会が開催されました。

出席者は、東歯関係の日歯役員3名、日歯代議員15名、都道府県歯会長4名、同窓会役員18名、そしてご来賓として母校の水野嘉夫理事長、井出吉信学長と、白須賀貴樹衆議院議員と島村大参議院議員がご列席くださいました。

同窓会の佐々木眞澄常任理事の司会進行で、澁谷國男副会長が開会の辞を述べ、まず矢崎秀昭会長より、「昨年より会長予備選挙等で、各地域においても混乱し日歯代議員の先生方も大変だったと察する。今回の保険改訂等をみても山科執行部は大変頑張ったと思う。それを支えた同窓の日歯役員にも敬意を表する。昨年同窓会

創立120周年行事も大変成功し協力に感謝する、現在同窓会では若手同窓への応援を重点課題としている。母校の西棟建設も竣工する是非支援・協力してほしい。」との挨拶がありました。

この後、ご来賓よりご挨拶を頂戴いたしました。まず母校の水野嘉夫理事長より「新しい歯科界の時代が来る。母校も同窓会と協力しながら発展していきたい。」つづいて井出吉信学長より「現在、日本私立歯科大学協会の会長に就任しているが、国民の為にも今後日歯と大学とは連携を強化する必要がある。西棟も竣工し、衛生短大の認可準備も最終段階にある、大学を含め志願者の紹介を宜しくお願ひしたい。」、この後白須賀貴樹衆議院議員より「将来を見据えて歯科界も変化していく必要がある。」とのご挨拶を頂戴いたしました。

ここで日歯の山科透会長、

浅野正樹専務理事、小枝義典常務理事と日歯連盟の高橋英登会長、家田隆弘理事長とがお見えになり、日歯の山科透会長と日歯連盟の高橋英登会長よりそれぞれご挨拶を頂戴しました。ここで出席者紹介を行い、つづけて日歯の小林慶太常務理事、山崎安仁理事よりご挨拶を頂戴しました。

この後同窓会の大山萬夫顧問のご発声で乾杯し、会食をしながら会を進行し、まず同窓会の会務報告を臼井文規専務理事が行い、さらに各日歯代議員よりそれぞれ近況報告とご挨拶を頂きました。途中、所要のため遅参された島村大参議院議員と日歯の小枝義典常務理事よりご挨拶を頂戴しました。会は終始和やかな雰囲気の中進行し、最後に同窓会の鳴神保雄顧問の指揮で校歌を斉唱し、財部正治同窓会副会長の閉会の挨拶で終了しました。



## 事業推進部

### ●卒研レポート●

# TDC アカデミア 2016 医療教養セミナー／フロントランナーセミナー 第1回『生き甲斐を支える診療の気づき』 ～歯科衛生士・歯科技工士・歯科医師が要求される役割～

平成28年4月14日（木）午後7時30分より、水道橋校舎南棟6階会議室において、表記セミナーが講師に宝田恭子先生をお迎えして開催された。

宝田先生は母校を昭和55年にご卒業後直ちに同歯科保存学第一講座で研鑽を積まれ、昭和63年、東京都江戸川区にある宝田歯科3代目院長に就任された。院外でのご活躍も多く、日本アンチエイジング歯科学会理事、睡眠改善インストラクターでもある。また口元の筋肉を中心に表情筋を鍛える「くちびるエクササイズ」を従来の歯科治療に取り入れ大きな注目を集めた。

さてセミナーは超満員で、準備された椅子では間に合わず、急遽座席を増設しての開催となった。

先生は、前向きに生きる患者さんの健康寿命と咀嚼寿命を一致させるために歯科衛生士、歯科技工士、そして歯科医師が技術力と心を合わせてできることは何か？を豊富な症例と共に話された。

「健康でいつまでも美しくありたい」と思ったきっかけは、スキーヤーの三浦敬三氏が100歳を超えてゲレンデに颯爽と立つ姿を見て衝撃を受けられたことだったそうである。

100歳の秘密って何だろう？それは猫背じゃないこと、そして表情豊かな顔をしていらっしゃる。つまり、姿勢良く、表情を動かすことが美しさに繋がる事だと話された。さらに姿勢と噛み合わせの関わりについて、胸鎖乳突筋に着目された。側方から見たとき、同筋が斜め後ろ60度に傾いていれば美しく食べることができ、美しく歩くことができる。ところが胸鎖乳突筋は外側翼突筋と拮抗する筋であるため、胸鎖乳突筋が垂直に立ってくると口が上半身からはずれて前へ出てしまう。すなわち噛む位置を自分の姿勢によって変化させてしまうことになる、と解説された。

講演途中で、実際に宝田先生と一緒に患者さんと向き合って仕事



をされている歯科技工士の峰岸真沙彦氏が登壇され、「患者様の想いを形にする為に」という内容で実際の技工の様子、特にコピーデンチャーの作成と手順を紹介された。そして宝田先生から、このように診療室の中で歯科衛生士、歯科技工士、歯科医師の三者が一つになってこそ思いが遂げられる、歯科技工士の作業を見て、自分の立ち位置を確認した方が患者さんのためになると話された。

最後に、テレビに出演され黒柳徹子氏と記念写真を撮影した折、「さっと美しい笑顔を作ることのできる黒柳徹子さんは本当に素晴らしい」と話されて講演を閉じられた。

(取材・広報部 渡邊宇一)



## ●卒研レポート●

## TDC アカデミア 2016 臨床セミナー／顎関節症セミナー

## 顎関節症のパラダイムシフト とらえ方からマイクロストレッチまで ～ラベンダーの香りにつつまれて～

4月24日（日）12時より16時まで、新館11階講義室で行われました。今回はTDC アカデミア臨床セミナーの今期初回なので講演に先立ち開校式が行われ、引き続き講演です。

講師の原 節宏先生は日本歯科大学病院准教授・顎関節症診療センター長で日本歯科大学卒業後歯冠補綴学第2講座、総合診療科、デンマーク王立オーフス大学臨床口腔生理学教室で勉強され、当日は白衣姿で、講座の先生方も多数同行され、多くのスライド、筋膜のビデオを闊達な言葉と実習で講演されました。顎関節症のとらえ方・接し方の変遷は大きく、まず1823年に顎内障という考えが発想されました。咬合由来主義から画像診断主義となり、咬合関係が主因と考えられていた時代では、不正咬合で生活を続けていると顎関節症になると考えられていて、スプリント療法、人工関節円板置換術、咬合調整・大規模補綴、智歯抜歯等の治療が行われていました。スプリントの顎関節症に対する治癒率はプラセボを含めて約50%、又クリック音と症状の相関性はないそうです。

1990年すぎから診断基準の研究が開始され、現在顎関節治療で最優先されることは、非侵襲的なケアです。侵襲がほとんどない治療



は理学療法（マッサージ）セルフケア（ストレッチ、開口訓練、患者教育、生活習慣指導）認知行動療法などで、比較的侵襲が少ない療法はスプリント療法、薬物療法、ヒアルロン酸注射、鍼療法、トリガーポイントインジェクションなどです。

さらに近年では、安静にして様子を見ることから、開口障害を主訴とする関節円板転位に起因すると考えられる患者には病態の説明を十分に行ったうえで開口訓練も提案されています。顎関節症以外でも、腰痛、五十肩、筋繊維症など画像検査が有効でない長期化する疼痛症候群では、早期から痛みを我慢して積極的に動かすべきともいわれています。

また、鎮痛剤の選択ですが非ステロイド性抗炎症鎮痛剤は、長期服用による胃潰瘍発生が問題とな

るので、現在はアセトアミノフェンの処方が推奨されています。カロナールは昨年12月に500mgが発売され1日最大4000mgまで容量が拡大されました。

顎関節症における筋膜痛に対するアプローチでは非侵襲性を優先し、トリガーポイントブロック注射、虚血性圧迫など直接アプローチと、ストレッチ、+冷却、浅部オイルマッサージ等トリガーポイントを含む筋、筋膜全体にアプローチする方法があります。自己ストレッチ、トリガーポイントについては、先生指導のもとで皆で実践し、またその際自律神経調節作用を期待したアロマセラピーの応用も教えてくださり会場全体が心地よい香りにつつまれて講演を終わりました。

（取材・広報部 奥野圭子）

# 母校だより

## 第121回 卒業証書授与式

去る平成28年3月15日（火）午前10時から水道橋血脇記念ホールに於いて、第121回卒業証書授与式が行われた。今回も昨年に引き続き、卒業式に先立ち大学院の修了式が執り行われ、田崎雅和大学院研究科長より今年度修了の35名の大学院生を代表して歯周病学講座の鈴木瑛一大学院生に修了証が授与された。

引き続き司会の佐藤 亨学生部長の開式の辞に続き、参列者一同の「君が代」の斉唱で、卒業式が開式された。

まず石井拓男副学長から「現在、本学に在籍する学生は、843名であります。これらの学生の教育については、専任者として教授59名、准教授39名、講師73名、助教124名、助手1名の合計296名、このほかに臨床教員、客員教員、嘱託教員および非常勤講師の合計604名、合わせて900名が担当しております。本日、第121回卒業証書授与式において卒業証書を授与される者は、前記在籍者のうち127

名であります。これを大学設置以来の卒業生と合わせますと8,927名、専門学校設置以来の卒業生と合わせますと14,985名となります。なお、高山歯科医学院創立以来の卒業生を通算しますと、15,276名となります。」旨の学事報告の後、河田英司教務部長の呼名により卒業生一人一人が起立し、井出吉信学長から卒業証書が授与された。続く褒賞の授与では、学長賞、血脇賞、井上 裕賞、精励賞、卒業論文賞が授与された（受賞者は文末に記載）。なお、河田教務部長は定年のため、今回が最後の登壇となった。

井出学長からの告示では、「東京歯科大学は皆さんが入学した年から水道橋校舎への移転の準備をまいりました。一部の本館の改修は残りますが、この3月に西棟の校舎の完成をもって完了となります。皆様には移転に際しまして、何かとご不便をおかけしたと思います。皆さんは水道橋キャンパスと、それぞれの最新の設備を

備えた3つの付属病院において、最先端の歯科医学、歯科医療の知識・技術を学びそして医療人として必要なコミュニケーション能力を培ってきました。あの大きな被害をもたらした東日本大震災から5年が経ちます。今も多くの被災者が困難な生活を強いられております。心よりお見舞い申し上げます。当時、震災における被災地での支援活動においては、全国から多くの歯科医師が身元確認作業や歯科医療活動に尽力されました。被災地での歯科医師の役割は大きく、避難生活をされる方々の健康を支える上で、歯科治療や口腔ケアの重要性が再認識されました。今日、団塊の世代が75歳を迎える2025年問題が医療界においても大きな課題になっております。口腔ケア、摂食嚥下の機能の維持、改善、在宅での歯科治療など歯科医師の役割はますます広い分野にわたり、求められていることとなります。皆さんが最も活躍する40、50代になりますと、超高齢社会は



ますますその速度を増して行きます。おそらく皆さんの診療室にみえる患者さんは、何某かの全身疾患を持っていることと思います。その時に備えるためにも、生涯学ぶ姿勢を持ち続けて下さい。そのことが後輩への良い励みになると思います。常に歯科医療は進歩をしています。卒業後も大学との連携を忘れないで頂きたいと思いません。今後も大学は、皆さんを学問的に、また精神的にも支援して参ります。卒業生におかれましては、これからも本学同窓として末長く母校の発展を暖かく見守って頂ければと思います。卒業おめでとう！」と述べられた。

続いて水野理事長からは、「本学の理念として、本学は常に歯科界の先導者としての歴史を刻んで参りました。本学の創立者、高山紀齋先生、建学者、血脇守之助先生から120数年にわたり、脈々と本学に流れている建学の精神は、「歯科医師である前に人間たれ」という言葉に尽くされています。公称が「素養ある真の歯科医の養成」を目的として創立されました。素養ある、の素養とは、歯科診療技術の習得あるいは教養だけではなく、社会人として必要な幅広い知識を蓄え、常に自分自身を

高め続けていくことが出来る能力を兼ね備えた人間性であります。この精神は今日の歯科界の基礎を作ったものです。創立時、現在、そして20年、30年後では歯科医の立場は異なっています。しかし、そこに流れる精神は変わることはありません。2番目は、「同窓生のありがた」であります。長い歴史を継承・維持・発展するためには、常に研究・教育・診療面において変革をしてゆく必要があります。変革には、情熱と誠意が必要です。卒業する皆さんも、今日から東京歯科大学の同窓として、大学と共に情熱と誠意をもって、刺激し合い切磋琢磨して歯科界を先導してゆくのが伝統ある卒業生の役目であると思っております。3番目は「これからの生き方」についてです。ヘリコプターペアレントという言葉があります。頭上を旋回するヘリコプターのように子供を見守り心配になるとすぐに降りてきて指示や助け船を出す親ということだそうです。また一方、「深海に生きる魚族のように、自らが燃えなければ何処にも光はない」という言葉もあります。この言葉は、ハンセン病を患い戦前の歌人、明石海人の歌集の序文にある有名な言葉であります。今日は

卒業式であります。親の庇護を離れ、先人同様に自ら赤々と燃えて、混沌とした歯科医学界から新たな1ページを作り上げていかれることを期待しましてお祝いの言葉と致します。」と祝辞を述べられた。

続いて矢崎同窓会長が祝辞で、「今日の歯科大学の学生さんの置かれている環境は、長年にわたる日本の歯科医療体制の矛盾から、誠に厳しい状況となっております。さらに歯科大学もその影響を多大に受け、大学をはじめ教職員の皆様にも多大なる負担を強いられています。このような厳しい歯科教育環境の中で、本日無事このご卒業の栄冠を勝ち取られたこと、本当に素晴らしいことと心からお祝い申し上げます。昨年、東京歯科大学同窓会は、創立120周年の記念すべき節目の年となりました。平成27年11月29日に、同窓会創立120周年記念式典、講演会そして祝賀会をご来賓や同窓会の会員など、800余名を越える方々にご参加賜り大変盛会となり、大学をはじめご父兄など多くの皆様のご支援に対して深く感謝しております。本学の建学者である血脇守之助先生が、120余年前の明治28年に歯科医師は生涯にわたる研



修と、共に助け合いさらに人間としての品格を高める必要があるとして、同窓会の前身となる院友会を創設されました。本学の全ての卒業生は、生涯にわたり同窓会員となります。高山歯科医学院以来本学の卒業生は、15,000余名となり、現在9,100余名の同窓会員が都道府県など全国各地の同窓会支部に所属し、地域の人々の口腔衛生活動、さらには我が国の歯科医療の発展のために多大なる活躍をされております。現在、卒業して5年目までの会員は、同窓会の新進会員となり、会費の削減さらに毎週のように新進会員のための卒業研修セミナーなどを開催し、皆様の臨床や研修などの支援を行い、さらに新進会員の集いなどを通じて、同窓会や会員同士の連携を図っております。血脇先生は、同窓会を単なる親睦団体として創設されたのではなく、歯科医学の

研究や研修を目的とされておられました。その設立の意向に沿って、同窓会は長年にわたり継続してTDC 卒業研修セミナーを開催し、同窓だけでなく日本の歯科医療の発展のために多大な貢献をしております。創立120周年を記念して同窓会アカデミア構想を立ち上げ、将来の同窓会や日本の歯科界を担う人材の育成に取り組んでおります。卒業生の皆様には、積極的にこの同窓会アカデミアにご

参加賜り、歯科界を担うリーダーとして活躍されることを心から期待しております。」と祝辞を述べられた。

続いて在校生を代表して加藤栄助君（5年生）から送辞、卒業生を代表して山本麻貴さんが答辞を述べた後、出席者全員で校歌を斉唱し、厳粛かつ感動的な卒業証書授与式が閉会となった。

（広報委員 末原正崇）

### 受賞者一覧

学 長 賞：山本麻貴

血 脇 賞：小崎芳彦，朴 世津，中野僚子，小見山雅道

井上 裕賞：石 彩記子

精 励 賞：佐藤仁美，杉山雄紀，本間 遼，高橋 彩

西山真央，稲田潤一郎，石東 叡

柳川昌太，今井 紬，山内茉椰

卒業論文賞：高橋史子，木村峻輔，本多佑名，松崎雄佑

滝沢友里香，宇田川詩織，小澤 悠

手束峻介，長谷川 祥

## 平成27年度 大学院卒業式

去る3月15日の卒業証書授与式に先立ち大学院卒業式が執り行われ、終了後に新館教室にて修了書が授与されるとともに、矢崎同窓会長から同窓会長賞が授与された。



## 平成28年度 母校入学式

去る平成28年4月5日（火）、午後1時より、水道橋校舎新館の血脇記念ホールにおいて、平成28年度東京歯科大学入学式が行われた。佐藤 亨学生部長の司会進行のもと、まず国歌「君が代」の斉唱が行われた後、片倉 朗教務部長が新入生一人一人の紹介を行った。

その後、まず井出吉信学長から以下のような訓辞があった。「新入生の皆さんを心から歓迎するとともに、保護者の皆様には東京歯科大学を代表してご入学のお祝いを申し上げます。歯科医師は身体の中で最も機能の集約された口腔顔面領域の治療を行います。口腔の様々な疾患の予防や病変に対する治療の結果は、患者さんのクオリティーオブライフと直接深く関係し、その成否は患者さんの心にも大きな影響を与えてゆきます。それゆえに、歯科医療人を志す人は、豊富な知識と高度な医療技術を身につけるとともに、良識のあ

る人間性が求められるものです。現在、文部科学省において、今後の歯科医学教育の新たなカリキュラム作りが行われております。そこでの主な目標は、多様な歯科医療技術に対応出来る歯科医師の養成です。特に、現在の医療技術の変遷により、国民から求められていることは、倫理観、医療安全、チーム医療、健康長寿社会などに対応出来る実践的臨床能力を有する歯科医師の養成です。この新たなカリキュラムに対して、本学はすでに十分に対応ができております。東京歯科大学の優れた人材による講義や実習、最新の設備を備えた多様な症例を経験することが出来る水道橋病院、千葉病院、そして東京歯科大学市川総合病院により教育を行ってまいります。皆さんは将来、このようなやりがいのある、しかし重い責任をもって治療を進める歯科医療チームのリーダーになって頂きたいと思っております。その責任を担うためには、

何よりも日々の勉学と技術の研鑽が必要です。日々の地道な努力を怠っては、真の実力が身に付かないことは、肝に銘じておいて下さい。そして、勉学に励んで頂きたいと思います。今ここに胸に抱いた歯科医学を学びたいという新鮮なモチベーションを継続するためにも、これから始まる6年間の学生生活を輝く大切な時間とし、日々の勉強はもちろんのこと、クラブ活動や仲間との交流などに積極的にチャレンジして自分を高めていって頂きたいと思います。」

続いて水野嘉夫理事長から、次のような祝辞があった。「新入生の皆さん入学おめでとうございませう。そして保護者の皆様、本当におめでとうございませう。心からお祝いを申し上げます。今日は二つのことをお話ししたいと思います。本学の歴史を知っておいて欲しいということ、学生生活をどう送るかということの二つについてお話ししたいと思います。まず、本学の歴史について知って欲しいということですが、本学を皆様方が入学したときにご覧になっていることと思いますが、本学のアドミッションポリシーについては、よくご存じだと思います。本学では本学の精神である「歯科医師たる前に人間たれ」を基本に、人物・学力ともに優秀で、将来、国民医療に貢献する歯科医療担当としての動力、それから適正を十分に有する者を求めています。本日皆様方は名実ともに歯科大学の優であります東京歯科大学とい



う素晴らしい大学に入学したわけであります。新入生という新鮮な目で、是非、東京歯科大学の歴史を綴った血脇守之助伝、百周年記念誌、百二十周年記念誌を読んで下さい。その本の中には、東京歯科大学の先人がいかに考え、いかに行動して、いかに現在の本学を作り上げてきたかが分かります。それを読み知ることは、東京歯科大学の人間としてこれから6年間学ぼうちに、日本、そして世界の歯科界をリードするのは本学で学んだ我々しかない、と、自覚するはずであります。これが私学、東京歯科大学であるが故に味わえ、体験出来る学府というものであります。その自覚が、学生生活を何よりも実り多いものにします。また生涯にわたり、大切にすべきものと思えます。自分で図書室に行っ

て本学の歴史を読んで下さい。2番目は、どのような学生生活を送るべきかについてお話しを致します。大学教育の中で大切なことは、学生自らが多様性の標準化、すなわち世界的レベルで物事を考えること、いろいろな問題点を発見し自ら解決してゆくこと、困難に立ち向かい克服してゆくこと、そして、地道に努力が出来ること、という労力あるいは勇気ということでしょうか、この4つを在学中に養うことであると思えます。皆様方ご存じだと思いますが、劇団四季を主催しております浅利慶太氏は、こんなことを言っております。「演劇人の適正は、芝居が何より好きな人、作品に感動出来る人、お客様が感動して下さることに喜びを感じられる人、自分の利害を減して自己犠牲出来

る人」と、言っています。何か我々に通じるものがあります。皆さん方は、東京歯科大学に入学したわけです。6年間の学生生活を送るうちに、歯科医療の中に好きなことを必ず見付けられます。そして将来、歯科医学を通じて患者さんに、そして世の中の人に、大きな感動を与えるべく努力することであると思えます。東京歯科大学の学生として誇りと自信をもって、将来の東京歯科大学のさらなる発展に貢献されることを期待致しまして、お祝いの言葉と致します。」

続いて新入生を代表して山下遥香さんが宣誓を行った後、学長より徽章が授与された。その後、校歌を高らかに斉唱して入学式が閉じられた。

(広報委員 末原正崇)

## 平成28年度 東京歯科大学 入試ガイダンス日程

	開催日時 (予定)	場 所	内 容
1	7月16日 (土) 14時～	東京歯科大学 水道橋キャンパス (本館13階)	模擬授業、大学紹介、入試概要説明、入試科目ポイントの説明、入試問題の解説(予定)、個別相談(希望者)
2	8月6日 (土) 13時～	東京歯科大学 水道橋キャンパス (本館13階)	模擬授業、大学紹介、入試概要説明、入試科目ポイントの説明、入試問題の解説(予定)、個別相談(希望者)
3	8月28日 (日) 13時～	東京歯科大学 水道橋キャンパス (本館13階)	模擬授業、大学紹介、入試概要説明、入試科目ポイントの説明、入試問題の解説(予定)、個別相談(希望者)
4	9月24日 (土) 14時～	東京歯科大学 水道橋キャンパス (本館13階)	模擬授業、大学紹介、入試概要説明、入試科目ポイントの説明、入試問題の解説(予定)、個別相談(希望者)
5	12月17日 (土) 14時～	東京歯科大学 水道橋キャンパス (本館13階)	模擬授業、大学紹介、入試概要説明、入試科目ポイントの説明、入試問題の解説(予定)、個別相談(希望者)

※ 内容、開催時間等、変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

問合せ先：東京歯科大学 教務課（水道橋校舎新館） TEL：03-6380-9528

URL：http://www.tdc.ac.jp

なお、事前予約は不要です。

## 平成28年度 新入生名簿

青木孝仁	岡村まどか	澁川弥幸	野村莉花	宮部賢志
浅井七海	荻原朱音	末永万理	長谷川和紀	宮本貴彦
阿南優花	小倉健介	鈴木彩里	花澤美咲	村井泰岳
阿南夕子	小越大熙	鈴木大介	馬場雅弓	村岡那々子
綾坂健太郎	加藤誉之	鈴木梨沙子	濱田起矢	村元真裕子
綾部美樹	金崎悠介	徐廷和	早瀬正生	母家一晃
荒井楓琳	金澤壮哉	高橋尚之介	稜川園乃子	森本和樹
新谷香俊	神谷駿太郎	高橋遼枝	原田裕成	安光美空
飯島遥介	亀岡瑞輝	高原千苗	菱田一優	山崎美織
飯田遥唯	岸村円香	高柳香みのり	藤崎智穂	山下恭史
五十嵐達也	木本百由	太治智人	古屋秀司	山下明佳
石川惠美	清田和輝	田中佑樹	古屋珠美	山中久瑠実
石山敦也	久保僚真帆	田中村香英	本目麻紀	山根万由子
伊藤聡吾	熊倉林沙	玉手雅人	増井博文	山村雅裕
伊藤万也	黒崎哲嗣	土屋崇佑	升森幾子	山本雅乃
伊藤慶之介	黒田玲奈	寺西正成	松浦あずさ	湯浅天意
井上久乃	黒鯉里佳香	中西崇仁	松浦功武	吉田柊野
内山稚董	小林優太	中西智香也	松瀬矢的介	吉田大来
榎本彬乃	小柳太壱	奈良岡純也	松原良介	吉原豊幸
大熊宏岳	齊藤萌衣	西野桃加	丸島あずさ	和田賀優希
大倉建一郎	佐々木結陸	西村俊胤	丸島佐和子	
大塚千裕	佐藤陸乃	丹羽千浩	宮川春香	
大野京音	佐野夢乃	沼山浩明	宮田貴楓	

## 平成28年度 第2学年編入 (10名)

池本茉由	岩田真知子	沖村尚信	平大昭	萬場詩織
石関柚希	宇梶淳平	菅家杏珠	藤原龍	力武七瀬

## 東京歯科大学同窓の皆様

# 東京歯科大学短期大学歯科衛生学科について

東京歯科大学短期大学設置準備統括部長

石井 拓 男

現在、学校法人東京歯科大学は、文部科学省に「東京歯科大学短期大学歯科衛生学科」の設置許可申請中であります。

本短期大学は、高齢社会の進展を踏まえ、要介護高齢者や医科疾患患者に対し、歯科予防処置・歯科診療補助・歯科保健指導を適切に提供し、医療・介護との連携に対応できる歯科衛生士の養成を目的としております。

この目的達成のために、水道橋病院に加え市川総合病院という優れた医療機関での充実した学習を予定しております。歯科衛生士の学生は、全国でも最先端の医科歯科連携の実際を学ぶことができます。東京歯科大学にしかできない、教育カリキュラムを作成しております。

東京歯科大学と同一の水道橋キャンパス本館の14階に、短期大学の教室や演習室を配置し、新設された西棟5階が短期大学実習室となっております。西棟1階のラウンジも学生の学習施設として良好な環境となっております。

歯科衛生士を目指す皆様に、東京歯科大学短期大学のことをお知らせいただけますと幸いです。

短大の説明会・オープンキャンパスを予定しております。

最新情報は、下記のホームページをご覧くださいと存じます。または、短大設置準備室へお問い合わせください。

<https://www.tdc.ac.jp/college/jc/index.html>

(東京歯科大学のホームページからもご覧できます)

東京歯科大学短期大学設置準備室

〒101-0061

東京都千代田区三崎町2-9-18

電話03-6380-9071

E-メール tandai@tdc.ac.jp

(計画内容は予定ですので、今後変更となる可能性があります)



水道橋校舎本館西棟



西棟5階の短期大学実習室



市川総合病院 呼吸ケアチームでの  
歯科衛生士業務の実際

## 水道橋校舎 施設設備整備寄付金 寄付者の皆様へ

学校法人 東京歯科大学

理事長 水野 嘉夫

学長 井出 吉信

大学創立120周年を機に進められた大学移転計画は、新館完成の平成25年度に大学機能の水道橋移転を果たし、平成28年3月には本館西棟の完成で教育研究医療のさらなる充実を図ることができました。計画当初より同窓の皆様に頂いた多方面にわたるご助力に対し、深く感謝申し上げる次第です。また、今回ここに平成22年度より募集しております水道橋校舎施設設備整備寄付金の中間報告をさせていただくに際し、これまでの同窓寄付者の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

西棟完成後も、本館改修工事など大学機能にとって重要な計画が進んでおります。引き続き、母校へのご厚情を賜れば幸いに存じます。



全景（夜）



1階ラウンジ



2階診療室



3階技工室



4階手術室



B1階生体素材研究室

(支部別・敬称略) 水道橋校舎施設整備寄付金 寄付者名簿

平成28年3月31日現在

支 部 名	卒年	氏 名
北海道 札幌支部	昭19.9	水野 敏郎
〃	昭22	蒲 郁次朗
〃	昭24	遠藤 雅夫
〃	昭31	田山 俊二
〃	昭37	中井 一仁
〃	昭37	山田 洋文
〃	昭42	杉村 俊之
〃	昭44	藤森 敏昭
〃	昭48	麻生 博
〃	昭49	森田 康夫
〃	昭49	佐藤 英俊
〃	昭49	中野 一博
〃	昭50	戸田 徳和
〃	昭55	杉山 裕
〃	昭55	原 覚
〃	昭61	河野 崇志
〃	平09	志村 俊一
北海道 札幌	平15	濱本 由佳
北海道 函館支部	昭24	後藤 次夫
〃	昭37	白井 陽二
〃	昭42	西川 吉博
〃	昭44	西川 忠弘
北海道 小樽支部	昭27	齋藤 英輔
北海道 旭川支部	昭32	渋川 義昭
〃	昭36	小川 弘
〃	昭47	青木 憲雄
〃	平09	藤堂 雅成
〃	平11	藤堂 浩美
北海道 室蘭支部	昭42	合田 功
〃	昭43	古谷 忠雄
〃	平06	古谷 忠典
北海道 苫小牧支部	昭50	鮫島 道幸
北海道 十勝支部	昭31	神山 翁
〃	昭32	高橋 標
〃	昭36	森 政成
〃	昭40	白石二美子
〃	昭46	松崎 紘一
〃	昭50	梅安 秀樹
〃	昭50	和田 大海
〃	昭50	市之川清子
〃	院昭48	市之川一成
北海道 北見支部	昭36	伊藤 正通
〃	昭49	小柳 嘉久
北海道 空知支部	昭38	柳 清二
〃	昭56	杉村 守彦

支 部 名	卒年	氏 名
北海道 空知支部	平08	柳 智哉
北海道 空知	平07	内田 禎子
青森県支部	昭20.9	波多野 弘
〃	昭34	鍋谷 聖道
〃	昭34	松山 陽一
〃	昭39	住吉 辰郎
〃	昭45	板垣 光信
〃	昭47	船越 良一
〃	昭49	本田 富彦
〃	昭63	古川由美子
〃	昭63	梅原 一浩
〃	平15	本田宗一郎
岩手県支部	昭19.9	鈴木 貞雄
〃	昭41	野坂久美子
〃	昭41	野坂洋一郎
〃	昭44	鈴木 雅夫
〃	昭52	吉川 道雄
〃	平12	谷藤 里奈
宮城県支部	昭33	松尾 學
〃	昭46	馬淵 量平
〃	昭47	菊池 亮三
〃	昭48	鈴木 一雄
〃	昭51	葛 正博
〃	昭52	佐藤 和則
〃	昭52	鈴木 篤
〃	平01	懸田 明弘
〃	平10	佐藤 晶
宮城県	平15	山田志保子
秋田県支部	昭29	高橋 一夫
〃	昭30	秋野 博尚
〃	昭31	鈴木 滋
〃	昭33	小川 陽市
〃	昭33	山内 静
〃	昭37	志水 透
〃	昭38	高橋 昭一
〃	昭49	寺岡 洋一
〃	昭50	藤原 元幸
〃	昭52	高橋 文明
〃	昭53	佐藤 裕子
〃	昭53	堀部真知子
〃	昭61	秋野 一尚
〃	昭62	小川 欽也
〃	昭62	清水 隆夫
〃	平02	山本 高敬
〃	平19	堀部 幸子

支 部 名	卒年	氏 名
秋田県支部	平20	奈良 宏周
山形県支部	昭22	佐藤 勤
〃	昭31	伊藤 修一
〃	昭33	五十嵐敏三
〃	昭41	岩沼 甫
〃	昭41	奥山 誠
〃	昭42	中川 正晴
〃	昭45	齋藤 利明
〃	昭46	中條 良文
〃	昭47	五十嵐 栄
〃	昭47	原 健一
〃	昭51	五十嵐康夫
〃	昭52	太田 忍
〃	昭54	松田 幸夫
〃	昭55	萩原 聡
〃	昭56	奥山 泰夫
〃	昭56	菊地 敦子
〃	昭61	五十嵐 寛
〃	昭62	菅原 泰典
〃	昭63	小林 千晃
〃	昭63	小林 久恭
〃	昭63	沼澤 孝典
福島県支部	昭39	鈴木 尚
〃	昭42	中村 秀勝
〃	昭44	安齋 勲
〃	昭44	入江 哲
〃	昭49	宍戸 計一
〃	平06	北見 武広
〃	平09	猪狩 弓彦
福島県	昭31	野口八九重
茨城県支部	昭22	根本 卓光
〃	昭34	中川 暁
〃	昭35	須田 晃
〃	昭36	飯田 昭
〃	昭41	石内 可城
〃	昭43	小竹 勝也
〃	昭44	竹上 勝夫
〃	昭47	大峰 秀樹
〃	昭49	小鹿 典雄
〃	昭49	小野寺鏡子
〃	昭49	小野寺宣夫
〃	昭50	大野 勝己
〃	昭50	高野 一夫
〃	昭51	島田 洋次
〃	昭52	山崎 雅美
〃	昭56	猿田 範雄
〃	昭57	宮本 克樹

支 部 名	卒年	氏 名
茨城県支部	昭62	小野瀬弘記
〃	昭62	土子 吉久
〃	平05	田澤 重伸
〃	平05	中島 理子
〃	平07	中川 健
茨城県	昭54	川口 浩
〃	昭58	松崎 和江
〃	昭58	松崎 英雄
〃	平04	羽賀 俊明
〃	平06	田澤 和子
栃木県支部	推薦	小島 武彦
〃	昭18.9	菊池 文雄
〃	昭22	佐川 巖
〃	昭23	屋代 義文
〃	昭31	湯澤 哲郎
〃	昭32	落合 雅雄
〃	昭35	内田 俊之
〃	昭36	柏瀬 昌世
〃	昭37	宮島 一郎
〃	昭37	森下昭十三
〃	昭38	縣 昌子
〃	昭38	小平 崇
〃	昭39	秋山 博右
〃	昭39	齋藤 哲
〃	昭39	中江千万紀
〃	昭40	縣 信哉
〃	昭42	関谷 和夫
〃	昭42	森下 洋
〃	昭42	菊地 誠
〃	昭44	三田 勇夫
〃	昭50	菊地 香
〃	昭50	菊地 善郎
〃	昭53	椎貝 達夫
〃	昭55	黒田 裕之
〃	昭58	柳川 敏夫
〃	昭59	黒田美智代
〃	昭59	坂入 道子
〃	昭60	湯澤 邦裕
〃	平03	手代木美香
〃	平04	日浅 玄
〃	平09	三浦 秀憲
〃	平10	石川 一磨
栃木県	平05	日浅 明子
群馬県支部	昭28	明石 隆吉
〃	昭31	川越 文雄
〃	昭32	大國 勉
〃	昭32	大國 連子

支 部 名	卒年	氏 名
群馬県支部	昭36	齊藤 直身
〃	昭36	長澤 宥
〃	昭37	松坂 泰
〃	昭44	森下 正教
〃	昭46	守谷 正
〃	昭50	岩田 康一
〃	昭51	塩崎 泰雄
〃	昭51	備前島俊行
〃	昭52	清見 能久
〃	昭52	引田 正俊
〃	昭53	石岡 豪一
〃	昭54	真下 泰彦
〃	昭54	築瀬 一彦
〃	昭55	村山 利之
〃	昭56	黒田 真右
〃	昭57	黒田由紀子
〃	昭58	原 茂
〃	昭61	高松 透浩
〃	昭63	原 靖
〃	昭63	大國 仁
〃	平01	片野 勝司
〃	平02	川越 弘敬
〃	平02	山川 文孝
〃	平03	山川 寿弥
群馬県	昭48	塩崎 昭美
埼玉県支部	推薦	仁木 俊雄
〃	昭16.3	田中 進
〃	昭30	森井 信行
〃	昭30	高砂 昌行
〃	昭31	氏家 英峰
〃	昭33	君塚 忠男
〃	昭34	延島 三男
〃	昭34	小海 優子
〃	昭36	板倉 克明
〃	昭36	金子 弘
〃	昭38	小山 昌道
〃	昭38	須佐 昭彦
〃	昭39	増田 紀男
〃	昭40	丹羽ひさゑ
〃	昭42	川田 守徳
〃	昭42	大澤 武雄
〃	昭42	田能村宣久
〃	昭42	野上 宏一
〃	昭43	門平忠一郎
〃	昭43	成田 賢二
〃	昭43	細井 達之
〃	昭44	小杉 国武

支 部 名	卒年	氏 名
埼玉県支部	昭45	小幡 直樹
〃	昭45	田原 邦昭
〃	昭45	馬橋 亟男
〃	昭45	井原 信一
〃	昭46	春山 良夫
〃	昭47	井出 良子
〃	昭47	塩崎 一秀
〃	昭47	安井 晃
〃	昭48	岡野 祐三
〃	昭48	斎藤 秀子
〃	昭48	並木 恒
〃	昭49	石塚 勇
〃	昭49	石塚 一美
〃	昭49	大塚 信郎
〃	昭50	鯨井 正夫
〃	昭50	森田 芳和
〃	昭51	広瀬 守
〃	昭51	亀井 英志
〃	昭51	高崎 修
〃	昭51	牧野 信之
〃	昭52	小谷 隆一
〃	昭52	関口千栄子
〃	昭52	高橋 章雄
〃	昭53	大井 誠一
〃	昭54	野本 節子
〃	昭55	植野 順子
〃	昭56	海野 智
〃	昭56	島 正博
〃	昭57	鳥羽千太郎
〃	昭58	橋田 博純
〃	昭60	中川路健司
〃	昭61	岡村美恵子
〃	昭61	小林 容子
〃	昭62	大谷 義之
〃	昭63	岩田 昌久
〃	昭63	延島ひろみ
〃	平01	栗澤 重樹
〃	平01	高柳 篤史
〃	平02	福田 直人
〃	平02	吉井 正俊
〃	平04	山田 順
〃	平06	永石 宏幸
〃	平08	森 俊道
〃	平09	春山 親弘
〃	平10	鈴木 義顕
〃	平14	塩崎 秀弥
〃	平20	野本 有香

支 部 名	卒年	氏 名
埼玉県支部	平22	植野 琢也
埼玉県	昭49	岡野 順子
〃	昭59	櫻井 誠
〃	昭63	松澤 政彦
〃	平11	齋藤 晶子
〃	平15	高梨 貴子
〃	平17	小林裕美子
〃	平20	前納 允
〃	平22	植野 智子
千葉県支部	昭23	杉山 浩一
〃	昭24	井上 裕
〃	昭24	杉山 邦夫
〃	昭25	高原 映忠
〃	昭27	佐藤 実
〃	昭27	柳川 昭
〃	昭28	吉田 浩
〃	昭29	宮吉 中
〃	昭33	道脇 公一
〃	昭34	内田 宏
〃	昭35	宮下 恒太
〃	昭37	梅田 尚夫
〃	昭37	関口 威身
〃	昭38	池田 武
〃	昭38	高橋 宏光
〃	昭38	西山 弘
〃	昭39	吉澤 信夫
〃	昭40	加藤 和子
〃	昭40	浅野 薫之
〃	昭40	小沼 洋子
〃	昭40	田村 俊晶
〃	昭41	佐藤 悠三
〃	昭42	榎本 洋史
〃	昭42	曾我部 勉
〃	昭43	浦井 照彦
〃	昭43	北總 征男
〃	昭43	高梨 薫敏
〃	昭43	千葉 光行
〃	昭44	高山 暉邦
〃	昭44	橋本 佳潤
〃	昭46	佐瀬 俊之
〃	昭46	高梨 遙美
〃	昭47	石井 裕
〃	昭47	鏡 宣昭
〃	昭47	北浦 利明
〃	昭47	佐々木脩浩
〃	昭47	鈴木 常夫
〃	昭48	西宮 寛

支 部 名	卒年	氏 名
千葉県支部	昭49	成川 元章
〃	昭51	木俣 茂
〃	昭52	財部 正治
〃	昭52	高原 正明
〃	昭54	佐々木研一
〃	昭54	鳩貝 尚志
〃	昭54	小船 邦夫
〃	昭56	菅谷 京子
〃	昭56	長野 恭輔
〃	昭57	齋藤 守
〃	昭57	宮吉 誠
〃	昭58	小林 慶太
〃	昭58	棕棒 正樹
〃	昭59	砂川 直俊
〃	昭59	中澤 正博
〃	昭60	平野 真紀
〃	昭60	宮吉 正人
〃	昭63	尾上 匡史
〃	昭63	小野瀬正浩
〃	昭63	齋藤 佳明
〃	平01	柴田 康司
〃	平01	村松 康子
〃	平02	國松 禎一
〃	平02	平山 明
〃	平04	本間 敬和
〃	平05	力武 秀樹
〃	平05	柴田 力
〃	平05	徳山 俊丈
〃	平06	岡本 芳敬
〃	平06	前田由紀恵
〃	平07	千葉 和成
〃	平07	洲崎 満
〃	平09	奥原 秀樹
〃	平11	高梨 聖敏
千葉県	推薦	金光 秀明
〃	推薦	高橋 正憲
〃	推薦	坪田 一男
〃	昭25	川島 康
〃	昭30	町田 幸雄
〃	昭32	小沼 武
〃	昭35	腰原 好
〃	昭42	榎本 順子
〃	昭45	平井 義人
〃	昭47	佐々木紀子
〃	昭59	大川 由一
〃	昭61	阿部耕一郎
〃	昭62	関根 聖代

支 部 名	卒年	氏 名
千葉県	平01	小山 安德
〃	平02	飯田 哲也
〃	平03	柴原恵美子
〃	平04	北川 博美
〃	平06	蔵本 千夏
〃	平08	田鎖あかね
〃	平08	朝日 大輔
〃	平14	鶴田 陽子
〃	平16	岡田 崇
〃	平16	岡田 千歳
〃	平16	鈴木 祐輔
〃	平16	西沢 知剛
〃	平17	大神 明香
〃	平18	若林 学
〃	平19	高梨亜季子
〃	平21	霜山 哲一
〃	平22	北川千加子
〃	平23	牧口 実央
〃	平23	奈良 倫之
神奈川 横浜中央支部	昭28	山本 勝一
〃	昭35	柳川 貴美
〃	昭43	関 泰忠
〃	昭45	宮地 繁
〃	昭46	加藤木 健
〃	昭47	吉田 昊哲
〃	昭49	宮地 洋子
〃	昭56	池田 嘉徳
〃	昭58	荻原 俊美
〃	昭61	望月 清志
〃	昭61	山田 勝久
〃	平05	木津 康博
神奈川県 横浜中央	昭30	恩田 千爾
〃	平14	吉田 章太
神奈川 横浜北部支部	昭30	花井 正二
〃	昭30	花井美智子
〃	昭30	吉成 邦雄
〃	昭39	佐藤恵利子
〃	昭41	藍原 繁樹
〃	昭41	細田 幸平
〃	昭42	中島 史和
〃	昭50	大橋 擁
〃	昭56	小笠原美由紀
〃	昭57	西山 潔
〃	平01	山倉佳小里
〃	平08	二宮 威重
〃	平09	佐藤留美子
〃	昭33	谷本 剛

支 部 名	卒年	氏 名
神奈川県 横浜北部	推薦	羽賀みつい
〃	昭19.9	陳 茂棠
〃	昭37	若月 英三
神奈川 横浜鶴見支部	昭28	香山 和美
〃	昭31	宇佐美雅弘
〃	昭48	佐藤 秀夫
〃	昭58	吉田 礎久
〃	平09	宇佐美貴弘
神奈川 横浜南部支部	昭26	山下 正雄
〃	昭47	玉井 達人
〃	昭61	浅川 仁
〃	昭63	渡邊 宇一
〃	平09	五條 和郎
〃	平19	玉井 直人
神奈川県 横浜南部	昭24	神山 五郎
〃	昭37	片桐 重雄
神奈川 横浜西部支部	昭32	山之内正高
〃	昭35	高階 皓三
〃	昭36	鈴木 祐司
〃	昭39	島田 英明
〃	昭44	北村 博文
〃	昭46	松田竹比虎
〃	昭54	杉山 紀子
〃	昭60	島村 大
〃	昭63	高階 光博
神奈川県 横浜西部	平02	吉野 浩一
〃	平08	堀内 勇人
神奈川 川崎支部	昭22	一戸 俊治
〃	昭25	川越 武久
〃	昭27	中島 善和
〃	昭35	飯田 涼二
〃	昭40	島 重夫
〃	昭42	古賀 克隆
〃	昭43	関 暁子
〃	昭44	根津 浩
〃	昭45	作間 敏信
〃	昭48	平尾 文昭
〃	昭49	玉井 久貴
〃	昭50	大塚 隆
〃	昭57	鈴木 幸一
〃	昭58	一戸 小織
〃	昭60	中野 昌則
〃	昭61	大塩美樹子
〃	昭61	杉之内俊郎
〃	平01	川越 元久
神奈川県 川崎	昭32	吉木 周作
〃	平03	鬼澤 勝弘

支 部 名	卒年	氏 名
神奈川県 川崎	平17	須田 鎮
神奈川 横須賀鎌倉支部	昭24	齋藤 久
〃	昭33	飯嶋 謙治
〃	昭35	伊東 兼明
〃	昭39	勝畑 知雄
〃	昭39	熊澤 満夫
〃	昭47	谷 繁信
〃	昭63	関口 一実
〃	平01	田澤 勇人
〃	平04	宮田 利郎
〃	昭49	池宮城 忠
神奈川県 横須賀鎌倉	推薦	土井 孝夫
〃	昭34	高橋 和人
〃	平06	宮田 牧子
神奈川 神奈川湘南支部	昭34	間宮 亨
〃	昭48	林 るり子
〃	昭59	鈴木 聡行
神奈川県 神奈川湘南	昭33	田中 寛
〃	昭33	田中 洋子
神奈川 神奈川西湘支部	昭34	山田 貢
〃	昭38	鈴木 康夫
〃	昭39	柏木 勝
〃	昭40	高橋 諄吉
〃	昭40	堀内 守和
〃	昭45	郷土 純久
〃	昭48	古井 瞭
〃	昭59	秋山 達郎
〃	昭59	佐々木明彦
〃	平01	椿 浩明
〃	平16	高橋 勇太
神奈川県 神奈川西湘	平06	坂田 愛子
神奈川 神奈川相北支部	昭27	鈴木 晃治
〃	昭27	和田 但磨
〃	昭33	中村 昭仁
〃	昭34	山田 勝朗
〃	昭39	半田 忠龍
〃	昭41	高橋 捷治
〃	昭45	高橋 靖宗
〃	昭47	関戸 幹夫
〃	昭50	小島 正裕
〃	昭50	新倉 良一
〃	昭51	大塚 哲也
〃	昭55	高橋 庸
〃	平06	佐藤 文彦
神奈川県 神奈川相北	昭60	仁紫 晶文
〃	平13	野村麻里子
山梨県支部	昭16.3	雨宮 彦一

支 部 名	卒年	氏 名
山梨県支部	昭25	天野 琢也
〃	昭25	小倉 信
〃	昭32	京嶋 佑幸
〃	昭35	早乙女 通
〃	昭37	金山 公彦
〃	昭37	金山 良子
〃	昭41	清水 康
〃	昭43	長久保文夫
〃	昭43	早川 進
〃	昭46	天野 静子
〃	昭47	渡辺 富裕
〃	昭47	大森 浄二
〃	昭48	山本 和恵
〃	昭50	三木 純子
〃	昭50	三木 正夫
〃	昭51	小林 正仁
〃	昭53	希代 忠男
〃	昭55	末木 稔
〃	昭56	若月 達也
〃	昭57	金山 昇
〃	昭57	丹沢 俊樹
〃	昭57	手塚 知恵
〃	昭58	矢崎 篤
〃	昭58	矢崎 瑞子
〃	昭58	渡邊 順
〃	昭59	阿久津 仁
〃	昭60	秋山 勝彦
〃	昭61	柴垣 光志
〃	昭61	細川 敏彦
〃	昭61	阿久津葉子
〃	昭63	中野いずみ
〃	平01	勝俣 至史
〃	平02	天野 高宏
〃	平02	田辺 靖喜
〃	平03	佐藤 昇
〃	平03	三井 香理
〃	平08	早乙女修一
〃	平10	村松慶一郎
〃	平11	宿澤 恵理
〃	平12	石原 瑞穂
〃	平12	大森 雄介
〃	平14	山本 るみ
東京 千代田支部	昭38	鹿島 隆雄
〃	昭47	山田 茂子
〃	昭53	白田 準
〃	昭57	今村昭二郎
〃	昭57	野嶋 昌彦

支 部 名	卒年	氏 名
東京 千代田支部	昭61	小川 浩
〃	平06	山本 雅通
〃	平11	大井 崇
東京都 千代田	昭16.3	小谷 元治
〃	昭57	野嶋 直美
〃	平14	大井 典子
〃	平16	鄭 尚子
東京 麴町支部	昭37	堀 光成
〃	昭41	柴山謹一郎
〃	昭44	下江信太郎
〃	昭46	小宮山彌太郎
〃	昭55	武田 孝之
〃	平02	堀 誠
〃	平09	堀 勝
東京都 麴町	昭58	福本千枝子
〃	平07	廣瀬 理子
東京 丸ノ内支部	昭22	山本 一成
〃	昭42	大石 孝弘
〃	昭42	宮地 建夫
〃	昭46	熊谷 俊明
〃	昭49	早速 晴邦
〃	昭50	寺本 信三
〃	昭55	植野 芳和
〃	昭55	山本 英之
〃	昭58	青木 弘興
〃	昭60	山本 勇人
〃	昭63	高橋 治好
〃	昭63	正井 良幸
〃	平08	近藤 紀之
東京都 丸ノ内	昭49	坂本 道世
〃	昭52	湯本 衛
〃	昭59	中久喜 薫
〃	平11	片山 明彦
東京 日本橋支部	昭23	福岡 明
〃	昭23	三宅 直晴
〃	昭30	高山 良光
〃	昭34	高梨 恒一
〃	昭54	黒河 宏之
〃	昭54	山 滋
〃	昭56	二階堂雅彦
〃	昭58	佐々木眞澄
〃	昭58	福岡 博史
〃	平02	福本 恵吾
東京都 日本橋	昭61	二階堂五月
〃	平03	太田 拓哉
東京 京橋支部	昭25	大山 萬夫
〃	昭30	梅宮 猛

支 部 名	卒年	氏 名
東京 京橋支部	昭30	渡辺 文磨
〃	昭34	田中 延佳
〃	昭35	長井 正行
〃	昭38	武石 醇作
〃	昭44	星野 征弘
〃	昭53	斎藤 規子
〃	昭53	斎藤 文明
〃	昭54	片山 隆
〃	昭55	白井 文規
〃	昭58	吉田 浩一
〃	昭60	小筆 正弘
〃	昭60	池田 弥和
〃	昭61	寺田 香織
〃	昭62	小澤 靖弘
東京 芝支部	昭24	長井 義博
〃	昭37	山内 英徳
〃	昭38	中川 武幸
〃	昭42	中川 勝洋
〃	昭42	山中 喜夫
〃	昭48	前田由美子
〃	昭52	鮎瀬 公彦
〃	昭53	萩原 雄吉
〃	昭59	青木 雅司
〃	昭59	佐藤 剛
〃	平04	高橋 潤一
〃	平04	関矢 泰樹
東京都 芝	昭52	グリーンナンせつゑ
東京 麻布赤坂支部	昭27	伊藤 浩
〃	昭30	鳴神 保雄
〃	昭38	小田 明江
〃	昭41	難波 修
〃	昭42	今村 幸男
〃	昭43	高橋 博水
〃	昭45	福田 壽一
〃	昭47	鶴沢 文彦
〃	平02	田島 秀治
〃	平17	小林 保行
東京 四谷牛込支部	昭34	渡辺 吉明
〃	昭40	白井 久雄
〃	昭41	鈴木 禎
〃	昭52	下川 誠
〃	昭56	北村 一
〃	昭63	片倉 孝子
東京都 四谷牛込	昭30	石川 達也
東京 新宿支部	昭19.9	飯田 精一
〃	昭30	足代 弘文
〃	昭31	松本 圭司

支 部 名	卒年	氏 名
東京 新宿支部	昭37	大鶴 悦晴
〃	昭39	川嶋 勲
〃	昭42	矢崎 秀昭
〃	昭44	細川 伊平
〃	昭50	古屋 忠
〃	昭50	村田憲一郎
〃	昭51	北條 健三
〃	昭52	本田 智子
〃	昭61	石川 博基
〃	昭62	矢郷 生和
〃	平01	足代 弘元
〃	平02	平岡 修
東京都 新宿	昭29	高添 一郎
東京 本郷支部	推薦	高橋 健二
〃	昭37	皆葉 壽樹
〃	昭52	茂木 伸夫
〃	昭59	平井 基之
〃	昭60	北村 正
〃	昭60	松原 真
〃	昭62	森 俊一
〃	昭62	森 玲子
〃	平04	平井知佐子
東京都 本郷	昭36	一色 泰成
東京 小石川支部	昭25	齋藤 季夫
〃	昭48	高橋 義一
〃	昭55	志賀 和子
〃	昭55	志賀 泰昭
〃	平07	時岡 孝寛
東京都 小石川	昭25	森山 徳長
東京 浅草支部	昭35	渡辺 典子
〃	昭47	松木 英作
〃	昭53	山本 明彦
〃	昭53	蛭谷 剛文
〃	昭55	中野 正博
〃	昭56	藤関 雅嗣
〃	昭57	富山 雅史
東京都 浅草	昭23	中久喜 喬
東京 下谷支部	昭39	橋本 岩男
〃	昭47	江里口 彰
〃	昭53	鈴木千枝子
〃	昭62	松田 秀人
東京都 下谷	昭32	高橋 一祐
東京 墨田支部	昭41	上竹 成一
〃	昭42	小貫 克
〃	昭49	荒川 幸雄
〃	昭53	中西 国人
〃	昭63	寺田 仁志

支 部 名	卒年	氏 名
東京 墨田支部	平02	菰川 雅彦
東京都 墨田	昭48	金子 完子
東京 品川支部	昭44	小坂 肇
〃	昭52	木下 優
〃	昭54	塩津 一郎
〃	昭59	丸島 徹
〃	昭60	高崎 一郎
〃	昭61	佐藤 隆仁
〃	平03	阿南 啓子
東京 荏原支部	昭31	矢部 正夫
〃	昭42	大岡紀一郎
〃	昭47	佐々木 康
〃	平09	大岡 洋
東京 目黒支部	昭25	川上 正義
〃	昭34	横矢 重忠
〃	昭36	田中 耕誠
〃	昭38	後藤 讓治
〃	昭41	真坂 信夫
〃	昭45	山本 悦秀
〃	昭45	山本美智子
〃	昭48	秋草 裕民
〃	昭49	知野 彰一
〃	昭54	呂 正博
〃	昭55	秋草 正美
〃	昭55	勝俣 正之
〃	昭59	小枝 義典
〃	昭60	市川 弘道
東京都 目黒	昭54	呂 英美
〃	平10	勝村さくら
〃	平20	呂 宗彦
東京 大森支部	昭28	多胡 彬
〃	昭34	杉原 伸顕
〃	昭42	赤穂 英生
〃	昭61	浜野 美幸
〃	平10	宮田佳代子
東京都 大森	平14	久保浩太郎
東京 蒲田支部	昭57	稲葉 孝夫
東京 世田谷支部	昭19.9	山根 照人
〃	昭22	三輪 英武
〃	昭25	中尾 俊郎
〃	昭25	堀 春男
〃	昭37	山本 貞之
〃	昭43	宇留賀 勝
〃	昭45	古賀忠佳子
〃	昭45	古賀 正忠
〃	昭45	山本 俊雄
〃	昭51	濱上 弘晴

支 部 名	卒年	氏 名
東京 世田谷支部	昭52	飯田 泰一
〃	昭56	高野 秀幸
〃	昭56	武田 朋子
〃	昭58	山崎 茂
〃	昭62	阿部 雅章
〃	昭62	加藤 興一
〃	平07	野村 幸恵
東京都 世田谷	昭41	大内 秀哉
〃	昭59	浅井 章弘
〃	平02	吉田 隆
〃	平06	谷村 将光
東京 玉川支部	昭59	溝口 潔
〃	平02	松澤 稔彦
〃	平03	水口 泰代
〃	院昭51	中尾 一成
東京都 玉川	昭15	坪田 實
〃	昭33	浅井 康宏
〃	昭59	溝口ちづ子
東京 渋谷支部	昭14	小早川 博
〃	昭18.9	佐藤 貞勝
〃	昭22	成富 延治
〃	昭23	坂井 栄隆
〃	昭23	平野 博
〃	昭26	横井 隆一
〃	昭29	酒井 雄学
〃	昭39	高橋 慎一
〃	昭40	南 忠興
〃	昭41	青木 栄夫
〃	昭47	佐々木高憲
〃	昭49	高宮紳一郎
〃	昭49	坂本真理子
〃	昭51	松野 修次
〃	昭55	矢島 麗
〃	昭58	石河 信高
〃	昭61	笹間 康弘
〃	平03	齊藤 義章
〃	平03	松野 弘和
〃	平03	番田 秀司
〃	平06	田邊 陽
東京都 渋谷	平08	高橋 健一
〃	平12	片岡 利之
東京 中野支部	昭16	安藤 正
〃	昭24	堀 将
〃	昭39	谷 光明
〃	昭41	上野 真人
〃	昭44	高市 武
〃	昭60	原 慎一

支 部 名	卒年	氏 名
東京 中野支部	昭61	浅香 充
〃	昭61	田中 祝
〃	昭62	小林 香
〃	平01	前島 達也
東京都 中野	昭28	坂田 三弥
〃	昭57	馬場真菜美
東京 杉並支部	昭26	貝塚 雅信
〃	昭38	笠原諏訪子
〃	昭39	平井 泰行
〃	昭39	酒井 福義
〃	昭39	若井 永
〃	昭40	村上 圭
〃	昭42	山口 秀晴
〃	昭44	柿澤 卓
〃	昭44	中川 杉生
〃	昭50	高宮真里子
〃	昭50	野津 秀郎
〃	平01	成田 文雄
東京都 杉並	昭17	岡田 進
〃	昭48	根岸 淑子
〃	昭57	田中 潤一
〃	平06	神作 拓也
東京 豊島支部	昭47	寺田 誠
〃	平02	平嶺小百合
東京 北支部	昭42	及川 澄江
〃	昭42	黒須 誠
〃	昭42	高橋 利武
〃	昭47	新井 京子
〃	昭48	根岸 康雄
〃	昭53	板谷 雅一
〃	昭62	高橋 敬人
〃	平07	大橋 渡
〃	平07	佐牟田昭子
〃	平22	大平 貴士
東京都 北	昭25	白須賀正樹
東京 滝野川支部	昭35	菊池 豊
〃	昭42	海老原典子
東京都 滝野川	昭48	内山 健志
〃	平24	村松 優樹
東京 荒川支部	昭32	清信 弘雄
〃	昭32	河田 誠作
〃	昭35	櫻井 善忠
〃	昭39	丹野 研
〃	昭63	河田 裕夫
東京都 荒川	昭48	松久保 隆
東京 板橋支部	昭24	鈴木 義政
〃	昭27	牧野 久子

支 部 名	卒年	氏 名
東京 板橋支部	昭38	小野寺寛造
〃	昭43	澁谷 國男
〃	昭47	市川 豊
〃	昭47	森岡 俊介
〃	昭50	須田 希
〃	昭52	岡野 昌治
〃	昭56	小林 顕
〃	昭56	鈴木 博
〃	平07	三澤壯太郎
〃	平09	渋谷 英介
東京都 板橋	推薦	吉野 肇一
〃	平05	手塚 真秀
東京 練馬支部	昭56	小池 修
〃	昭62	村上 雅一
〃	昭63	穂坂 康朗
〃	平10	安藤 泰敬
東京都 練馬	昭23	石井 欣一
〃	昭42	兒野 喜穂
東京 足立支部	昭57	高野 直久
〃	平04	磯野 珠貴
〃	平06	市川 敬一
東京都 足立	平05	磯野 千乃
東京 深川支部	昭22	田村 陽
〃	昭24	熱田俊之助
〃	昭53	白根 瑞恵
〃	昭55	大浦 好章
〃	昭57	中澤 章
〃	昭60	藤関 雅子
東京 城東支部	昭53	丹沢 朝彦
〃	昭54	片山 敦子
〃	昭54	三友 和夫
〃	昭56	久保 秀二
東京都 城東	昭22	田熊庄三郎
〃	平20	青木 一充
東京 葛飾支部	昭53	平野 和夫
〃	昭55	佐久間研次
〃	昭55	高野 博子
〃	昭62	木暮 隆司
東京 江戸川支部	推薦	宇田川義朗
〃	昭44	川本 強
〃	昭54	川野 浩一
〃	昭55	須賀 俊二
〃	昭55	小林 一公
〃	昭62	田村 元
〃	平11	小林健一郎
東京都 江戸川	昭28	見明 清
東京 武蔵野支部	昭20	藤井 春彦

支 部 名	卒年	氏 名
東京 武蔵野支部	昭53	上田 祥士
〃	昭53	櫻井絵理子
〃	昭55	小宮山修邦
〃	昭61	渡辺 和也
東京都 武蔵野	昭52	佐々木智美
〃	平12	阿部 修
東京 八南支部	昭24	大森 一知
〃	昭30	須佐美康治
〃	昭32	大橋 叔
〃	昭42	池田 恒彦
〃	昭44	浮地 文夫
〃	昭51	後藤 文崇
〃	昭53	田中 宏美
〃	昭53	中村 正延
〃	昭53	後藤伊都子
〃	昭56	関戸 達哉
〃	昭63	武井 保夫
〃	平01	土橋 博史
〃	平02	糠信 安宏
東京都 八南	昭33	村田 佐珧
〃	平17	鄭 尚賢
東京 町田支部	昭30	笠井 康弘
〃	昭48	赤田 留吉
〃	昭58	宮下 寿一
〃	昭59	笠井 徹
〃	平08	片倉 玄
〃	平19	赤田 晋哉
東京 北多摩支部	昭16.3	井上 良和
〃	昭19.9	津戸 英守
〃	昭26	桑田 昇
〃	昭28	相田 英孝
〃	昭31	北村 晴彦
〃	昭33	服部 玄門
〃	昭34	鈴木 貞夫
〃	昭34	武田 慎午
〃	昭36	田中 界治
〃	昭39	岩柳 義之
〃	昭40	原 肇
〃	昭42	立川 潤
〃	昭42	松本 信彦
〃	昭45	大澤 勤
〃	昭45	沼澤 博
〃	昭45	藤山 正之
〃	昭46	押見 一
〃	昭46	高橋 哲夫
〃	昭47	中山 友春
〃	昭48	矢崎 宣利

支 部 名	卒年	氏 名
東京 北多摩支部	昭49	奥野 和志
〃	昭49	山崎 康夫
〃	昭52	新井 尚子
〃	昭54	吉野 成史
〃	昭56	阿部 二郎
〃	昭57	富士田 隆
〃	昭57	山根 秀樹
〃	昭58	富士田珠民
〃	昭60	山口 和彦
〃	昭61	岩崎 進
〃	昭62	五十嵐 治
〃	昭62	中川 雅晴
〃	昭62	北村 晃
〃	昭63	国府田英敏
〃	平07	田中 大平
〃	平12	阿部 智行
〃	平13	松本 倫彦
東京都 北多摩	昭23	野本 種邦
〃	昭58	福本 裕
〃	推薦	宮武 光吉
東京 西多摩支部	昭25	鈴木 長
〃	昭29	本間 菖平
〃	昭41	池田 洋洲
〃	昭48	松永 良治
〃	昭51	鏡 一郎
〃	昭52	新井 一男
〃	昭53	中野多美子
〃	昭53	森田 勉
〃	昭56	佐藤 健
〃	平02	菊池 潤
長野 北信支部	昭52	小宮山能康
〃	昭53	青木 篤敬
長野県 北信	平21	林 遼
長野 中信支部	昭32	犬飼 啓元
〃	昭36	笠原 亨
〃	昭38	犬飼 康元
〃	昭39	片倉 恵男
〃	昭39	竹内 忠彦
〃	昭41	笠原 正行
〃	昭42	飯島 和彦
〃	昭42	清水 由美
〃	昭43	長内 直美
〃	昭43	上條 智生
〃	昭44	中田 金一
〃	昭47	山田源一郎
〃	昭52	和田 悟
〃	昭58	武井 利夫

支 部 名	卒年	氏 名
長野県 中信	平25	山田 正博
長野 東信支部	昭16.12	布施 祐一
〃	昭31	羽毛田湊人
〃	昭39	樋口 光代
〃	昭42	村居 正雄
〃	昭43	田中 將夫
〃	昭46	小池平一郎
〃	昭50	林 邦幸
〃	昭63	中島 洋子
〃	昭63	松原 茂
長野県 東信	昭46	小池 瑞穂
長野 南信支部	昭18.9	菅沼 孝夫
〃	昭20.9	植野 忠道
〃	昭32	池上 英雄
〃	昭32	小林 広康
〃	昭36	近江 誠一
〃	昭38	松村 雄郷
〃	昭39	笠原 文武
〃	昭43	中村 文子
〃	昭55	小林 孝次
〃	昭56	小林 芳美
〃	平06	池上 英明
〃	平06	松村 保典
〃	平06	三宅 輝彦
〃	平07	佐藤 臣志
長野県 南信	昭47	笠原 香
新潟県支部	昭18.9	小林 温雄
〃	昭25	佐藤 泰彦
〃	昭33	古田島耕三
〃	昭36	細山 愼
〃	昭38	山田 道夫
〃	昭39	佐藤 昭雄
〃	昭40	河内 博
〃	昭40	鈴木 義隆
〃	昭41	八百枝 勝
〃	昭42	高垣 順吉
〃	昭42	勝海 昭
〃	昭43	松川 公敏
〃	昭44	山中 武久
〃	昭46	阿部 晴弘
〃	昭47	広瀬 秀
〃	昭50	八百枝正樹
〃	昭52	野田真理子
〃	昭52	山田 潤造
〃	昭54	関川 一嘉
〃	昭55	岡田 泰幸
〃	昭58	永井 正志

支 部 名	卒年	氏 名
新潟県支部	昭59	北村 信隆
〃	昭61	常木 哲哉
〃	昭61	佐藤 浩之
〃	昭63	渡辺 和宏
〃	昭63	永野 正司
〃	平03	北村 径子
〃	平05	山田 道浩
〃	平08	永井 正紀
新潟県	平12	山田 道紀
静岡県支部	推薦	折原 健
〃	昭15	坂本 豊美
〃	昭19.9	杉山 博重
〃	昭22	澤田善太郎
〃	昭25	田代 教平
〃	昭31	田代 亘
〃	昭32	藤原 雅和
〃	昭34	中川 武憲
〃	昭34	喜田 正昭
〃	昭34	水川 秀海
〃	昭35	鈴木 英生
〃	昭36	大津 憲一
〃	昭39	竹山 隆芳
〃	昭39	森 隆
〃	昭39	山元 雍久
〃	昭40	稲垣 一臣
〃	昭43	渡辺 眞光
〃	昭45	加藤 勝基
〃	昭45	塚田 光弥
〃	昭47	阿武野弘信
〃	昭47	村上 芳一
〃	昭48	萩原 英生
〃	昭48	萩原 義久
〃	昭48	山下 敏明
〃	昭49	太田 昭二
〃	昭49	村松 英昭
〃	昭50	朝波 雄二
〃	昭50	伊東 哲
〃	昭50	勝又 修
〃	昭50	神田 潤二
〃	昭50	酒井 和正
〃	昭50	日野原 博
〃	昭50	松下 茂
〃	昭51	笹本 純一
〃	昭51	竹下 眞
〃	昭53	朝波 修
〃	昭53	大石えり子
〃	昭53	亀井 正仁

支 部 名	卒年	氏 名
静岡県支部	昭53	佐塚仁一郎
〃	昭53	竹内 智
〃	昭53	安原 孝由
〃	昭54	青島 孝之
〃	昭54	泉地 裕太
〃	昭54	佐野 芳孝
〃	昭55	大石 充
〃	昭56	スミス京子
〃	昭56	外 信之
〃	昭56	溝越 俊二
〃	昭56	森 泰彦
〃	昭56	有泉 祐吾
〃	昭57	板垣 哲夫
〃	昭57	河村 忠彦
〃	昭57	辻 吉純
〃	昭57	藤田 雄二
〃	昭57	若林 秀典
〃	昭58	鈴木 龍
〃	昭58	鳥居 一也
〃	昭58	森田 一郎
〃	昭60	井川 利幸
〃	昭60	片山 貴之
〃	昭60	喜田 眞司
〃	昭60	近藤 博保
〃	昭60	原崎 充弘
〃	昭62	田代 悦章
〃	昭63	山口 由紀
〃	平01	大内 仁之
〃	平02	喜田 賢司
〃	平02	瀧上恵美子
〃	平02	林 智子
〃	平03	中島 徹
〃	平03	長谷川眞康
〃	平03	本田 良和
〃	平06	赤堀 仁則
〃	平10	塚本 良
〃	平12	杉本 真慈
〃	平13	片岡 洋平
〃	平18	會田 貴久
静岡県	平04	林 真理
〃	平08	森 彩子
愛知県支部	昭17.9	山崎 薫
〃	昭19.9	橋本 京一
〃	昭22	河合 俊輔
〃	昭25	西村 秀祐
〃	昭25	林 晉
〃	昭29	日比 栄一

支 部 名	卒年	氏 名
愛知県支部	昭33	今泉 功
〃	昭34	岩瀬 朗
〃	昭35	長谷川 誠
〃	昭37	横田秋三朗
〃	昭40	神谷 龍司
〃	昭40	鈴木 茂久
〃	昭41	城所 繁
〃	昭41	山本 芳隆
〃	昭42	加藤 強
〃	昭44	夫馬 眞也
〃	昭44	穂積 良治
〃	昭47	夫馬 俊男
〃	昭48	伊藤 利明
〃	昭49	梅村 長生
〃	昭50	杉浦 正人
〃	昭50	成瀬 健
〃	昭51	河野 幸壺
〃	昭52	太田 博司
〃	昭52	山口 堅三
〃	昭53	橋本 雅範
〃	昭55	前岡 一夫
〃	昭56	西村 臣史
〃	昭59	清水 泰
〃	昭59	竹内 英樹
〃	昭60	小出 直弘
〃	昭60	日比 浩樹
〃	昭60	平野 義雄
〃	昭61	鈴木 正彦
〃	平02	小関 健司
〃	平02	鈴木 裕仁
〃	平04	横田幸市朗
〃	平07	静岡祐一郎
〃	平09	井上 敬介
〃	平11	穂積 隆浩
〃	平13	酒井 聡
〃	平17	成瀬 晋一
愛知県	昭56	西村 文子
〃	平06	可知久充子
〃	平21	成瀬 遼吉
岐阜県支部	昭16.12	国島 義郎
〃	昭17.9	後藤 恵一
〃	昭30	大橋 昭
〃	昭31	伊藤 成章
〃	昭31	古田 一男
〃	昭41	小川 敏彦
〃	昭47	西尾 有生
〃	昭51	国島真希子

支 部 名	卒年	氏 名
岐阜県支部	昭52	後藤 成隆
〃	昭53	正村 一人
三重県支部	推薦	谷崎 幸夫
〃	昭20	齋藤 仁見
〃	昭22	笠井 通男
〃	昭22	貴島 亨
〃	昭24	落合 英生
〃	昭24	神山 敏男
〃	昭24	高森 四朗
〃	昭27	北野 晋一
〃	昭30	中西 亨之
〃	昭32	古川 司郎
〃	昭33	楠崎 渥
〃	昭33	寺本 康郎
〃	昭35	三野 亨子
〃	昭36	山際 貞男
〃	昭38	北川 守信
〃	昭41	武藤 章美
〃	昭42	稲森幾多郎
〃	昭42	村田 憲美
〃	昭44	柘植 敏生
〃	昭45	大橋 隆道
〃	昭45	西村 元宏
〃	昭46	宮田 保
〃	昭47	加藤 裕康
〃	昭47	坂井 清
〃	昭47	中西 敏也
〃	昭47	西村 比志
〃	昭47	森 喜郎
〃	昭48	加藤 敬介
〃	昭49	坂井 治
〃	昭50	加藤 誠康
〃	昭51	継松 正実
〃	昭52	青 久昭
〃	昭53	大谷 久次
〃	昭53	松崎 正信
〃	昭54	大矢 孝臣
〃	昭54	吉田 正
〃	昭54	吉田 穂積
〃	昭55	水谷 隆弥
〃	昭56	落合 和久
〃	昭56	高森 幸生
〃	昭56	辻 孝
〃	昭56	宮崎 弘隆
〃	昭57	大川 剛生
〃	昭57	小林 寿
〃	昭58	西口紫華瑞

支 部 名	卒年	氏 名
三重県支部	昭60	北野 晋
〃	昭60	田中 伸子
〃	昭60	中川 直樹
〃	昭60	東 孝俊
〃	昭62	地主 尚由
〃	昭62	山口 公彦
〃	昭63	金子 淳
〃	平01	斎藤 友紀
〃	平01	古川 貴弥
〃	平03	鈴木 康之
〃	平03	渡辺 克仁
〃	平04	中西 以穂
〃	平05	杉山 亜希
〃	平05	杉山 直人
〃	平08	稲濱 博一
〃	平10	山口 元嗣
〃	平11	大西 薫児
〃	平11	浜瀬 敬輔
〃	平14	稲森康二郎
〃	平15	稲森新一郎
三重県	昭44	深水 征人
富山県支部	昭25	女川 清
〃	昭32	石崎 護
〃	昭32	新谷 政彦
〃	昭35	奥川 澄夫
〃	昭37	栗山 豊実
〃	昭38	菅田 博子
〃	昭38	釣谷 東民
〃	昭45	金川 直博
〃	昭45	山崎 宣夫
〃	昭48	宮本 宣良
〃	昭50	森本 伸
〃	昭50	山崎 安仁
〃	昭59	牧野 明
〃	昭60	清田 築
〃	昭61	山田 雅敏
〃	昭62	女川 瑞夫
〃	昭63	平井 要
石川県支部	昭23	長田 稔
〃	昭25	守友 恒明
〃	昭39	高田 敬義
〃	昭49	加藤 成俊
〃	昭49	高井 勇学
〃	昭49	中嶋 和久
〃	昭51	牛村 章
〃	昭53	角 邦人
〃	昭56	柴田 卓

支 部 名	卒年	氏 名
石川県支部	昭58	秋谷 理
〃	昭59	新谷 京子
〃	昭59	新谷 博明
〃	昭59	山本 一普
〃	平02	長田 昌巳
〃	平12	安村 英乃
〃	平15	中嶋 顕
〃	院昭37	宮本 一也
福井県支部	昭20.9	白崎 源有
〃	昭41	山田 紀夫
〃	昭43	前田 昇
〃	昭48	伊藤 透
〃	昭48	三宅 史丈
〃	平02	森本 一良
〃	平04	島田 雅胤
〃	平04	三宅 洋
〃	平08	山口 智明
〃	平16	三宅 一誠
滋賀県支部	昭23	石田 喜之
〃	昭27	岡野徳一郎
〃	昭29	高田 恬
〃	昭46	北村 真也
〃	昭50	立木 健
〃	昭50	藤居 正博
〃	昭51	松田 康男
〃	昭54	尾松 素樹
〃	昭61	岡野 克也
〃	平04	住井 浩剛
京都府支部	昭31	小橋 暁
〃	昭38	荒木 賢
〃	昭41	對馬 具海
〃	昭47	林 甫
〃	昭48	井口 俊介
〃	昭48	北川 達雄
〃	昭48	永田 賢司
〃	昭51	丸山 康子
〃	平08	中尾 篤司
大阪府支部	昭37	小室 甲
〃	昭44	廣谷 勝
〃	昭45	西川 明
〃	昭62	若松 宏幸
〃	平04	大鶴 次郎
兵庫県支部	昭14	添田壽一郎
〃	昭39	田村 嘉孝
〃	昭42	宗本 匡由
〃	昭47	中西 哲生
〃	昭47	西村 亮介

支 部 名	卒年	氏 名
和歌山県支部	昭38	前田 耕道
〃	昭41	田中 紀夫
〃	昭41	田中 令子
〃	昭45	栗山 雄治
〃	昭48	和田 健
〃	昭51	戸村 善明
〃	昭53	山崎 一夫
〃	昭59	戸村 博臣
〃	平08	田中 久
〃	平10	前田 拓哉
鳥取県支部	昭49	小徳 省三
〃	昭53	田本 晃
〃	平03	近 豊浩
鳥取県	昭16	西尾吉兵衛
〃	平03	木山 朋子
島根県支部	昭27	加藤 富榮
〃	昭33	吉田 滋美
〃	昭34	青戸 泰吉
〃	昭36	高橋 信治
〃	昭36	多田 寛子
〃	昭36	森脇 久雄
〃	昭41	高木 瑞穂
〃	昭44	竹田 進
〃	昭44	山根 康雄
〃	昭46	山本 昭彦
〃	昭59	竹原 茂央
〃	昭61	加藤 伸次
〃	平01	高橋 健
〃	平01	多田 宏
〃	平03	青戸 弘陽
〃	平08	多田 聡
〃	平11	井上 幹夫
〃	平14	竹田こずえ
〃	平14	竹田 岳史
岡山県支部	昭20.9	國米 資康
〃	昭23	林 和男
〃	昭23	緒形 巧
〃	昭35	内田 宏
〃	昭43	佐藤 征紀
〃	昭44	緒形 毅
〃	昭44	原 武仁
〃	昭48	緒形 恵子
〃	昭51	小川 克昌
〃	昭54	倉田 庸生
〃	昭55	林 好一
〃	昭56	木村 秀仁
〃	昭56	藤原 英修

支 部 名	卒年	氏 名
岡山県支部	昭56	佐々木 朗
〃	昭56	中西 史彦
〃	昭60	大塚 淳
〃	昭61	近常 正
〃	平10	須藤健太郎
〃	平11	緒形 孝子
広島県支部	昭16.12	柏村 彰
〃	昭17.9	高橋 立夫
〃	昭22	瀬尾 正巳
〃	昭23	伊藤 昭文
〃	昭24	池田 治美
〃	昭25	松井 義典
〃	昭27	川本 尚志
〃	昭28	矢野 潤介
〃	昭32	伊藤 郁雄
〃	昭33	川口 晃司
〃	昭33	谷本 健二
〃	昭35	熊谷 謙二
〃	昭37	岸田 允
〃	昭37	高梨 玲子
〃	昭38	岡本 秀
〃	昭38	進来 実
〃	昭38	中村 博
〃	昭39	高橋 明宏
〃	昭39	田口 耕右
〃	昭39	平山 紀昭
〃	昭40	亀本 興紀
〃	昭40	野村 浩
〃	昭41	信森 浩一
〃	昭41	藤井 康博
〃	昭41	安田 以久
〃	昭42	川村 康中
〃	昭42	佐古 紘胤
〃	昭42	高橋潤一郎
〃	昭42	林 翔
〃	昭42	野村 昭子
〃	昭43	小早川 清
〃	昭43	住田 彰弘
〃	昭44	青木 誠
〃	昭44	大谷 武彦
〃	昭44	高木ミサヨ
〃	昭44	高木 勇蔵
〃	昭44	上田 喜清
〃	昭45	林 克宏
〃	昭45	林 玲子
〃	昭46	林 克典
〃	昭46	平地 茂雄

支 部 名	卒年	氏 名
広島県支部	昭46	福原 清行
〃	昭48	猪原 信俊
〃	昭48	藤本 俊治
〃	昭49	歌野原 実
〃	昭49	玉川 博
〃	昭49	野間 博
〃	昭49	藤原 彰
〃	昭49	藤井 秀世
〃	昭50	平戸 正文
〃	昭50	吉田 豊
〃	昭51	瀬尾宰一郎
〃	昭51	田部 伸行
〃	昭52	安達 雄一
〃	昭52	応藤 健三
〃	昭52	尾木 正
〃	昭52	佐々木淳子
〃	昭52	佐々木 元
〃	昭52	弓井 敏郎
〃	昭53	沖 泰治
〃	昭53	小林万里恵
〃	昭54	後藤 眞也
〃	昭54	高橋 秀樹
〃	昭55	岡野 秀
〃	昭55	柏村 真
〃	昭55	柏村由美子
〃	昭55	小林 高久
〃	昭55	谷 信吾
〃	昭55	谷本 澄江
〃	昭55	平戸 亮司
〃	昭55	牧原由紀子
〃	昭56	中村 育代
〃	昭56	森田美由紀
〃	昭58	桂 啓介
〃	昭58	国原 修
〃	昭58	小林 郁夫
〃	昭58	原田 康
〃	昭58	福島 一則
〃	昭59	川口 慶子
〃	昭59	玉川 幸二
〃	昭60	田中 宣夫
〃	昭61	池田 敦治
〃	昭62	山本 伸顕
〃	昭63	荒谷 恭史
〃	昭63	上本 佳孝
〃	平01	村上 清信
〃	平03	池田 博子
〃	平03	木口 啓

支 部 名	卒年	氏 名
広島県支部	平03	出崎 暁子
〃	平03	横山 晴洋
〃	平04	江夏 淳子
〃	平04	出崎 雅和
〃	平04	藤井 理史
〃	平05	江夏 俊央
〃	平05	野村登志夫
〃	平06	小川 俊夫
〃	平06	川口 健二
〃	平06	中村 衛
〃	平07	大門 忍
〃	平07	中谷美奈子
〃	平07	林 点
〃	平08	青木 健
〃	平08	住田 真一
〃	平09	大門 三美
〃	平09	高木 尚美
〃	平09	日野 貴史
〃	平09	植野 憲
〃	平10	青木 裕
〃	平11	柴内 明子
〃	平11	林 亮
〃	平11	平地 正茂
〃	平11	平地 涼子
〃	平11	藤岡 大助
〃	平12	平地 昭雄
〃	平13	中村 潔
〃	平14	林 和彦
〃	平15	磯崎 千穂
〃	平16	戸田 康平
〃	平17	平戸啓一郎
〃	平18	辻 由紀子
〃	平22	牧原 勇介
広島県	昭47	藤井 一彦
山口県支部	昭18.9	福岡 公介
〃	昭49	安田 順一
〃	昭49	楊井 孝
〃	昭50	藤井 寛昭
〃	昭52	安田 年光
〃	昭53	井上 信義
〃	昭56	小泉 好正
〃	昭59	登城 宏司
〃	平05	長崎 孝司
〃	平10	梶井 泰樹
徳島県支部	昭49	井上三二郎
〃	昭49	宮井 義博
〃	昭54	大久保 仁

支 部 名	卒年	氏 名
徳島県支部	昭57	福崎 博生
〃	昭58	濱松 孝典
香川県支部	昭18	塩田 尚文
〃	昭23	近藤 清
〃	昭35	黒田 哲生
〃	昭51	川上 映子
〃	昭51	川上 清一
〃	平14	市原 雅也
〃	平15	堤 政雄
〃	平16	堤 祥子
〃	平18	中村 恵実
愛媛県支部	昭09	三好 春航
〃	昭12	松木 朝夫
〃	昭17.9	大野 実
〃	昭22	長山 陽吉
〃	昭22	渡部 幸男
〃	昭24	高市 正浩
〃	昭31	中西 憲正
〃	昭34	青野 幸雄
〃	昭38	久保田 晃
〃	昭40	西田 久美
〃	昭41	長山 誠之
〃	昭42	佐藤 潔
〃	昭43	上田尚一郎
〃	昭43	佐伯 和彦
〃	昭43	佐藤 英樹
〃	昭45	兵藤 正帛
〃	昭47	西岡 学
〃	昭48	日浅 新三
〃	昭50	橋田 薫
〃	昭50	正岡 勇記
〃	昭50	松原 秀憲
〃	昭52	松木 建二
〃	昭53	吉良 公仁
〃	昭53	横山 洋行
〃	昭54	直野 孝則
〃	昭54	二宮 隆
〃	昭54	馬嶋 誠
〃	昭54	増田 健
〃	昭54	山本 昌司
〃	昭56	大久保忠教
〃	昭56	崎岡 道正
〃	昭56	平井 緑
〃	昭56	矢野 興一
〃	昭57	山田 哲美
〃	昭58	今井いづみ
〃	昭58	関谷 栄

支 部 名	卒年	氏 名
愛媛県支部	昭60	宮部 英明
〃	昭61	高橋 千昭
〃	昭61	中野 泰志
〃	昭63	山崎 孔貴
〃	平02	宇都宮慎児
〃	平02	塩崎 雄生
〃	平03	池田 敬洋
〃	平03	久保田 敦
〃	平03	高岡 裕司
〃	平03	渡部 芳雄
〃	平04	高岡 元文
〃	平07	新 啓嗣
〃	平09	矢野 慎二
〃	平10	上田 あや
〃	平10	岡田 大典
〃	平11	兵藤 正昌
〃	平12	佐藤 大輔
〃	平13	山内 純子
〃	平15	新 真美
〃	平15	河野雄一郎
〃	平17	西岡 優子
愛媛県	昭54	露口 晃宏
〃	昭57	菅 泰晴
高知県支部	昭05	谷 忠明
〃	昭47	西川 文雄
〃	昭51	沖 義一
〃	院平01	鬼谷 信美
福岡県支部	昭24	原田 忠彦
〃	昭32	井口 由彰
〃	昭38	廣田 稔
〃	昭39	三吉聖一朗
〃	昭41	宇美 房英
〃	昭41	橋本 高明
〃	昭42	川野未禧朗
〃	昭44	石田 雅男
〃	昭44	末藤久美子
〃	昭47	山地 良子
〃	昭49	石橋 彬
〃	昭51	伊東 励
〃	昭52	広田 種英
〃	昭52	芳川 美雄
〃	昭53	永江 健一
〃	昭55	二村 光
〃	昭58	平川 誓生
〃	昭62	江頭 修作
〃	昭62	田代 芳之
〃	昭63	関 暁彦

支 部 名	卒年	氏 名
福岡県支部	昭63	花村 信明
〃	平02	林 芳裕
〃	平03	三吉 俊弘
〃	平04	横田 成一
〃	平07	阿部 光正
〃	平09	加茂 公平
〃	平09	北野 良英
〃	平09	末藤 祐一
〃	平11	夕田寿太郎
〃	院昭61	長谷川浩三
佐賀県支部	昭19.9	佐藤 曄
〃	昭32	麻生 奏
〃	昭35	飯田 正一
〃	昭51	古賀 景二
〃	昭53	副島 洋二
〃	昭58	副島 涉
〃	昭60	松尾 繁樹
〃	昭61	松尾 潤子
〃	平05	古賀 隆利
〃	平07	中原 弘敬
〃	平07	松本 一
〃	平09	新富 芳浩
〃	平09	副島 衛
〃	平11	副島 詩子
長崎県支部	昭30	江崎梅太郎
〃	昭55	泉福 和典
〃	平01	加島知恵子
熊本県支部	昭37	添島 義和
〃	昭47	添島 正和
〃	昭54	中西 久人
〃	平03	堀川 正
〃	平04	添島 義樹
〃	平11	添島 英輔
大分県支部	推薦	白井 勝
〃	昭18	田中 堅一
〃	昭36	大塚 亨
〃	昭44	吉武 勝
〃	昭47	池田 信治
〃	昭47	池田千恵子
〃	昭49	田中 一秀
〃	昭51	久保 博英
〃	平05	森崎 重規
〃	平21	川上 和久
宮崎県支部	推薦	宮田悠生秋
〃	昭16	鈴木 省三
〃	昭27	濱田 康彦
〃	昭31	西山 成實

支 部 名	卒年	氏 名
宮崎県支部	昭37	山崎 頼任
〃	昭38	松田聰一郎
〃	昭40	沖 光博
〃	昭41	渡辺 英人
〃	昭43	田部 和彦
〃	昭44	田部 照子
〃	昭50	清水 英男
〃	昭50	濱田 孝一
〃	昭52	岩田 充了
〃	昭52	渡辺みちる
〃	昭53	安部 喜郎
〃	昭54	安部佳世子
〃	昭55	黒木 孝郎
〃	昭55	若林 慎二
〃	昭56	嶽崎 晃一
〃	昭56	仁科 裕次
〃	昭58	濱田 剛
〃	昭59	大内 昭雄
〃	昭60	松田 浩之
〃	昭62	大浦 孝二
〃	昭62	鎌田 秀一
〃	昭62	白尾 康広
〃	昭62	嶽崎 宗規
〃	昭63	入江佐企子
〃	昭63	西山 有一
〃	平01	濱田 義三
〃	平04	今井 弘治
〃	平04	甲斐 史朗
〃	平05	四倉 清仁
〃	平08	岩田 公秀
〃	平12	加藤 朋子
鹿児島県支部	昭43	森原 久樹
〃	昭44	内山太一郎
〃	昭49	内田 信友
〃	昭50	西 孝一
〃	昭50	吉嶺 光
〃	昭58	上野 修
〃	平04	下津 昭洋
〃	平05	飯野祥一朗
沖縄県支部	昭36	古堅 英信
〃	昭42	垣花 博子
〃	昭51	新垣 元洋
〃	昭55	比嘉 民子
〃	昭59	奥住 守彦
〃	昭60	友利 隆俊
〃	昭60	屋宜 裕子
〃	昭61	仲村 晃

支 部 名	卒年	氏 名
沖縄県支部	昭62	石原 一
〃	平08	浦崎 香苗
沖縄県	昭37	高江洲義矩
大学支部	昭58	上條 英之
〃	平18	吉田 秀児
〃	平22	三友 啓介

※匿名希望 104名  
以上 1,798名

	卒年	氏 名
台湾同窓会	院昭54	林崇民
〃	院平21	蔡鵬飛
〃	院平22	黄明裕
〃	院平22	柯文昌
〃	院平22	洪榮杰
〃		洪昭民
〃		林明賢

※匿名希望 1件  
以上 40件

支 部 名
(地域支部)
東北地域支部連合会
東京地域支部連合会
小樽支部
埼玉県支部
千葉県支部
大学支部
千代田支部 (三水会)
芝支部 (統志会)
新宿支部
本郷支部
浅草支部
下谷支部
荏原支部 (十四日会)
世田谷支部
北支部 (東珊会)
滝野川支部
練馬支部
武蔵野支部
町田支部
北信支部
東信支部
愛知県支部
岐阜県支部
富山県支部
石川県支部
滋賀県支部
大阪府支部
和歌山県支部
鳥取県支部
山口県支部
佐賀県支部
長崎県支部
熊本県支部 (蘇山会)
大分県支部
宮崎県支部
鹿児島県支部
沖縄県支部
東京地域支部連合会城北ブロック

会 名	卒年
(クラス会)	
いとし会	昭24
四期会	昭31
ジーベン会	昭34
十二期会	昭39
志学会	昭42
七十七期会	昭47
正和会	昭51
翔蜻会	昭55
三春会	昭60
平成会	平01
百樹会	平02
百期会	平07
参謝会	平11
創志会 (115期生)	平22
百彩会 (116期生)	平23
創絆会 (117期生)	平24
良い歯会 (118期生)	平25
千鼎会 (119期生)	平26
桔梗会 (120期生)	平27
一伸会 (121期生)	平28

※匿名希望 1件  
以上 21件

(その他)
解剖学教室 OB 会
口腔外科学教室精到会
歯科矯正学講座美久会
理工懇談会
ワンダーフォーゲル部 OB 会
同窓会事務局 石井 悦子

以上 6件  
総計 1,865件  
延べ件数 2,006件

水道橋校舎施設整備寄付金 寄付者名簿 (教職員他)

平成28年3月31日現在  
(50音順・敬称省略)

理事長  
推薦 水野 嘉夫  
学 長  
昭47 井出 吉信  
理 事  
推薦 石井 拓男  
理 事  
推薦 西田 次郎  
前理事長  
昭39 金子 讓  
前理事  
昭42 薬師寺 仁  
前理事  
野崎 弘  
前理事  
推薦 安藤 暢敏  
前理事  
昭46 柳澤 孝彰  
前監事  
岡村 泰孝  
(教員・大学院生等)  
(あ)  
平18 間 奈津子  
平17 青木 雅憲  
推薦 青柳 裕  
平05 縣 秀栄  
平23 赤塚 公仁  
平12 浅川 俊文  
東 穴澤 卯圭  
平01 阿部 伸一  
平14 阿部 比口 健  
推薦 新井 太一  
平17 荒野 安豊  
昭57 猪狩 武展  
平13 石井 惠一  
推薦 石上 博通  
推薦 石川 憲  
平05 石崎 瞭  
石田 洋一  
平19 石塚 和幸  
昭60 石原 佐知  
平21 和泉 達也  
昭56 一戸 智子  
井出 太一  
平06 伊藤 覚  
平09 稲垣 孝  
昭53 井上 裕樹  
平09 今井 健太郎  
平22 今村 治  
平17 岩沼 枝里  
平18 岩村 貴之  
平11 上田 賢一郎  
平14 浮地 圭恵  
白田 宙  
平20 内山 貴志  
平23 梅澤 朋子  
平22 梅澤 朋子

平05 遠藤 隆行  
大学院  
平24 大石 晶子  
大内 貴志  
平11 大神浩一郎  
大木 貴博  
大久保 剛  
平11 大久保真衣  
平04 大久保みぎわ  
大学院  
平10 太田 幹夫  
平22 太田 緑  
昭58 大多和由美  
平22 大塚 潤子  
平20 大平真理子  
平23 大峰 悠矢  
平18 小貝 隆広  
推薦 岡田 真人  
平21 岡田 玲奈  
平22 荻野 崇真  
平21 織田 聖子  
推薦 小田 豊  
平24 小高 研人  
音成 実佳  
平23 小畑 朋邦  
(か)  
平03 笠原 清弘  
平22 笠原 正彰  
平07 笠原 正貴  
昭60 片倉 朗  
昭59 片田 英憲  
平19 片山 愛子  
推薦 加藤 哲男  
昭57 加藤 広之  
兼子 智  
平11 神尾 崇  
平09 亀山 敦史  
昭51 河田 英司  
平17 河地 誉  
大学院  
平24 菊地 昭仁  
平23 菊地 愛貴  
菊池 有一郎  
大学院  
平24 岸 飛鳥  
岸川 浩  
平24 北村 啓  
平14 衣松 高志  
平19 木下 英明  
平04 君塚 隆太  
昭57 久保 周平  
平20 黒田 英孝  
平17 古池 崇志  
平22 小泉 ちあき  
推薦 小坂橋 俊哉  
昭31 高北 義彦  
平17 國分 克寿  
平13 小坂 竜也

平18 小鹿 恭太郎  
平17 腰原 輝純  
推薦 後藤 多津子  
平11 小林 健一郎  
平17 小林 史明  
平10 小林 誠  
平19 小船 和弘  
昭52 近藤 祥弘  
(さ)  
平11 齋田 菜緒子  
平01 齋藤 淳  
平20 齋藤 裕香  
大学院  
平24 三枝 弘樹  
平02 坂 英樹  
坂本 潤一郎  
昭57 坂本 輝雄  
平18 酒寄 孝治  
櫻井 敦朗  
昭53 櫻井 薫  
平20 佐々木 秀憲  
平21 佐々木 啓充  
平14 佐々木 穂高  
平10 佐藤 一道  
昭54 佐藤 亨  
佐藤 道夫  
昭49 佐藤 憂子  
平24 佐藤 涼一  
推薦 佐野 司  
平18 鮫島 千恵  
推薦 澤木 康平  
澤田 幸作  
昭52 澤田 隆  
Jeremy Williams  
平17 塩崎 恵子  
平15 四宮 敬史  
柴家 嘉明  
昭54 柴原 孝彦  
平13 柴山 和子  
推薦 澁井 武夫  
平07 澁川 義幸  
平18 下島 隆志  
推薦 白石 建  
推薦 新谷 誠康  
昭58 新谷 益朗  
昭54 末石 研二  
平09 末原 正崇  
須賀 賢一郎  
推薦 菅 貞郎  
平16 菅原 圭亮  
平06 杉戸 博記  
昭62 杉原 直樹  
昭57 杉山 節子  
昭58 杉山 哲也  
昭62 杉山 利子  
平23 鈴木 瑛一  
平23 鈴木 薫

平26 鈴木 誠太郎  
鈴木 正史  
昭52 関口 浩  
昭62 関根 秀志  
平17 勢島 典  
瀬田 範行  
芹川 雅光  
芹田 良平  
平20 惣卜 友裕  
平20 副島 寛貴  
平18 添田 亮平  
大学院  
平25 征矢 学  
(た)  
高際 睦  
平11 高久 勇一朗  
昭54 高瀬 保晶  
平15 高梨 琢也  
平18 高野 智史  
昭51 高野 伸夫  
昭57 高野 正行  
推薦 高橋 慎一  
昭54 高橋 俊之  
平13 高橋 尚子  
推薦 高松 潔  
平20 田草川 舞  
平20 竹内 快  
平23 武内 崇博  
平19 武田 慶子  
推薦 武田 友孝  
武本 真治  
平15 田坂 彰規  
昭53 田崎 雅和  
平22 田嶋 さやか  
平18 田井 愛子  
田原 靖章  
平19 塚越 絵里  
平21 辻 将  
平04 辻野 啓一郎  
昭46 角田 正健  
平18 手銭 親良  
寺嶋 毅  
大学院  
平23 富田 智子  
平23 戸村 恭子  
(な)  
内藤 祐子  
平20 中尾 正  
平18 中川 映佳  
推薦 中島 一憲  
推薦 中島 庸也  
平18 永田 順也  
平23 中西 康輔  
昭56 中野 洋子  
大学院  
平22 中原 賢  
梨本 正憲  
昭61 西井 康

西川 慶一  
西久保 周一  
西野 仁泰  
平21 西宮 紘子  
平20 二瓶 伸也  
推薦 野川 茂  
平21 野口 拓  
野口 竜実  
昭56 野嶋 邦彦  
平19 野田 克哉  
平20 野田 周太郎  
平07 野村 武史  
昭59 野村 真弓  
平14 野本 俊太郎  
(は)  
平23 萩尾 美樹  
平17 橋本 和彦  
昭56 橋本 貞充  
推薦 橋本 正次  
昭56 服部 雅之  
花岡 洋一  
平18 早川 裕記  
林 郁恵  
林 丈晴  
林 真理子  
平10 原 麻子  
平14 春山 亜貴子  
大学院  
平15 半田 俊之  
平01 久永 竜一  
推薦 平田 創一郎  
平22 平野 友基  
大学院  
平22 廣木 愛実  
平02 福田 謙一  
福田 真之  
平10 藤井 理絵  
大学院  
平22 藤田 修平  
昭58 古澤 成博  
平16 古屋 克典  
平19 古屋 英敬  
平07 古谷 義隆  
平14 別所 央城  
平12 細川 壮平  
堀田 拓  
昭54 堀田 宏巳  
平18 本田 秀光  
平12 本間 慎也  
(ま)  
牧 浩壽  
推薦 牧野 正志  
松井 淳一  
松浦 彰子  
平12 松浦 信幸  
平19 松岡 海地  
平11 松木 由起子  
昭48 松久保 隆

平02 松坂 賢一  
 平15 松崎 文頼  
 平15 松永 智  
 平01 間宮 秀樹  
 推薦 丸茂 健  
 昭53 見明 康雄  
 三浦 直  
 平18 水田 葉子  
 平21 三橋富久子  
 三穂 乙暁  
 平02 三宅菜穂子  
 昭56 宮崎 晴代  
 大学院  
 平21 向井 美弥  
 平07 村上 聡  
 平17 村瀬 千明  
 平15 村松恭太郎  
 平03 村松 敬  
 昭50 茂木 悦子  
 平21 守源太郎  
 森岡 俊行  
 平21 森川 泰紀  
 森口美津子  
 推薦 森下 鉄夫  
 森田 雅義  
 昭56 森永 一喜  
 平20 諸星 貴大  
 (や)  
 平11 薬師寺 孝  
 昭55 矢島 安朝  
 平17 安井 雅子  
 平18 安田 雅章  
 平19 安村 敏彦  
 昭59 山 満  
 平04 山内 智博  
 平20 山内 真人  
 山倉 和典  
 平16 山崎 貴希  
 平20 山崎 真  
 推薦 山下秀一郎  
 平17 山田 薫子  
 昭47 山田 了  
 山田 将博  
 大学院  
 平24 山田 裕介  
 推薦 山中すみへ  
 平22 山根 茂樹  
 平20 山村 啓介  
 平10 山本 信治  
 昭63 山本 仁  
 平20 山本 将仁  
 平16 湯村 潤子  
 横本 満洋  
 平21 吉井 崇之  
 吉田 光孝  
 推薦 吉成 正雄  
 吉野 文浩  
 平16 四ッ谷 護  
 昭52 米津 卓郎  
 (ら)  
 平17 竜 正大

(わ)  
 昭59 和光 衛  
 平22 和田 健  
 平13 渡邊 章  
 推薦 渡邊 裕  
 (職員)  
 (あ)  
 相澤 光博  
 阿内謙吉  
 青木香菜子  
 秋葉 順子  
 麻賀 明雄  
 朝隈 尚子  
 浅倉 恵子  
 阿部 潤也  
 安部 晴美  
 天野 充敏  
 雨宮 智美  
 五十嵐 時男  
 石井 哲  
 石毛 恵  
 石郷岡 均  
 石田 幸江  
 石塚 順子  
 磯山 素子  
 板倉裕一郎  
 一木 治男  
 伊東多鶴子  
 伊藤真奈美  
 伊藤 陽子  
 今井 光枝  
 岩田 周子  
 上島 文江  
 上野 雅司  
 海野可代子  
 浦井 俊夫  
 浦田 知明  
 江橋 延江  
 江波戸達也  
 江里口綾子  
 遠藤 恭子  
 小磯由美子  
 王子田 啓  
 太田 茂  
 大塚 健  
 大勝 幸江  
 大屋 朋子  
 小笠原尚子  
 岡野 繁  
 岡部 陽子  
 岡本 育代  
 小川富士子  
 奥井 沙織  
 小倉 等  
 尾谷 始子  
 柿下 茉弥  
 河西 佳彦  
 笠原 薫  
 笠原 淳二  
 栢森 さつき  
 加瀬 利美  
 賀曾 利のり

(か)

加藤 靖明  
 狩野 龍二  
 亀井 玲子  
 亀山 桂  
 假谷加代子  
 川尻 尚子  
 川名 徳郎  
 菊地 聡子  
 北島 道子  
 北林 伸康  
 北村加奈恵  
 木部 真实  
 木村絵里奈  
 木村ゆかり  
 吉良 哲夫  
 光菅 裕治  
 合原 愛  
 後藤久美子  
 後藤 純子  
 小林 一重  
 小林 智子  
 小林 友忠  
 小林 紀雄  
 小林 理紗  
 齋藤 千晴  
 坂本 智子  
 櫻井 文雄  
 迫田 和彦  
 佐々木啓太  
 佐々木道子  
 佐藤 和幸  
 椎名 美和  
 権名 裕  
 塩野 隆幸  
 実川 光江  
 清水 直子  
 清水 文衛  
 寿明 康子  
 菅沼 弘春  
 菅沼 雅文  
 鈴木 イチ  
 鈴木 浮子  
 鈴木 京子  
 鈴木 昌子  
 鈴木 福代  
 鈴木 保之  
 清野 菜摘  
 関川 美香  
 関口 あゆみ  
 関根 はるみ  
 攝津 美枝子  
 芹川 公子  
 相馬 克己  
 外山 宗明  
 園田 満子  
 多比良 祐子  
 高木 直人  
 高橋 敦子  
 高橋 英子  
 高橋 里香  
 高柳 奈見

(さ)

(た)

田口 悦郎  
 武内 早織  
 武本 桂  
 田島 大地  
 田中 真美  
 田中由加利  
 谷口 敏信  
 千葉 泰子  
 槻木 里恵  
 辻野 千晶  
 土屋 佳織  
 綱島 浩二  
 堂地 一利  
 巴 恵子  
 (な)  
 内藤 美佳  
 長澤 恵子  
 長澤 直美  
 中島 和枝  
 中基美佐子  
 中浜 典子  
 中村 厚江  
 日塔 慶吉  
 仁部 昭太  
 野田 克幸  
 (は)  
 萩原 義彦  
 長谷川 雄教  
 旗手 重雅  
 馬場 里奈  
 濱野 孝子  
 原 正樹  
 伴 英一郎  
 響谷 順子  
 平井 玲奈  
 平出 百合子  
 平野理智子  
 吹田 優子  
 深川久美子  
 藤生 智裕  
 藤平 弘子  
 船木 葉  
 船山 雅史  
 冬野 英雄  
 堀田 洋稔  
 益田 仁美  
 松崎 真衣  
 松本 康雄  
 松元 吉治  
 間部 克善  
 三木 敦史  
 水越 敬治  
 水島 知也  
 水野 晃子  
 水野 利彦  
 水野 良伸  
 御園 瞳  
 宮下 辰子  
 村川 孝  
 村瀬 敏江  
 百崎 和浩  
 森 金本  
 森 陽子

(な)

(は)

(ま)

(や)  
 谷津 智美  
 山口 愛  
 山口 祥子  
 山崎 知春  
 山崎 陽子  
 山田 敏之  
 山田 美子  
 山之口 吾郎  
 山本 一郎  
 山本 達郎  
 与謝野 直子  
 吉田 恵美  
 吉田 成彦  
 吉峯 規雄  
 (わ)  
 若林 千里  
 若林 眞由美  
 脇坂 佐智子  
 和田 昌美  
 渡辺 和輝  
 渡辺 一史  
 渡辺 賢  
 渡辺 ひろみ  
 ※匿名希望 69名  
 以上 590名

(その他 団体・個人)  
 市川総合病院  
 外科学講座  
 臨床工学技士一同  
 株式会社 ゴトム  
 株式会社 LSI メ  
 ディエンス  
 全体係長会  
 紫紅会  
 大学教職員組合  
 望月 隆二  
 田所 克己  
 北澤 義明  
 富田 正幸  
 他有志一同  
 大学父兄会  
 東京歯科大学学会  
 石井日出明  
 井出 弘子  
 佐藤まゆみ  
 塩崎とも子  
 原田 育叔  
 百崎多紀子  
 ※匿名希望 2件  
 以上 20件

総計 610件 延べ件数 643件
-------------------------

申込時点のものです。

## 水道橋校舎 施設設備整備寄付金 ご報告に際して

学校法人 東京歯科大学  
法人事務局 経理部

東京歯科大学水道橋校舎施設設備整備寄付金の募集に対しご協力頂き、心より御礼申し上げます。同窓の皆様より寄せられた浄財で水道橋校舎の施設設備は新たに生まれ変わり、今日の学生教育の大きな励みとなっています。ここに重ねて感謝申し上げますと共に、寄付の状況報告をさせていただきました。

- ・対象は平成22年9月から平成28年3月までの寄付者です。
- ・ご芳名の公表を希望されない方の掲載はしていません。
- ・複数回ご寄付頂いた方も一掲載としました。
- ・掲載はご芳名のみとしました。
- ・ご芳名・支部名は同窓会登録データで更新しています。
- ・同窓の件数等には支部・クラス会等を含めています。
- ・寄付募集は平成30年3月まで受付しております。

### 寄付金総額（平成28年3月31日現在）

募集開始 平成22年9月	同 窓		教職員他	
	件 数	金 額	件 数	金 額
平成26年3月まで	1,768件	314,887,173円	560件	195,757,465円
平成28年3月まで	238件	45,024,000円	83件	22,869,000円
累 計	2,006件	359,911,173円	643件	218,626,465円

	件 数	金 額
平成26年3月まで	2,328件	510,644,638円
平成28年3月まで	321件	67,893,000円
総 計	2,649件	578,537,638円

※本件に関するお問い合わせは東京歯科大学 法人事務局経理部までお願い致します。

## 東京歯科大学学務等役職者

任命期間：平成28年6月1日～平成31年5月31日（定年退職者は当該日まで）  
 ※診療科部長・診療科科長・教育主任の任命期間は平成29年5月31日迄

平成28年6月1日  
 （敬称略・順不同）

役 職	氏 名	役 職	氏 名
<b>&lt;寄附行為規定役職者等&gt;</b>		<b>&lt;水道橋病院&gt;</b>	
学 長	井 出 吉 信	病 院 長	末 石 研 二
副 学 長	一 戸 達 也	副 病 院 長	山 下 秀 一 郎
副 学 長	橋 本 正 次	副 病 院 長	高 野 正 行
水 道 橋 病 院 長	矢 島 安 朝	保 存 科 部 長	齋 藤 淳
市 川 総 合 病 院 長	西 田 次 郎	小 児 歯 科 部 長	新 谷 誠 康
千 葉 病 院 長	一 戸 達 也	口 腔 外 科 部 長	片 倉 朗 也
大 学 院 歯 学 研 究 科 長	櫻 井 薫	歯 科 麻 酔 科 部 長	一 戸 達 也
歯 科 衛 生 士 専 門 学 校 長	井 上 孝	補 綴 科 部 長	佐 藤 亨
		矯 正 歯 科 部 長	末 石 研 二
		放 射 線 科 部 長	後 藤 多 津 子
図 書 館 長	田 崎 雅 和	口 腔 イ ン プ ラ ン ト 科 部 長	矢 島 安 朝
分 館 長	中 島 庸 也	ス ポ ー ツ 歯 科 科 長	武 田 友 孝
分 館 長	加 藤 哲 男	摂 食 ・ 嚥 下 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン ・ 地 域 歯 科 診 療 支 援 科 科 長	石 田 瞭
口 腔 科 学 研 究 セ ン タ ー 所 長	東 新 谷 誠 康	障 害 者 歯 科 科 長	福 田 謙 一
副 所 長	森 田 雅 義	内 科 科 長	山 岸 由 幸
教 養 科 目 協 議 会 幹 事	山 本 仁 博	眼 科 科 長	ビ ッ セ ン 弘 子
基 礎 教 授 連 絡 会 幹 事	古 澤 成 博	臨 床 検 査 部 長	井 上 孝
臨 床 教 授 連 絡 会 幹 事	片 倉 隆 朗		
教 務 部 長	望 月 隆 二		
副 部 長	阿 部 伸 一		
副 部 長	山 本 仁 博		
副 部 長	平 田 創 一 郎		
副 部 長	上 田 貴 之	<b>&lt;市川総合病院&gt;</b>	
学 生 部 長	佐 藤 貴 之 亨	病 院 長	高 野 伸 夫
副 部 長	杉 原 直 樹	副 病 院 長	菅 井 淳 一
副 部 長	笠 原 正 貴	副 病 院 長	小 板 橋 俊 哉
副 部 長	後 藤 多 津 子	副 病 院 長	中 川 健 健
副 部 長	高 際 陸	副 病 院 長	濱 野 孝 子
研 究 部 長	石 原 和 幸	企 画 ・ 調 査 部 長	高 野 伸 夫
副 部 長	村 松 敬 敬	歯 科 ・ 口 腔 外 科 部 長	野 村 武 史
副 部 長	後 藤 多 津 子	内 科 部 長	寺 嶋 毅
国 際 交 流 部 長	齋 藤 淳	消 化 器 内 科 部 長	西 田 次 郎
学 会 ・ 学 術 出 版 部 長	新 谷 誠 康	消 化 器 内 科 部 長 代 理	岸 川 浩
学 会 部 主 任	笠 原 正 貴	循 環 器 内 科 部 長	大 木 貴 博
歯 科 学 報 主 任	石 原 和 幸	神 経 内 科 部 長	村 松 和 浩
欧 文 紀 要 主 任	齋 藤 淳	呼 吸 器 内 科 部 長	寺 嶋 毅
研 究 機 器 管 理 部 長	村 松 敬 敬	小 児 科 部 長	江 口 博 之
環 境 安 全 管 理 部 長	杉 原 直 樹	外 科 部 長	松 井 淳 一
実 験 動 物 施 設 管 理 部 長	笠 原 正 貴	脳 神 経 外 科 部 長	菅 井 貞 郎
広 報 ・ 公 開 講 座 部 長	橋 本 貞 充	心 臓 血 管 外 科 部 長	申 範 圭
臨 床 教 育 委 員 長	山 下 秀 一 郎	整 形 外 科 部 長	穴 澤 卯 圭
臨 床 研 修 委 員 長	古 澤 成 博	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科 部 長	堀 田 拓 潔
総 合 講 義 ・ 実 習 委 員 長	山 本 仁 博	産 婦 人 科 部 長	高 松 潤
臨 床 基 礎 実 習 室 運 営 委 員 長	上 田 貴 之	眼 科 部 長	島 崎 庸 也
健 康 管 理 セ ン タ ー 主 任	山 岸 由 幸	耳 鼻 咽 喉 科 部 長	中 川 健 健
情 報 シ ス テ ム 管 理 委 員 長	池 上 健 司	放 射 線 科 部 長 代 行	最 上 拓 児
歯 科 医 学 教 育 開 発 セ ン タ ー 主 任	片 倉 朗	皮 膚 科 部 長	高 橋 慎 一
		形 成 外 科 部 長	田 中 一 郎
		麻 酔 科 部 長 代 行	大 内 貴 志
		精 神 科 部 長	森 本 陽 子
<b>&lt;大学院研究科&gt;</b>		臨 床 検 査 科 部 長	宮 内 潤 哉
教 務 部 長	齋 藤 淳	緩 和 ケ ア 科 部 長	小 板 橋 俊 哉
学 生 部 長	福 田 謙 一	市 川 総 合 病 院 歯 科 教 育 主 任	野 村 武 史
		市 川 総 合 病 院 医 科 教 育 主 任	寺 嶋 毅
		角 膜 セ ン タ ー 長	島 崎 潤
		リ プ ロ ダ ク シ ョ ン セ ン タ ー 長	吉 田 丈 児
		口 腔 が ん セ ン タ ー 長	高 野 伸 夫
		<b>&lt;千葉病院&gt;</b>	
<b>&lt;歯科衛生士専門学校&gt;</b>		副 病 院 長	柴 原 孝 彦
副 校 長	高 橋 俊 之	副 病 院 長	大 久 保 剛
教 務 部 長	杉 山 哲 也	副 病 院 長	高 橋 俊 之
学 生 部 長	久 永 竜 一	口 腔 外 科 系 部 長	柴 原 孝 彦
予 防 処 置 室 長	高 橋 俊 之	育 成 歯 科 系 部 長	米 津 卓 郎
教 務 主 任	白 鳥 た か み （平成28年4月1日～平成29年3月31日）	一 般 歯 科 系 部 長	高 橋 俊 之
		（保存科、補綴科、総合診療科）	
		専 門 歯 科 系 部 長	伊 藤 太 一
		（口腔インプラント科、臨床検査部、摂食嚥下リハビリテーション科、健康スポーツ歯科、口腔ケアセンター）	
		内 科 科 長	大 久 保 剛
		総 合 予 診 室 長	高 橋 俊 之
		千 葉 病 院 教 育 主 任	今 井 裕 樹

学校法人東京歯科大学の法人主事は、平成28年6月1日から石井拓男先生に決定いたしました。

## 自動車部

3年 主将 山田 智史

### 近況報告

現在、東京歯科大学自動車部は、毎週金曜日に稲毛キャンパスにて活動を行っています。

通常活動としては、稲毛キャンパスのガレージにて部車の整備を行ったり、新入生の運転練習をしたりしています。時には課外活動としてカートに行ったり、学年関係なく、楽しく交友を深めています。

通常活動に加え、自動車部では医歯薬大会に月に1回出場しています。医歯薬大会ではレーシングカートやジムカーナを行い、大学、個人それぞれ順位を競っています。

レーシングカートは個人戦は勿論の事、大学内でチームを作り耐久レースの様なグループ戦も行っており、毎回熱い戦いが繰り広げられています。

ジムカーナとは、パイロンを置き決められたコースを覚え、タイムを競う競技の事です。

成績としては、東京歯科大学自動車部は5・6年の先輩方が毎回入賞されています。自分は今年から部活の車から自分の車で参加するようになり、車に慣れていない為、現在入賞は難しい状態です。

ですが、いち早く先輩方様の様に入賞できる様努力していく所存です。

夏には場所を借りて夏合宿を行ったり、歯学部OBの方が開いて下さるサマーフェスタに参加しています。サマーフェスタでは、ショートサーキットも走行する事が出来るので、とても貴重な体験をさせて頂いています。

自動車部の良いところはリスクが少ない場所で、車の限界を知れる所にあると思います。

普段の運転は安全運転は勿論の事ですが、もし人が飛び出てきたりなどの、不測の事態に対応する為には、車の限界を知らないと対応が難しい様に思います。その様な事を安全な場所で行える事はと

ても良い事だと思います。

今年から現役人数が大幅に減り、少人数で活動しています。確かに時代的にも車に厳しい時代ですし、車に興味が無い人も増えていると思います。しかし、東京歯科大学自動車部は今年で62年という、先輩方が紡いできた長い歴史があるため、その歴史を守るためにも、新入生の勧誘に力を入れていきたいと思っています。

この様な活動が出来ているのも部長の先生、顧問の先生、OB・OGの先生方のご支援のおかげです。今後とも自動車部へのご声援を賜れる様活動して参りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。



## 茶 道 部

茶道部は今年度、4人の新入生を迎えて12名で活動をしています。平日は神保町のお部屋をお借りしてお稽古しております。土曜日は広尾にある先生の御宅でお稽古を見て頂いています。

現在は6月19日に靖国神社で行われる、明海大学歯学部、日本大学歯学部との三校合同のお茶会に向けて部員一同一生懸命お稽古に取り組んでいます。靖国神社でのお茶会は貴重な体験であり、そのことを考えるとより一層身が引き締まります。三校それぞれお点前の仕方に違いがあり、それを三校がお互いに学び合うのも趣があって良いものだと考えております。

また、夏には稲毛の合宿所で通い合宿を行います。ここで一年生は先輩方に教えて頂き、お点前の一連の流れを覚えます。所作の一つ一つに心を込めて、それでいて流れるような、見ていて心が落ち着くような手の動きを心がけます。

先生方は手の動きに性格が現れるとよくおっしゃられます。嘸み

砕いて申し上げますと、部屋をあまりこまめに掃除しないと雑な人間だと思われてしまう、という感覚に近いでしょう。手の動き以外でも特に気を配っているのが「礼」です。「礼」とは、感謝・思いやりなど、他人への心遣いのことです。茶道から学べるのは何もお茶の点て方や所作だけではございません。社会に出ても恥をかかないような礼儀を学ぶことができます。立ち方や座り方、正しいお辞儀の仕方、和室での足の運びなど他では身に付けづらいことを身に付けられます。

茶道部はお稽古以外にもみんな

### 3年 主将 古屋 優人

仲良くしています。長期休暇には旅行に出かけたり、休日にどこかへ遊びに行ったり、ご飯にいたりとても充実した日々を送っています。そんな茶道部が今ここにあるのは先輩方、並びにOB・OGの方々のおかげです。先輩方が何世代にも渡って守ってきてくださった茶道部を今度は私たちが次の世代に繋ぐため、日々励んでいきます。未熟ではございますが、今後とも茶道部への暖かいご声援ご支援を賜りますよう、またご指導ご鞭撻のほど何卒宜しく願い申し上げます。



# 支部のうごき

## 掲示板

\*この掲示板は、同窓会ホームページ <http://www.tdc-alumni.jp> にも記載されています。  
日程等、決まり次第、できるだけ早めにお知らせください。

印刷、発行日の都合上、会報に載せられない場合がありますが、その場合は同窓会ホームページに掲載されますので、ご了承ください。

事業種目 日 時	演題及び講師 又は事業内容	会 場	主 催 連 絡 先	外部より 参加可否
学術講演会 平成28年 7月31日(日) 午後2時～	「患者中心のインプラント治療」  武田孝之先生 (東京都開業)	愛知県歯科医師会館 名古屋市中区丸の内 3-5-18 TEL 052-962-8020	愛知県支部 連絡先 担当・久野昌士 TEL 0569-43-1124	同窓会員

## 青 森 県 支 部

平成28年度定時総会 学術講演会



## 秋 田 県 支 部

平成27年度 秋田県支部定時総会  
並びに学術研修会開催

平成27年11月7日（土）午後2

時より秋田キャッスルホテル平安  
の間に於いて秋田県支部会員数49  
名中24名の出席により平成27年度

定時総会が開催された。同窓会本  
部より矢崎秀昭会長並びに本大学  
より学長代理並びに学術研修会講



師として解剖学講座 阿部伸一主任教授の迎撃を賜った。

定時総会は寺岡洋一副支部長の開会の辞で始まり、次年度で3期目を迎える藤原元幸支部長が挨拶に登壇され、平成27年度春の叙勲に於いて、勲等「旭日双光章」を授与された太田 晃先生（昭和32年卒業/五期会）並びに秋の叙勲に於いて、勲等「瑞宝双光章」を授与された駒橋典夫先生（昭和26年卒業/いそむ会）へ大喝采の中、花束が贈呈された。次に同窓会本部役員ご挨拶として矢崎秀昭会長が現在の同窓会体制における総括説明と本学水道橋校舎への詳細な現状報告を行った。さらに今後の同窓会本部改革案とその要旨並びに東北地域支部連合会改革案が的確に解説された。また本大学内近況報告として、阿部伸一教授からは今年も全国の国公立・私立中第1位で国家試験合格率4連覇達成の駿驥報告を拝聴した。さらに水道橋近隣地区への順調な全校移転が進められ、更なる高度医療と教育・研究の環境整備が成されている事を詳細に報告された。

**秋田県支部役員名簿**

支 部 長	藤原 元幸 (昭和50年卒)	(会 計)	駒橋 純 (昭和62年卒)	爽翔会
	八輪会	(無 任)	清水 隆夫 (昭和62年卒)	爽翔会
副支部長	寺岡 洋一 (昭和49年卒)		金子 恵三 (昭和62年卒)	爽翔会
	七十九期会		工藤 卓奥 (昭和62年卒)	爽翔会
	岡田 寛 (昭和50年卒)		山本 高敬 (平成2年卒)	百樹会
	八輪会	監 事	有明 一 (昭和42年卒)	志学会
	嶋田 均一 (昭和51年卒)		奈良 周彦 (昭和56年卒)	水公会
	正和会	顧 問	駒橋 典夫 (昭和26年卒)	いそむ会
	高橋 文明 (昭和52年卒)		太田 晃 (昭和32年卒)	五期会
	八十二期会		山内 静 (昭和33年卒)	六喜会
	佐藤 裕子 (昭和53年卒)		高橋 昭一 (昭和38年卒)	歯士会
	八実会			
	山田耕一郎 (昭和54年卒)			
	弥生会			
理 事				
(総 務)	鈴木 文登 (昭和56年卒)			
	水公会			
(庶 務)	五味 明雄 (昭和63年卒)			
	新葉会			
(学 術)	五味 明雄 (昭和63年卒)			
	新葉会			

会務一般並びに監査報告と全認定議案も満場一致で可決承認された。定時総会終了後、阿部伸一教授による「摂食・嚥下機能障害を理解するための機能解剖学的知識」の演題で学術研修会が行われ、臨床に直結した基礎的知識と最新の研究概要並びに今年に出題された国家試験難問題に対する傾

向と模範的な解釈と解答・解説を拝聴した。

記念写真撮影後、高橋昭一前支部長の祝杯献上により、同窓会懇親会が開宴し、終始懇談の華艶が舞った。

(昭和63年卒・五味明雄 記)

## 群馬県支部

### 平成27年度 群馬県同窓会拡大群馬県人会

本県出身の新進会員、現役学生（準会員）との交流を図る事を目的として一昨年度より行っている拡大群馬県人会が、平成27年12月26日（土）に高崎駅に隣接したホテルメトロポリタン高崎で本年度も昨年度と同様に、新進会員によ

る講演会と懇親会の二部構成で行われ、現役学生2名を含む42名（5組の親子）の参加者があり盛会に開催された。

第一部の講演会は、備前島俊行先生（S51卒）のご子息であり平成27年に本学大学院研究科を修了した備前島崇浩先生（H22卒）が講師を務め「歯周治療最前線」と



いう演題名で、私たちが見聞きしている骨移植、GTR法やEMDを利用した歯周組織再生療法から、今後活用されるであろうiPS細胞を使用した再生医療の展望と、新進気鋭の若手歯科医師にふさわしい内容で、「若手には、まだ負けない！」と自負している私たちにとっても、大いに刺激となった講演内容であった。

第二部の懇親会では、平成27年秋に旭日小綬章を叙勲された川越文雄先生（S31卒）の乾杯で始まり、MLSのOBである石岡豪一先生（S53卒）の弾き語りによる「クイズ！ド・レ・ミ・ファ・ドン！」で大いに盛り上がった。そして恒例の校歌斉唱の後、懇親会の勢いそのまま高崎市内での二次会へと流れ、世代の垣根を越えた交流を深めた。世代を越えた懇親会



（飲み会）としての本会の真の目的を達成するとともに、非常に楽しく有意義な時間を過ごす事ができた。懇親会・二次会では、歯科医師としてだけでなく、酔っ払いとしても先輩であるという事を若手と呼ばれる後輩の歯科医師に示す事が出来たのは、言うまでもない事であった。

また、同時期に歯学体のラグ

ビーが前橋市内で行われていたため、12月26日（土）は、ラグビー部OBである袋一仁先生（S62卒）が、翌日の27日（日）は引田正俊会長（S52卒）を中心に歯学体に参加するために来県していた本学の学生たちとの交流会を開催した事も追記したい。

（平成元年卒・片野勝司 記）



## 平成27年度群馬県同窓会定時総会、懇親会報告

平成28年3月12日（土）、前橋市のホテル・ラシーネ新前橋において群馬県同窓会定時総会と懇親会が開催されました。

来賓として同窓会本部から白井文規専務理事、群馬県歯科医師会から会長で同窓の村山利之先生をお迎えしました。

総会は原 茂総務の司会の下、石岡豪一副会長の開会の辞に続き、逝去された会員に黙祷を捧げました。続いて引田正俊同窓会会長より、9月に本県で開催される関ブロへの協力のお願いと、武安一嘉同窓会顧問、来賓の白井先生より、それぞれご挨拶を頂きました。

次に庶務報告の後、議長に宮下英一郎先生が選出され議事に入り

ました。

議事として事業計画案、一般会計並びに福祉共済部会計予算案、特に、関ブロ開催関係では、特別補佐として真下泰彦先生を選任すること、関ブロ用特別会費として会員一人当たり3,000円徴収すること、また去年の7月の総会で提案された顧問、名誉顧問に関する会則の改訂案が上程され、すべて可決承認されました。

続いて白井先生に同窓会、大学の現況について報告して頂き、後半は、先生が保険の審査を長くされていたということ、急遽、保険点数改正の説明をお願いし、要点を理解しやすくご講演いただきました。最後に原総務の閉会の辞により総会は終了しました。

続いて集合写真を撮影し、懇親会に移りました。川越文雄名誉顧



問の乾杯のご発声のもと開宴し、来賓の村山先生からは群馬県歯科医師会の会務執行に対する同窓会員の支援に対する謝辞をいただきました。

同窓会独特の和やかな雰囲気の中、お酒もすすんで盛り上がり、最後は、白井先生伴奏のもと、全員で恒例の校歌斉唱し、長澤先生に締めのご挨拶で、名残惜しみながらのお開きとなりました。

（平成4年卒・小板橋正樹 記）



## 横浜西部支部

平成28年4月9日（土）、横浜駅東口近くの崎陽軒にて、春の総会が行われた。当番区は瀬谷区であった。

当日の参加者は、ご来賓として東京歯科大学同窓会副会長の早速晴邦先生、東京歯科大学前理事長の金子 譲先生、東京歯科大学神奈川県支部連合同窓会会長の西山 潔先生の3名に加え、当支部会員24人の総勢27名であった。

会は、山之内正己君の司会の下、式次第にのっとり、支部長挨拶、ご来賓の挨拶、各種報告が行われ、出席会員による承認を得た。また、報告の中で秋の1泊総会は、1年おきに実施することになった。

そして、懇親会に移行し、佐藤卓朗君による乾杯の発声の下、一同乾杯し、会食となった。会食の途中、今年めでたく傘寿を迎えられた鈴木祐司君、武居秀昭君、続孝君、杉浦秀三君、喜寿を迎えら



れた島田英明君、還暦を迎えられた遠藤盛孝君、佐藤隆幸君に対してお祝い金を渡して祝福をした。また、当支部の名誉会員の存在である金子 譲先生も喜寿を迎えられたのでお祝い金を渡して祝福した。

さらに忙中駆けつけてくれた参

議院議員島村 大君により、今回の社保改定に関して説明がなされた。

たのしいひと時も瞬く間に過ぎ、増田裕子副支部長の挨拶で閉会となり、一同で記念撮影をして閉会となった。

（平成14年卒・渡瀬秀彦 記）



## 浅草支部

浅草支部は昨年度も多くのイベントを催しました。

一昨年より浅草支部は下谷支部と合同で学術講演会・保険講習会を開催することになり、下谷支部の鈴木千枝子支部長と浅草支部の中野正博支部長が連携し、6月には浅草支部主催で片倉 朗教授による学術講演会、10月には下谷支部主催で大鶴聖一郎先生による保険講習会を開催いたしました。2つの支部が合同で開催することで参加人数も増え、講師の先生方との懇親会も盛り上がります。

毎年恒例の支部親睦会は10月24日（土）に『オテル・ド・ミクニ』の個室で多くの先生に出席いただきミシュランシェフの料理を堪能しました。

総会及び懇親会は12月12日（土）、例年と同じ会場である浅草にある川松別館で開催し、多くの先生方が出席しそれぞれの近況を報告いたしました。

また平成28年1月29日（金）は恒例の新年会を下谷支部主催で開催しました。会場は上野不忍池の向かいにある『伊豆栄本店』でおこないました。井出吉信学長をはじめ同窓会副会長澁谷國男先生、東京地域支部連合会副会長山口和彦先生を来賓としてお迎えしました。また浅草地区から中久喜 喬名誉教授、下谷地区から高橋一祐名誉教授も出席を賜りました。今年の中久喜 喬名誉教授の90歳をお祝いし、花束の贈呈をさせていただきました。

今年の下谷支部・浅草支部合同

開催で中央ブロック連絡協議会を開催いたします。

今後も多くのイベントを企画し

ますのでよろしくお願いたします。（平成元年卒・田 昌文 記）



学術講演後片倉教授を囲んで



学術講演後の懇親会で



『オテル ド ミクニ』にて



『川松別館』総会&懇親会



中久喜先生おめでとうございます



新年会での集合写真

## 愛知県支部

### 平成27年度愛知県同窓会総会

平成27年12月6日（日）名鉄ニューグランドホテルにて平成27年度愛知県同窓会総会、記念講演会ならびに懇親会が盛大に開催された。

総会では来賓として東京歯科大学理事長の水野嘉夫先生、同窓会本部より副会長の浮地文夫先生、地域選出理事の山田 有先生にご臨席戴いた。始めに会長挨拶として成瀬 健会長より、「東京歯科大学同窓会創立120周年記念式典における記念講演での吉澤信夫山形大学名誉教授ならびに宮地建夫同窓会副会長のお話では、明治28年6月に第一回院友会が芝の万清楼で行われ、その際、万座の会員を前に血脇守之助先生が『竜頭蛇尾に終わらしめず、第二回第三回より千万回に致らしめんこと、我々の願望に勝へざる所なり』と檄を飛ばされた」と紹介された。世の中、中途半端に終わるものばかりだが、永遠に続けることの大切さを説いていることを改めて再確認した。120年続くこの同窓会への思い、血脇イズムが脈々と流れ

ていると感じる。この先130周年、150周年、200周年さらにその先ずっと続けていけるよう同窓会に寄与して戴きたい」と120周年記念式典での内容を引用し、同窓会の意義を説かれ会長挨拶を行った。その後、3名の物故会員への黙祷に続き、水野嘉夫理事長からは大学の近況、浮地文夫同窓会副会長からは、役員改選に伴う次期執行について引き続き矢崎秀昭会長が選出されたことを始め、同窓会評議員会での内容の詳細な報告等がなされた。

総会は牧野健司議長の下、各部報告、議事と円滑に取りまとめられ、議事の「次期会長選出の件」では、満場一致で成瀬会長が引き続き次期会長に推挙、承認された。また、次年度中には愛知県同窓会の沿革誌を作成し、愛知県同窓会の歴史を後世に伝えていくことも承認された。

記念講演会は、「歯科医学における内科学」という演題で学校法人東京歯科大学理事長であり、慶應義塾大学内科学客員教授でもある水野嘉夫先生にご講演を戴い



た。超高齢化が進み、有病者に対しての歯科治療が当たり前の時代となってきた今日、歯科外来を受診する患者さんで一番頻度の高い高血圧症について話を進めて戴き、明日からの診療に生きるとても意義のある講演であった

最後に懇親会が同会場にて行われ、来賓として愛知県歯科医師会より、須賀 均副会長にご出席戴いた。懇親会では女性演者4名によるクラシックのミニコンサートを聞きながら、120周年記念式典に参加された会員が多く、その際の話等でも大変盛り上がり、終始笑いの絶えない懇親会となり、最後は小関健司理事の指揮の下、平成卒の会員が壇上に上がり、校歌斉唱にて閉会となった。

(平成9年卒・井上敬介 記)



## 三重県支部

### 定時総会

平成28年1月31日、四日市都ホテルにおいて平成28年定時総会、学術講演会、懇親会が開催されました。

来賓として、同窓会本部より同窓会副会長の澁谷國男先生、学術講演会講師として本学昭和59年卒で朝日大学歯学部総合医科学講座麻酔学分野の教授であられる櫻井学先生をお迎えしました。

本年初めより役員の変更があり、新たに就任した辻 孝支部長の挨拶がありました。辻支部長は長年にわたり県の歯科医師会で社保の役員を務めた経緯があり、会員としても大いに心強いと感じています。

次に昨年叙勲された楠崎 渥先生のお祝いがありました。長年にわたり県の歯科医師会で役員さら

に副会長などを務められ、瑞宝双光章という非常に荣誉ある章を受けられました。会員一同ほんとうに喜ばしく、誇らしくまた心の励みとなりました。

続いて同窓会本部の澁谷先生から、同窓会員の減少問題や同窓会創立120周年記念行事のお話がありました。さらに水道橋校舎西棟建設の寄付のこともお話をされました。特に問題なのはやはり若手会員の未入会問題で、本部もいろいろ考え苦勞されていることがよく分かりました。幸いにも三重県支部は今年、平成10年卒の横田正隆先生、平成13年卒の深水陽介先生2名の新入会員を迎えることができましたが、今後も積極的に若手の入会を勧めていきたいと思っています。

記念撮影後、櫻井 学先生より

「全身疾患を考慮した歯科治療」のタイトルでお話をいただきました。特に高血圧、虚血性心疾患、不整脈等の循環器系疾患の歯科医療事故防止について詳しく説明をしていただきました。そして抜歯時などだけではなく、印象時やセメント合着時でも患者はストレスを感じ血圧が上がるなどの日常臨床に即したお話をたくさんしていただき、大いに勉強になりました。

会場を移して懇親会が行われ、最年長の中西亨之先生の乾杯の音頭から始まり、中華料理をいただきながら、時間が経つのも忘れて一同大いに盛り上がり、本当に楽しい時間を過ごすことができました。(昭和56年卒・宮崎弘隆 記)



写真が同窓会ホームページ<<http://www.tdc-alumni.jp>>に掲載されています。

## 富山県支部

### 平成28年度総会・懇親会

平成28年1月30日(土)、ホテルグランテラス富山にて平成28年度富山県支部総会・懇親会が会員24名の参加を得て開催されました。

総会は議長に宮本宣良先生を選出して議事が始まりました。山崎安仁支部長からは昨年11月に開催された同窓会評議員会の議事の内容が報告され、また県歯会長として富山県歯科医師会の現状と事業内容の説明がありました。続いて高橋正志幹事より昨年度の会務・会計報告および金川直博監事より監査報告がなされ、全会一致で承認されました。その後、高橋幹事より今年度の事業計画・予算案の説明があり、これも全会一致で承認されました。

最後に役員改選に移り、次期支

部長に野田 修先生(昭和53年卒)が、全会一致で選出されました。また、野田新支部長より、副支部長に稲田次郎先生・内田昌宏先生、幹事に山田雅敏先生、副幹事に清田 築先生が指名されて総会は無事終了しました。

懇親会では、これまでのご尽力に感謝して山崎前支部長と高橋前幹事に花束を贈呈した後、金川直博先生の乾杯で歓談となりました。和やかな雰囲気の中おいしい食事とお酒を満喫するうちにあっ

という間に時間が過ぎ、内田昌宏副会長の閉会の辞でお開きとなりました。

(昭和61年卒・山田雅敏 記)



## 滋賀県支部

### 平成28年度 総会および学術講演会開催

東京歯科大学同窓会滋賀県支部総会および学術講演会が、さる平成28年3月6日、「ホテルポストンプラザ草津」にて開催された。当日は肌寒い風が吹く、あいにくの天気であったが総勢23名の参加があった。尾松素樹専務理事が司会を担当、松田康男副支部長の開会の辞に続いて校歌が斉唱され、物故会員に対し黙祷を捧げた。特に今年は、毎年我が支部で歌い継がれている東京歯科大学逍遙歌、「夕日は沈み」作詞者でおられた島野達也先生（昭28卒）が逝去されたこともあり、例年以上に悲しみが込み上げた。その後、藤居正博支部長が挨拶と本校120周年記念事業の報告をなされた。続いて議事に入り、平成27年度の事業報告および会計報告、平成28年度の事業計画の協議を行い、可決承認された。また、続く議事におい

て新たな支部長の選出および新役員案が上程され、賛成多数で可決された。次期支部長に決まった松田康男先生からの挨拶の後、中村 忠副支部長による閉会の辞で総会は締めくくられた。休憩を挟んだ後、学術講演として本学よりお招きした東京歯科大学歯科理工学講座、河田英司教授により「東京歯科大学近況報告」および「確かな接着のために」と題したご講演を賜った。まず近況報告では東京水道橋に復帰した大学のさらなる発展のための施策の数々が報告された。また徹底した学生教育のノウハウの一端を見せていただくことで、わが校がトップクラスの国家試験合格率を続けている理由が理解できた。我々が学生だった頃は随分とのんびりしていたのだな、と妙な感慨を抱いた。学術講演では我々が日々の臨床で、多くの時間を費やす処置のひとつ、CR充填の「ボンディング」

のメカニズムについて凝縮してご教示いただいた。また、最近保険収載された「CAD/CAM 冠」の接着についても言及された。日頃診療で日常化している「接着」をもう一度見直す、良いきっかけとなったと思う。熱い講演だったため時間が押してしまっていたが活発な質疑応答が交わされ、講演会は終了となり引き続き懇親会に移った。出席者最年長である石田喜之先生の乾杯の発声で宴が始まり、和やかな時とともに同窓の親睦を深めた。宴の中で、前述の島野（旧姓横山）達也先生を忍びつつ逍遙歌「夕日は沈み」を北村真也先生の音頭、もとい、指揮の下、全員で合唱した。その後、岡野克也先生の閉会の辞をもって全ての日程を終了した。東京歯科大学のよき伝統である、年齢を超えた結束力の強さはまだまだ健在であると実感した一日であった。

（平成4年卒・住井浩剛 記）



## 長崎県支部

平成28年3月5日(土)17時より長崎県佐世保市の「富士国際ホテル」にて平成27年度総会および学術講演会が開催された。総会は田口知義新支部長(昭和59年卒)の挨拶にはじまり、庶務報告、会計報告が行われ賛成多数で承認された。

今回、講演会の講師として本校出身の櫻井 学/朝日大学総合医科学講座麻酔学分野教授(昭和59年卒)をお迎えした。

講演会は「有病者の全身管理」と題して櫻井教授より日常臨床で

よく遭遇する循環器系疾患を持った患者の歯科治療を行う際の問題点や対策など講演があり、参加者全員で最新の知見の取得および知識の再確認を行った。懇親会は須田 昇先生の乾杯ではじまり、終始和やかな雰囲気での交流を楽しみ2次会、3次会と櫻井教授を囲

み、参加された先生方は佐世保の夜を満喫されたようです。

(平成12年卒・坂本慶一郎 記)



# クラス会だより

## 五十鈴会

昭和25年卒

卒業後65年を迎えた昨年、例年通り総会を開催いたしました。65年と云っても集まれば、つい最近のように学生の時、そして卒業してからの色々な事、そして、今日来られない友人の思い出、近況などなど毎年同じような話題ですが語り合い、そして、出席者の現況、歯科以外での地域での活躍、趣味に生きる楽しさ、家族の話などなど予定の2時間を30分以上過ぎる程でした。

会場は、誰にでも分かり易く、

帰りにも楽しいところをと考え、日本橋三越特別食堂にしました。当日は京都展などもあり、解散後も三々五々ゆっくりされ、幹事はほっとしました。

今年も、同じ時期の開催を予定しております。お元気で又お会いしましょう。

紙上五十鈴会遅れていますが、近々お送り致します。

§ 慶弔費についてのお知らせ

五十鈴会では、物故会員の会費納入額に応じた金額を香典として

会員に返却してまいりましたが、平成22年、全員が80歳になったのを機会に会員からの要望で、香典、即ち会費の返却を、生前供与とすることになり、僅かな通信費を残し、会費残額を会員に返却（会計報告済み）しました。そのため、改めて物故会員への献花、香典は致しません。出来ればこのことを、ご家族、親族に宜しくお伝えください。尚、同窓会本部からの献花は従来通りです。

(齋藤季夫 記)



会場の外では京都展でにぎわっている



会場風景



当日の集合写真

左から 齋藤、大山、佐藤、村上、木村、伊藤、白須賀、金子、高原です



三越特別食堂 案内



新発田郷土研究会会長で東菌との関係(野口英世、石塚三郎)について説明する、佐藤君

## 十二期会

昭和39年卒

全国には数多くのテーマ・パークや四季に合わせた催し物がある。

栃木県南西部、足利市にもゴールデン・ウィークに藤の花の見頃を迎える、ここ「足利フラワーパーク」では、“ふじのはな物語2016”という企画で賑わいを見せる。

昨年11月28日、東京お台場グランパシフィックホテルで開催した、第50回大会の席上、今回は足利で開催との声を受けて、足利・秋山博右君が「足利で開催する時には、藤の花を楽しんでいただく」「ライトアップされた庭園を觀賞し、翌日もう一度、昼間の花を見る」とのスケジュールで行うことを決める。

平成28年4月22日（金）午後5時、足利市ホテル・ニューミヤコに集合、割烹「伊萬里」にて夕食、ライトアップされた「足利フラワーパーク」にて大藤棚を觀賞する。92,000m<sup>2</sup>（約28,000坪）の広大な敷地には、大小の築山と数々の池をめぐらせ、350本の藤と5,000株のツツジをはじめ春の花が咲き、圧巻は4本の大藤。樹齢150年、枝を広げた藤棚は、一面35m×40m（1,400m<sup>2</sup>・約400坪）、昼600枚分の藤棚からは、1mに達する花房が垂れ下がる。これらの花々を遊歩道の小径がつなぎ、光に浮かぶ花房が、かすかに風にゆれ、2時間余りのナイト・ツアーは私達だけの貸切りという幸運に恵まれ、心に残る觀賞の機会となった。

翌23日（土）午前9時、再びフラワーパークへ。昨夜の幻想的な光と花のコラボとは違って、雑踏の中で戸惑う。キリシマツツジの深紅、大藤の紫と白藤のトンネル、春の陽射しのもとでのフラワーパークを楽しむ。

「レストラン・ヴィーグル」で昼食後、室町幕府発祥の地、足利の歴史的スポット、わが国最古の学校「足利学校」と室町幕府を興した足利氏氏寺「ばんな寺」を參觀。

午後5時、ホテル・ニューミヤコに32名が参集、第51回総会を開催する。開会に先立ち、昨年12月、兵庫宝塚の石田鐵男君の逝去と卒業以来26名の同朋がすでに鬼籍に入り、在りし日の友を偲び黙祷を捧げた。まず丹野 研会長のあいさつ、金子 讓名誉教授からの母校の現況、片倉恵男元理事からの報告、次いで平成27年会計報告、そして前回からの懸案である

本会の在り方と運営について協議、多くの意見が交わされ、卒業から50余年が経過し、会員一人ひとりの立場や体調にも変化があり、現状に則した会の運営が必要との意見の集約をみ、会則を一部改正することで本会の継続に支障を生じないことを確認し、後日、全会員に改正会則を送付することを決定した。

また次の開催は、新潟・佐藤昭雄君の配慮で越後富士方面と内定し、総会を閉会した。

懇親会に移り、次回幹事、佐藤君の乾杯の発声で賑やかに宴が始まり、熊本地震の中、鈴木勝志君、緒方史朗君、多田集一君、大分の吉澤健介君の被害を心配。一日も早い地震の収束と復旧を念じた。

和やかな集いの中メめは、鈴木尚君のソングリーダーで校歌を合唱し、散会した。（牟田紀一 記）



# 福 祉 会

昭和44年卒

昭和44年に卒業（74期）以来、46回目のクラス会を同窓会120周年記念に合わせ昨年の11月28日後楽園ドームホテルにて開催。総会の後、懇親会にはご夫婦の出席者を含め55名が出席。時間の都合で、各地区を代表して数名の方に近況をご報告いただき、その後それぞれに各テーブルに久しぶりの友人を見つけては大いに盛り上がった。楽しい懇談の後、元合唱部の佐久間君の発案で校歌を久方ぶり

に大きな声で合唱した。不思議なことに校歌合唱の効果は偉大で皆学生時代の昔にかえったような一体感を感じたようであった。二次会には30名が出席。懇親会以外の企画についてご紹介しておく

28日（土）

「芝 うかい亭」静寂な庭園の中での懐石料理の昼食 15名参加  
 矯正科講師の西井 康先生のご丁寧な案内で水道橋校舍新館

（血脇記念ホール）、建設中の西棟、本館・診療室見学 19名参加  
 29日（日）

東京スカイツリー展望デッキよりの見物 17名参加

本年は、長野の幹事さんの企画で秋の別所温泉、真田（上田）史跡、善光寺巡りなど検討中のようです。奮ってご参加下さい。

（小坂 肇 記）



うかい亭にて団欒



スカイツリー展望デッキからの眺望



集合写真

## OB会・グループ・サークルだより

### 山倉大紀先生 サッカー部部長退任慰労会

サッカー部部長をお勤めになられた山倉大紀先生が、平成28年3月末大学退職に伴い部長を退任されました。山倉先生は昭和51年大学入学時からサッカー部部員として、医局員時代は安達 康前部長のもと副部長を、平成22年からは部長に就任されていました。サッカー部を牽引された山倉先生に感謝の意をこめてサッカー部OBが集い、平成28年5月14日(土)、東京ドームホテル42階シリウスにおいて「山倉大紀先生 部長退任慰労会」が開催されました。当日は、現役2名を含む41名が集まりました。会の冒頭、OB会会長の白田 準先生から山倉先生に対する感謝の言葉とご挨拶がありました。引き続き、安達 康前サッカー部部長から山倉先生と共にした期間のお話し、今後のサッカー部への激励とともに乾杯のご発声をいただき、宴が始まりました。山倉先生からは現役時代のリーグ戦や合宿所での出来事、また安達部長のもと副部長として過ごされた10数年、平成22年から就任した部長としての思い出をお話いただきました。昨年、部長最終年度はオールデンタルで優勝し、有終の美を飾られました。会の半ばには、OB会を代表して同級生である今村昭二郎先生、若林秀典先生から記念品が手渡され、現役時代にあった本文章中には記載できないような様々な楽しいエピソード

もお話しいただきました。現役サッカー部員を代表して第5学年河西洋一君から、現在の部員構成、関東医歯薬獣リーグについての報告をしてもらいました。現役部員は13名、今年度の新入生は残念ながら0名ということで、今後OB会としても練習環境を含めた様々な改善が必要であることが確認されました。会の最後に矢島安朝顧問より、山倉先生への慰労の言葉、同窓としてサッカー部OBとして、歯科医師になってからより先輩への感謝の気持ちを忘れず、その伝統を後輩へ繋いでいくことが90年以上の歴史を持つ東京歯科大学サッカー部の使命であるとお挨拶をいただき、閉会となりました。多くのサッカー部OBが集い、旧交を温め、親睦をはかることが出来ました。お世話になりました山倉先生には改めて御礼申し上げますとともに、今後のご健康をお祈りいたします。ありがとうございました。



参加メンバー：安達 康先生(S45卒)、白田 準先生(S53卒)、矢島安朝先生(S55卒)、若林秀典先生(S57卒)、今村昭二郎先生(S57卒)、重松司朗先生(S62卒)、岩田昌久先生(S63卒)、原 英次先生(H2卒)、赤堀仁則先生(H6卒)、佐藤知雄先生(H6卒)、白水直樹先生(H7卒)、山田淳先生(H11卒)、白岩正康先生(H12卒)、神津由直先生(H12卒)、小林大輔先生(H12卒)、監物 真先生(H12卒)、永井嘉洋先生(H15卒)、杉山健太郎先生(H16卒)、菅原圭亮(H16卒)、青柳隆先生(H18卒)、蛭田慎一先生(H18卒)、安田雅章先生(H18卒)、泉地重輝郎先生(H19卒)、宇井康晃先生(H20卒)、山村啓介先生(H20卒)、糸日谷遼先生(H21卒)、井原雄一郎先生(H21卒)、清水俊宏先生(H22卒)、中西康輔先生(H23卒)、佐野陽祐先生(H24卒)、鈴木惇也先生(H24卒)、秋草 岳先生(H25卒)、澤田光弘先生(H25卒)、森田直登先生(H25卒)、石井亮太先生(H26卒)、鈴木裕敏先生(H27卒)、舟山一成先生(H27卒)、山田大貴先生(H28卒)、河西洋一君(123期)、鴨 あや子さん(122期)

(平成16年卒 菅原圭亮 記)



# すいどうばし

## 「櫛笥なる…」

竹内 一 紀 (昭和45年卒)

きみなくば なぞみ<sup>よそ</sup>装<sup>つ</sup>わむ  
櫛<sup>くし</sup>笥<sup>げ</sup>なる 柘<sup>くし</sup>植<sup>ぐし</sup>のお櫛<sup>くし</sup>も  
執<sup>と</sup>らむと思<sup>おも</sup>わず

(万葉集)

(あなた様がいらっしゃらなければ、化粧箱の柘植の櫛さえ執る気になれません)

県境の山の頂きも白く連なり、雪は未だ未だ残るのに最終組の白鳥も北帰行です。鱈腹<sup>たらふく</sup>の啄<sup>つば</sup>みと、鳥瞰の無事と、来季の再会が皆の願い。…やがて、交代の野田に紅いトラクターが走り廻る躍動・多忙の“春田の季節”を迎えます。

越後平野に秘められた「櫛笥」は老人ホームの通い奥道。京の都から遠く離れた片田舎に 高貴な地名は不似合いも不似合いですが、櫛笥神社は遠望の門被りの大松が目印。カルテに転写する国民健康保険証の記号欄・住所欄とも、繰り返し目を遣りペンを這わせる厄介な櫛笥だったのです。

晩年の母を牡丹園へ連れ出した帰路のことでした。「櫛は木偏に竹冠の節を書きます。箆笥の笥と書いてゲと読ませます。柘植は木偏に石、そして植木屋さんの植です。判子も将棋の駒も柘植…」云々と、あの日のカルテと女学校時代の記憶を甦らせます。飄々と恋の和歌を暗証されてしまっ

た。恵加減が残念の懺悔でした。

医療法人とは名ばかりの有象無象<sup>うそうむ</sup>が、「特別養護老人ホーム」とはなんと僭越。在学中は無頓着でも、歯科医は明晰な頭脳と明瞭な視力と繊細で美的感覚の指先が必須でした。ところが、人は目から衰退、加えてインプラントなど先端医療は大学に残った弟達や甥・姪たち勉強家に敵いません。目も指も記憶装置も老劣化しては お年寄り相手の如才ない現役ぐらいが暫しの猶予です。嘗て、私がセットした総入れ歯は経年変化でアファ・アファと口腔で踊る義歯不適合。「覚えてまあス こおってネえ〜!」と、待合室が豊時代のなんとも懐かしい再会はいずれも痴呆傾向の気配なら私も同朋の心算<sup>つもり</sup>です。…とは言え、ご指導を受けたガバナーには遂にお声掛け出来ませんでした。中学の同級生の入居はショック! 有耶無耶<sup>うやむや</sup>の見て見ぬ振りは、未だに乗り越えきれない壁なのです。

321名様に辿り着いた吉祥定員の「利用者様&ご家族様」と、「看護師・介護士・相談員・事務員・掃除洗濯係さん等々2百名半ばの職員」に使命の絆を感じます。協力病院・嘱託医・かかりつけ医・協力歯科医・訪問歯科検診・口腔ケア・経管栄養・フォーレ・導

尿・みとり・妻と連帯保証…と、日々に薄氷を踏む想いです。

世間を広げ、人を深めるとして大っぴら顔する傾向の副業ですが、参入はお控えが賢明でしょうか。福祉施設・保健施設に限らず類似の施設整備は急展開の無策な大盤振る舞いでしたから、看護師など有資格者の人材不足。熾烈なスカウト合戦で人材会社は大繁盛と聞こえます。入居者は東京から介護タクシーの方もあるくらいですから、田舎の施設は高齢者が足りない程になりました。他方、4ヶ月のボーナス・二股の退職金・残業代 etc. 組合には全敗しています。

好き放題の我が儘を見逃してくれた妻に息子に弟達に感謝です。一途<sup>いちず</sup>な開業であれば、万葉なんぞと「櫛笥」は滅多に訪ねる処がありません。ついこの間までは、関わりを通り一遍に軽視する稚幼な余裕が有ったかも知れません。しかし、高齢の渦中に母を偲ばせる道すがらの神社は一大事です。神棚<sup>しめなわ</sup>の注連縄を新たにし、仏壇に念仏している己の姿に気付きました。神様も仏様も魂も存在するに違いありません。

東歯の水道橋の神社が思い浮かびました。近々の上京に詣でます。同窓・亡父の分まで…。

# 庶務日誌

- 3月
- 1) 理事会
- 3月19日(土) 第2回理事会
- 2) 委員会
- 3月1日(火) 事業推進部学術委員会 全体委員会
- 7日(月) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(ベーシックセミナー打合せ)
- 7日(月) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(顎関節症セミナー打合せ)
- 11日(金) 広報部広報委員会
- 14日(月) 会務運営協議会
- 22日(火) 事業推進部学術委員会 企画会議
- 22日(火) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(顎関節症セミナー打合せ)
- 25日(金) 総務・厚生部総務厚生委員会 (打合せ会)
- 25日(金) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(ベーシックセミナー打合せ)
- 25日(金) 同窓会創立120周年記念誌打合せ会
- 30日(水) 総務・厚生部女性会員活動推進委員会
- 31日(木) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(ベーシックセミナー打合せ)
- 3) 出張
- 3月5日(土) 青森県支部総会 富山副会長出席  
学術講演会 講師・中川種昭先生  
(慶応大学歯科口腔外科学教室教授)
- 5日(土) 長崎県支部学術講演会  
講師・櫻井 学先生(朝日大学歯学部歯科麻酔学教授)
- 6日(日) 滋賀県支部学術講演会  
講師・河田英司教授(母校)
- 11日(金) 東京歯科大学歯科衛生士専門学校卒業証書授与式 矢崎会長出席
- 12日(土) 群馬県支部総会 臼井専務理事出席
- 15日(火) 東京歯科大学第121回卒業証書・学位記授与式 矢崎会長出席
- 15日(火) 東京歯科大学大学院修了式ならびに懇親会 矢崎会長出席
- 18日(金) 全国歯科大学同窓会・校友会日歯連盟参与会議 矢崎会長出席
- 26日(土) 北海道地域支部連合会臨時総会・支部長会 早速副会長, 戸田理事出席
- 27日(日) 日本大学歯学部同窓会第3回桜会  
高野常任理事, 岡村常任理事出席
- 4) 事業
- 3月9日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修  
TDC 研修倶楽部
- 10日(木) 東歯関係日歯役員・代議員と同窓会役員との懇談会
- 14日(月) 新入会員オリエンテーション
- 16日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修  
DSM
- 17日(木) 市川総合病院臨床研修歯科医修了者へのオリエンテーション
- 18日(金) 水道橋病院臨床研修歯科医修了者へのオリエンテーション
- 23日(水) 千葉病院臨床研修歯科医修了者へのオリエンテーション
- 24日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修  
歯科臨床を語る会
- 4月
- 1) 理事会
- 4月27日(水) 第2回常任理事会
- 2) 委員会
- 4月1日(金) 総務・厚生部総務厚生委員会
- 4日(月) 広報部広報委員会(会員NW小委員会)
- 5日(火) 渉外部渉外委員会
- 8日(金) 事業推進部社会保障制度研究委員会
- 11日(月) 広報部広報委員会
- 11日(月) 総務・厚生部ゴルフ大会委員会
- 18日(月) 会務運営協議会

- 19日(火) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(ベーシックセミナー予演会)
- 20日(水) 総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会
- 22日(金) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(エンドセミナー打合せ)
- 26日(火) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(エンドセミナー最終予演会)
- 3) 出張
- 4月4日(月) 東京歯科大学大学院入学式  
矢崎会長出席
- 5日(火) 東京歯科大学入学式 矢崎会長出席
- 6日(水) 東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学式  
矢崎会長出席
- 9日(土) 山形県支部総会並びに創立90周年記念祝賀会  
矢崎会長出席  
学術講演会 講師・二階堂雅彦氏  
(東京都開業)
- 9日(土) 横浜西部支部総会 早速副会長出席
- 10日(日) 広島県支部総会 澁谷副会長出席  
学術講演会 講師・古澤成博教授  
(母校)
- 12日(火) 第109回歯科医師国家試験反省会並びに第6学年修学指導担当者慰労会  
矢崎会長, 澁谷・財部・富山各副会長, 臼井専務理事出席
- 16日(土) 宮城県支部総会 財部副会長出席  
学術講演会 講師・阿部伸一教授  
(母校)
- 23日(土) 兵庫県支部学術講演会  
講師・松永 智准教授(母校)
- 24日(日) TDC アカデミア2016 臨床セミナー開校式  
矢崎会長, 早速副会長, 臼井専務理事出席
- 24日(日) 東京都女性歯科医師の会 平成28年度総会・講演会・懇親会  
財部副会長出席
- 4) 事業
- 4月4日(月) 東京歯科大学大学院入学者へのオリエンテーション 宮地顧問出席
- 7日(木) 井出学長・一戸副学長との座談会
- 13日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修  
TDC 研修倶楽部
- 14日(木) TDC アカデミア2016 医療教養  
フロンランナーセミナー 第1回
- 20日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修  
DSM
- 24日(日) TDCアカデミア2016 臨床セミナー  
顎関節セミナー
- 28日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修  
歯科臨床を語る会
- 5月
- 1) 理事会
- 5月21日(土) 第3回理事会
- 2) 委員会
- 5月9日(月) 総務・厚生部女性会員活動推進委員会
- 9日(月) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(ベーシックセミナーチューターミーティング)
- 13日(金) 広報部広報委員会
- 13日(金) 事業推進部学術委員会 企画会議
- 16日(月) 会務運営協議会
- 17日(火) 二校会主催若手研修セミナー打合せ会
- 20日(金) 総務・厚生部総務厚生委員会
- 20日(金) 渉外部渉外委員会
- 23日(月) 事業推進部社会保障制度研究委員会
- 24日(火) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(移植・再植セミナー打合せ)
- 25日(水) 総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会
- 31日(火) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
(補綴セミナー打合せ)

3) 出張

- 5月27日(金) 渋谷支部総会 矢崎会長出席  
 学術講演会 講師・井出吉信学長  
 (母校)
- 28日(土) 四国地域支部連合会総会・支部長会  
 矢崎会長, 白井専務理事, 沖理事出  
 席  
 学術講演会 講師・柴原孝彦教授  
 (母校)

4) 事業

- 5月11日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修  
 TDC 研修倶楽部
- 15日(日) TDC アカデミア2016 卒後研修  
 ベーシックセミナー
- 18日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修  
 DSM
- 26日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修  
 歯科臨床を語る会
- 28日(土) TDCアカデミア2016 臨床セミナー  
 エンドセミナー
- 29日(日) TDCアカデミア2016 臨床セミナー  
 エンドセミナー

6月

1) 理事会

- 6月22日(水) 第3回常任理事会

2) 委員会

- 6月7日(火) 事業推進部学術委員会 運営委員会  
 (ベーシックセミナー打合せ)
- 10日(金) 広報部広報委員会
- 13日(月) 会務運営協議会
- 17日(金) 広報部広報委員会 (120周年記念誌  
 打合せ)
- 17日(金) 渉外部渉外委員会
- 22日(水) 総務・厚生部新進会員のつどい実行  
 委員会
- 24日(金) 事業推進部学術委員会 企画会議

3) 出張

- 6月11日(土) 東北地域支部連合会総会・支部長会  
 矢崎会長, 中島常任理事, 田島理事  
 出席  
 学術講演会 講師・櫻井 薫教授  
 (母校)
- 18日(土) 九州地域支部連合会支部長会  
 白井専務理事, 田部理事出席
- 18日(土) 鳥取県支部学術講演会  
 講師・片倉 朗教授 (母校)
- 25日(土) 近畿地域支部連合会支部長会  
 矢崎会長, 稲野理事出席
- 25日(土) 福島県支部総会 早速副会長出席  
 学術講演会 講師・足立 融氏 (鳥  
 取県開業)
- 25日(土) 島根県支部総会 富山副会長出席
- 26日(日) 島根県支部学術講演会  
 講師・小宮山彌太郎氏(東京都開業)

4) 事業

- 6月8日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修  
 TDC 研修倶楽部
- 15日(水) TDC アカデミア2016 卒後研修  
 DSM
- 16日(木) 東歯関係日歯役員・代議員と同窓会  
 役員との懇談会
- 23日(木) TDC アカデミア2016 卒後研修  
 歯科臨床を語る会

5) 監査会

- 6月8日(水) 監査会



## 逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

●昭 16.3 卒	安藤 正 (96歳)	東京都中野区	28. 2. 15
●昭 23 卒	山田 廣武 (88歳)	神奈川県鎌倉市	27. 11. 27
●昭 22 卒	蒲 郁次郎 (90歳)	北海道札幌市	28. 2. 18
●昭 24 卒	帆 足 望 (87歳)	東京都杉並区	27. 7. 7
●昭 17.9 卒	野口 春治 (95歳)	東京都杉並区	28. 2. 17
●昭 24 卒	江島 俊昭 (88歳)	北海道岩見沢市	28. 2. 24
●昭 44 卒	高井 稔郎 (71歳)	岐阜県岐阜市	28. 2. 23
●昭 20.9 卒	岩 渕 謙四郎 (89歳)	千葉県富津市	24. 5. 8
●昭 27 卒	川本 尚志 (88歳)	広島県東広島市	27. 12. 31
●昭 63 卒	田中 清貴 (52歳)	群馬県桐生市	28. 2. 28
●昭 32 卒	高橋 標 (81歳)	北海道帯広市	26. 8. 14
●昭 33 卒	木村 義浩 (82歳)	熊本県熊本市	28. 3. 2
●昭 29 卒	宮下 幸男 (86歳)	群馬県沼田市	28. 3. 7
●昭 13 卒	堀内 修二 (100歳)	埼玉県加須市	27. 11. 19
●昭 37 卒	栗山 豊実 (78歳)	富山県富山市	28. 3. 10
●昭 16.3 卒	新保 美信 (97歳)	埼玉県さいたま市	27. 12. 25
●昭 32 卒	大野 敏弘 (84歳)	愛知県名古屋市	28. 3. 12
●昭 30 卒	花井 正二 (85歳)	神奈川県横浜市	28. 3. 21
●昭 31 卒	増澤 一浩 (84歳)	長野県諏訪市	28. 3. 23
●昭 22 卒	須永 喜代志 (90歳)	栃木県足利市	28. 3. 23
●昭 30 卒	倉橋 知子 (84歳)	東京都世田谷区	28. 2. 19
●昭 36 卒	朝倉 英哉 (79歳)	東京都足立区	28. 4. 4
●昭 22 卒	笠井 通男 (93歳)	三重県四日市市	28. 4. 16
●昭 32 卒	常木 登司雄 (83歳)	新潟県新潟市	28. 4. 22
●昭 41 卒	小泉 仁 (77歳)	青森県青森市	28. 4. 26
●昭 25 卒	森山 徳長 (87歳)	東京都文京区	28. 5. 4
●昭 40 卒	寺木 泰雄 (77歳)	神奈川県鎌倉市	28. 4. 22
●昭 26 卒	小熊 一路 (87歳)	東京都世田谷区	28. 4. 30
●昭 19.9 卒	藤居 正太郎 (93歳)	滋賀県愛知郡	28. 5. 6

●平 10 卒	齋 藤 昌 宏 (42歳)	岡山県倉敷市	28. 4. 27
●昭 38 卒	高 井 千 一 (77歳)	新潟県燕市	28. 5. 14
●昭 18.9 卒	本 間 康 男 (94歳)	福島県福島市	28. 5. 13
●昭 27 卒	本 間 省 (86歳)	千葉県習志野市	28. 5. 19
●昭 19.9 卒	佐 藤 曄 (93歳)	佐賀県佐賀市	28. 5. 25
●昭 25 卒	寺 本 一 弥 (87歳)	千葉県匝瑳市	28. 5. 2
●昭 26 卒	駒 橋 典 夫 (87歳)	秋田県秋田市	28. 5. 26
●昭 37 卒	小 倉 英 世 (79歳)	東京都新宿区	28. 6. 1
●昭 33 卒	宮 原 章 郎 (82歳)	東京都世田谷区	28. 6. 2
●昭 22 卒	大 塚 襄 (91歳)	岡山県岡山市	28. 6. 1
●昭 20.9 卒	酒 井 惣一郎 (92歳)	神奈川県横浜市	28. 6. 4
●昭 16.12 卒	小 出 修 (95歳)	東京都大田区	28. 6. 3
●昭 26 卒	水 島 洋 (87歳)	千葉県館山市	28. 6. 4

## 田中清貴君を偲んで

新葉会(昭和63年卒)



2月29日の朝のことだった、診療室に着き替えを終わらせた時珍しく塩野君から電話が来た、久しぶりの友の声に懐かしさと嬉しさで、「おう、久しぶり。」

そう答えた僕に、「実は清ちゃんがさ 昨日亡くなっちゃたんだよ。」との第一声であった。

余りにも唐突な知らせに、しばらくの間その言葉の意味がよく理解することが出来なかった。その時の話ではとにかく、日曜日の朝自転車でヒルクライムに出掛け、心肺停止の状態で見つけられた、という様なことであった。友からの涙交じりの悲しい知らせであった。

清貴君とは進学の際に同じクラスで、なんとなくウマが合いその後誘われるままに、当時発足当初のアメリカンフットボールチーム(まだ同好会ですらなかった)に入るようになった。最初の頃は近くの公園や、まだ舗装されていなかった駐車場の片隅でひたすらぶつかり合う練習?ばかりをしていた。いつ試合が出来るかもわからないそんな時でさえ、彼はニコニコしながら楽しそうにしていた。

その後チームのメンバーも増え同好会になり、アメリカンフットボール部になることができた、最上級学年の時には当然のごとく、人望が厚く、だれからも好かれる君がキャプテンだった。

アメリカンフットボール部だけでなく、陸上部にも所属していた

スポーツ万能で、50歳を過ぎても体型も変わらず、自転車を趣味とする健康そのものの君が突然逝ってしまった事に、まだ心の整理がつかないが、心から君のご冥福をお祈りします。

### 追記

お嬢さん、大学入試合格しました。診療室のほうは君のお兄さんと、塩野君と、後輩の宮川君、青野君が、大切な患者さんたちが困らないよう頑張ってくれたそうです。ほんとに素晴らしいチームメイト達です。

そんな訳ですから、安心して向こうで、白井さんとワン・ワンしながら待っていてください。

(昭和63年卒・守谷豪人 記)

## ◆投稿規定

※平成26年度より、偶数月発行から年間4回（2，6，10，12月）の発行になりました。

- (1) 原稿締め切り  
原稿の締め切りは、発行前月の10日までとし、原則として締め切り翌月発行の会報に掲載いたします。
- (2) 投稿様式  
投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮下さい。ワープロ等電子機器使用の場合は1行15字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ（2Lなど）で集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。
- (3) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。なお、掲載については委員会にご一任いただきます。
- (4) 写真等の返却  
写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真の場合は、その旨書き添えて下されば返却いたします。写真は同窓会ホームページにも掲載されることがあります。

### (5) 投稿字数

投稿欄	内容	文字数, 備考
追悼	故人の追悼文	600字程度でお願いしています。
すいどうばし いなげ	随想, 詩, 短歌, 時評など	1編1,700字程度（1ページ）。投稿者本人にしか解らない思い入れや、取り止めのない随筆はご遠慮いただき、出来るだけ大学や同窓会に縁（ゆかり）あるものが望ましい。
支部のうごき クラス会だより		1ページ1,700字程度（1ページ以内でお願いします） 写真が入る場合下記を参考に文字数を減らしてください。 全員の集合写真は720字に相当、会場風景や大勢のスナップ写真は360字相当、数人のスナップ写真は120字相当で掲載します。 尚、同窓会ホームページよりひな型をダウンロードできますのでご利用下さい。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ

<http://tdc-alumni.jp/organization/dousoukai/kouhoubu/> をご覧下さい。

## 投稿送付書

郵送で投稿の方は下記送付書に内容を記載し、同封をお願いします。

お名前（漢字）		フリガナ	所属支部	支部
卒業年数（どれか1つ）	（昭和・平成・西暦） _____ 年卒 / _____ 期卒			
住所（自宅・勤務先）	〒 _____			
電話番号（自宅・連絡先）	-	-	FAX 番号	-
投稿先 <input type="checkbox"/> に <input checked="" type="checkbox"/> 印チェック	同窓会会報	<input type="checkbox"/> カラーグラビア	<input type="checkbox"/> 追悼	<input type="checkbox"/> 支部のうごき
		<input type="checkbox"/> ふるさと自慢	<input type="checkbox"/> すいどうばし	<input type="checkbox"/> いなげ
		<input type="checkbox"/> クラス会だより	<input type="checkbox"/> OB, グループ・サークル	
貼付写真枚数	枚			
その他ご希望	（例 写真の順番・重要度など）			

◆へんしゅうこうき

★熊本県を震源とする地震によりお亡くなりになられた方々、そのご遺族の皆様に対し謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

2カ月近く経過した今もなお余震が続き、同窓会員の自宅や診療室の全壊、半壊も生じているとのこと。会報「おしらせ」のページおよび同窓会ホームページには矢崎会長のお見舞い文と共に「お見舞い支援金」の募集のお願いが掲載されています。ぜひご覧ください。

★楽しみにしていたゴールデンウィークもあっという間に終わり、今年も既に半年が過ぎようとしています。患者さんの中には連休の谷間も休みにして10連休を取ったという方もいましたが零細診療所の当院ではそんなことはできません。さて夏休みまで頑張るぞーと8月のカレンダーを見たところ2週目には何やら見慣れぬ「山の日」の赤文字が！

今までのお盆休みはスタッフと相談して初旬にして混雑を避けたり、前半後半を分けたり色々だったのが、この「山の日」のために固定せざるを得ないのか悩ましい限りです。

★「会員往来」のページは同級生の常木先生に依頼しました。新潟の市民劇団に入り芝居をやっているんだよというのは聞いていましたが、まさかこんなにもめり込んでしかもTVや映画にまで出演しているとは。

野口英世役で新潟UXテレビ特番に主演で出演、放送されたのが丁度去年のゴールデンウィークでした。この番組には血脇守之助先生も登場するため大学や同窓会も協力していて、昨年行われた同窓会創立120周年記念祝賀会のお土産で配布されたDVDはこの特番のキャスト、スタッフで構成され今度は血脇守之助先生をメインに改めて撮影、制作していただいたDVDでした。

楽しんでいる同級生を見て、自分の人生を振り返ったとき充実した良い人生だったなと思えるような趣味を皆さんも持ちたいですね。 (福井雅之 記)

広報部広報委員会

委員長：昭和53年卒 白田 準  
副委員長：昭和61年卒 福井 雅之  
：平成4年卒 西村 哲雄  
：平成7年卒 山口 雅史  
委員：昭和60年卒 奥野 圭子  
：昭和60年卒 佐々木葉子  
：昭和60年卒 皆川 雅彦  
：昭和63年卒 渡邊 宇一  
：平成3年卒 島田 篤  
：平成4年卒 本間 敬和

委員：平成9年卒 末原 正崇  
：平成10年卒 横田 東生  
：平成16年卒 菅原 圭亮  
協力委員：昭和58年卒 古澤 成博  
：昭和62年卒 北村 晃  
：昭和63年卒 岩田 昌久  
：平成1年卒 長岡未佐子  
：平成11年卒 片山 明彦  
広報部担当副会長：昭和57年卒 富山 雅史  
担当理事：昭和56年卒 小池 修  
：昭和61年卒 岡村美恵子

平成28年6月20日 印刷

平成28年6月25日 発行

東京歯科大学同窓会会報 第404号

同窓会ホームページアドレス

<http://www.tdc-alumni.jp>

発行人 小 池 修

編集人 白 田 準

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話 (03) 5275-1761

FAX (03) 3264-4859

印刷所 一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22

電話 (03) 3952-5651 (代)